

2021 栄光への軌跡

2021年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



一般選抜

東北大学、宇都宮大学、秋田大学、山形大学、宮城教育大学、
宮城大学、東海大学、岩手医科大学、東京医科歯科大学

東北大学 医学部 保健学科検査技術科学専攻に
一般選抜で合格

令和3年3月 秀光コース卒
秀光中等教育学校出身

定期テストと部活動、校外活動に励み 充実した毎日を送ることができました

■定期テストでは間違った所を

徹底的に復習しましょう

私が秀光6年間でやって良かったと考えることを3つ挙げたいと思います。1つ目は、定期テストの勉強です。分からない内容を後回しにしてしまうと、結局その勉強を後からしっかり理解しようと思う日はほぼ来ないので、定期的に学んだ内容を確認出来る定期テストを上手く利用しましょう。定期テストで出る問題は基礎的なものも多いですが、そこで得点が取れるようになれば外部テストでも標準以上の点が取れるようになると思います。テストで間違ったところは必ず間違った原因を考えましょう。分からない時は先生に聞きましょう。同じような問題が出たときに絶対に点が取れるようにしましょう。そこで正解した問題はもう見なくてもいいと思います。

2つ目は部活動や生徒会活動です。部活動やその他の様々な活動に参加しておくことで、面接や自己紹介文を書くときの話題を得ることが出来ます。活動にもよりますが、協調性、積極性、一つのことを続ける力、体力、コミュニケーション能力などを自分のアピールポイントとして書くことが出来るようになると思います。特に協調性や積極性は色々な大学で求められています。学校生活の中で時間に余裕のある人、自分には取り柄が無いと感じてしまう人は、絶対に何かの活動に参加しましょう。そして入ったからには一生懸命活動しましょう。

■受験期間は気持ちを穏やかに

保つよう心掛けましょう

3つ目は校外活動です。私はインターアクト部としてですが、お祭りの運営補助や募金活動に参加していました。校外だけでなく、職業や年齢が違う人とも交流があることはアピールポイントになります。また、社会経験としてもいいです。他にも、看護体験や模擬裁判などのイベントに、少しでも興味があるようなら参加しておくといいと思います。もしその道に進むとなったときに志望理由が書きやすいです。

受験のことだけではなく、高校生活を十分に楽しむことが一番大切だと思います。新しいことに挑戦してみたり好きなことを極めてみましょう。十分に寝ましょう。受験中は空気がピリピリしますが、心を穏やかに保つよう心掛けましょう。皆に優しくしましょう。精神をいかに安定させるかも結果を左右することがあると思うので、神頼みなどして心を静めておきましょう。失敗しても、それを他に語り継ぐことで同じミスを防いだり、のちに笑い話になったりと良いこともあるので、落ち込む必要はないです。最後に一つ、共通テストの問題は解く問題を間違えないようにしましょう。

東北大学 文学部 人文社会学科に
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
五橋中出身

一般受験を目指すなら早くから 次の学年の先取り学習を始めましょう

■学習進度が早い高校の生徒と 競うことを意識しましょう

私は高校入学時から漠然とどこかの大学に行きたいという思いはありましたが、具体的な志望大学は決まっていませんでした。高3になってからは色々悩みましたが、最終的に志望大学を決定したのは共通テスト直前でした。決定するにあたっては家庭の事情もあるので、早い段階から保護者や先生方に相談するべきだと感じました。キャンパスの立地やその大学の学習内容、歴史など多くの要素はありますが、自分にとって何が一番大事で納得できるのかを後で後悔ないように考えましょう。就職実績などもあります、個人的にはこれから4年間通うことになるので、自分が学びたいと思える学部を選ぶのが良いと思います。勉強面の話に入りますが、私は高1、2の頃から割とコツコツ勉強していましたが、正直、勉強をさぼってしまった時期も結構ありました。それは志望大学がしっかりとは定まっていなかったのも一因だと思います。私は早い段階から一般選抜で入試することは決めていたので勉強内容は大学入試の勉強中心でした。推薦を狙っている人は評定も大事なのでしっかりと学校の勉強に注力しましょう。自分の経験としては、一般で狙っている人は、自分の学年の履修内容に加えて先取り学習をしましょう。特に難関大学を狙っている人は、全国から進学校の早い段階で高校の内容を終えている生徒がライバルになるので、このことを念頭に置いておきましょう。自分は文系なのでその視点からすると例えば、数学は少なくとも高2の夏までにはI、A、II、Bの教科書レベルは終わらせて、そこから応用問題に進んだり、英語や古典はできるだけ早く単語や文法をしっかり固めて高2から読解にできるだけ多くの時間をかけられるようにしましょう。高2のうちに英語と数学を得点源にできると高3からの社会の勉強にも安心して取り組むことができます。さらに志望大学が決まっている人はその過去問の傾向や得点の傾斜を勉強内容に反映するとより効率的に勉強できるようになります。

■ハイレベルな友人達と互いに 高め合いながら勉強しました

平日は勉強時間は少なくともコツコツと続け、休日は最初のうちは辛いと思いますがまとまった時間を取って勉強すると良いでしょう。夏休みや冬休みなどの長期休暇は、うまく利用できると周りとの差を付けるチャンスとなるので大きなアドバンテージになります。目標がないとどうしても勉強時間が少なくなり勉強がはかどらない人は、模試を活用するのもいいでしょう。この模試までにこの範囲は終わらせる、などと決めるとモチベーションにもつながりやすいです。特に志望大学別模試を受けるのはとてもオススメです。最後に私が合格できた一番の要因は高め合うことができる友人達がいたことです。志望大学は違えど、高いレベルを目指す友達がいると勉強もはかどるのかなと感じました。できるだけ早い段階から先取り学習をしていくことをもう一度強くすすめるとともに、皆さんの大学受験の合格やその中での個人の成長を切に願っています。大変ではあると思いますががんばってください。

東北大学 経済学部 経済学科に
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
長町中出身

失敗を恐れ不安になったときは 誰よりも自分の成功を信じ努力しましょう

■ネット上には受験情報も多いので 上手に向き合しましょう

受験生として生活する一年間は肉体的にも精神的にもこれまでになく辛いものだと思います。私の中で受験生というと、どうしても一日10時間以上勉強するという印象がありました。しかし、私の場合は机に長い時間対峙できる体力はなかったため、できるだけ授業時間内に内容を理解することを心掛けていました。そこにはどうにか効率の良い勉強を目指そうという私の意欲がありました。家に帰ってからやろうと計画を立てても、スマホを触って結局やらないことが殆どだったからです。最近では多くの人がSNSを通して勉強方法や問題などの情報を発信しています。それを活用することも自分が成長する材料になると思います。だからこそ後輩の皆さんにはきっぱりスマホに触らないというものも勿論良いですが、上手にSNSと向き合ってほしいです。

また、受験生は誰しもが不安です。本番分からない問題が出たらどうしよう、模試でいい成績が出ないから第一志望合格は無理だ…。勉強すればするほど分からないことが出てきて怖くなるのは皆同じです。ですが、どれほど勉強に必死に打ち込んで確実に自分が成長している証拠です。だから、失敗することを考えるのはやめましょう。最初から失敗することを考えている人には、成功は訪れないと私は思います。自分の成功を、他の誰よりも自分が信じて努力してください。

■多くの支えがあったからこそ 合格できたと後で知りました

最後に、感謝の心を忘れないようにしてほしいと思います。私は合格したとき、数多くの方から祝福のメッセージを頂きました。日頃から近くで支えてくれた家族や、共に切磋琢磨しあいながらも、他愛もないことで笑い合った友人だけではなく、自分が思っていた以上に多くの人に自分は支えられていたのだと実感させられました。

後輩の皆さん、普段何気なく過ごしているときでも時間が止まることはなく皆さんは試験本番に向かっていきます。後で悔やんでも悔やみきれません。最後の最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

宇都宮大学 工学部 基盤工学科に
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
名取第二中出身

1, 2年次にオープンキャンパスに参加し 少しでも早く目標を定めましょう

■目標の大学を決めて

勉強への意識を高めましょう

私は1, 2年生の頃に早いうちから大学を調べ、志望大学を決めるよう周りから散々言われてきました。しかしそれを怠ったことで3年になってからツケが回ってきました。志望大学がないということは目標がないということです。3年生になってもまだ目標がなかった私は受験生だという緊張感もなく、淡々とした日々を過ごしてしまいました。3年生の後半に自分の成績が下がっているのに気付いた時、非常に後悔したのは今でも覚えています。そうならないように1, 2年生のうちに積極的にオープンキャンパスに参加して大学を知り、少しでも早く自分の目標を定めるといいと思います。また、色々悩む人もいるかもしれませんが、少しでも気になっている大学を目標にすれば、勉強する意義ができるので頑張れると思います。

■2年次に専攻を選べる所に

魅力を感じ志望しました

私は入学してから3年生の前半までは定期テスト直前に勉強する程度でした。そのせいか、3年生の模試で回数を重ねるごとに模試の判定も落ちていきました。さすがにまずいと焦りましたが、本番も近かったので苦手教科ではなく、伸ばせそうな教科に時間を回しました。幸い合格することができましたが、早くから勉強し続けていれば苦手教科も伸ばせていたのではないかと反省しています。早いうちに勉強する癖をつけ、そこから持続的に勉強し続けるのが大事だと思います。特に英語はそうしないと伸びにくい教科だと思います。

また、私は工学部に進むことを決めましたが、その中でも行きたい分野が最後まで決まりませんでした。宇都宮大学は1年生で自分の行きたい分野を選択し、2年生からその分野を勉強する大学です。1年生で実際に勉強することで興味を持てる分野を見つけられると思い、この大学を目指そうと決めました。

最後になりますが3年生になってからではなく、1, 2年生からどう過ごすかを考えておくことをお勧めします。早いに越したことはないです。第一志望の大学への合格をお祈りします。

秋田大学 理工学部 物質科学科に
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
中野中出身

効率を考え勉強環境を工夫したことが 現役合格できた一番の要因です

■夏季休暇中に苦手克服に励み 共通テストでは好成績でした

高校2年生の冬から本格的に受験勉強を始めました。学校がある日は4時間、休日は8時間という目標を掲げ勉強しました。しかし新型コロナの影響で学校に行けなくなり、家での勉強となってしまったため、勉強の効率が悪くなってしまいました。コロナ休み明けの模試では偏差値が下がってしまったため、個人的に3~5月の休みを上手く使えなかったのは失敗だと感じました。そこで私は気持ちを切り替え、夏休みを上手く使おうと考えました。毎日8~12時間を目安に苦手な理科の勉強に励みました。共通テスト本番でも良い点数が取れたのはそのおかげだと思います。

勉強法は基本的にワークや参考書をやりました。ネットのレビューを見て選び、買った一冊を完全にマスターするんだ！という気持ちで進めました。間違えた所に印を付け2週目やるときにその印の所だけやりました。

私が現役で合格できた一番の勝因は、勉強の環境を意識し、メリハリを付けたからだと思います。前述の通り、私は家では集中出来ないので、普段は学校などで開放時間ぎりぎりまで勉強して家ではあまり勉強しなかったです。二次試験1ヶ月前には、11時ぐらいから学校に来て夕方まで勉強し、そこから塾で22時まで勉強するという日々を過ごしていました。

■英単語学習と模試の復習を 大事にしてほしいです

個人的に、私が皆さんに勉強関係で伝えたい事は3つあります。

私達の代から共通テストが始まり特に英語が大きく変わってきました。1つ目は、これから受験に立ち向かう皆さんは英単語を積極的に勉強することです。私は3年生から本格的に英単語の勉強を始めました。それから模試などで英文がだんだん読めるようになってきました。だから、皆さんは出来るだけ早めに英単語を勉強して欲しいです。2つ目は、日頃から復習という行為を大事にして欲しいです。模試の直しは1回で終わらせるのではなく、何回もやって欲しいです。3つ目は過去問研究です。二次試験は大学毎に特色があるので、早めに知っておくと得です。

最後に皆さんが学力的に高く、メンタル的にも強い人物となり、第一志望大学に合格できる事を心から祈っております。

山形大学 人文社会科学部 人文社会学科経済・マネジメントコースに
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
富沢中出身

勉強はもちろん、受験に関する情報は 先生方や友達に積極的に相談しましょう

■仙台育英の勉強に集中できる 環境を活用しましょう

集中力の上げ方や計画の立て方、勉強法、自分の志望大学にあった参考書・問題集はできるだけ早く知った方が良いでしょう。本やネットで調べたり、先生や頭のいい友達に聞いたりなど、情報を得るには様々な手段があるので自分が思うようにするのが良いと思います。

また、普通の授業をしっかり受けて、定期テストの勉強にも力を入れることは必ず為になります。授業は、多くの人にとって進度や難易度がそれぞれの志望大学に合うように工夫されています。先生は授業のことだけでなく志望大学の過去問や自分が使っている問題、外部の試験のことなど聞いたら教えてくれます。分からないことを自分で調べたり、人に質問する力は大切です。それから仙台育英には、読みたい本を記入用紙に書いたら学校でリクエストに応じてくれる図書室、集中しやすい環境が整っている自習室、おいしくて安い学食が食べられる食堂など素晴らしい環境が整っています。有効活用しないともったいないです。私は3年生の最後の方にやっと学食のおいしさを知って、それ以来週1、2回のペースで利用しました。卒業前に気付けてよかったです。

定期テストや受験本番で緊張し過ぎて自分の実力が発揮できない状況は避けたいです。不安対策について本やインターネットで調べてみることも役に立つと思います。手軽にできて、私自身も緊張するときにお世話になっているのは、スタンフォード大学心理学科の責任者ドン・ジョセフ・ゴイー氏が発見した「メンタルクリアボタン」という手法です。3秒、もしくは呼吸3回分程度の時間で本当に不安が鎮まるので、もし知らなかったら興味が出たときに調べてみるといいと思います。

最後になりましたが、これから受験を控えている皆さんには、後悔することのないように高校生活を送ってほしいと思います。体調に気を付けて頑張ってください。応援しています。

山形大学 人文社会科学部 人文社会学科人間文化コースに
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
塩竈第一中出身

コロナ禍の受験生を支えて下さった 先生方には心から感謝しています

■勉強は成績が上がるほど

楽しくなり意欲が湧きます

私が伝えたいことは3つあります。

1つ目は受験勉強をするに当たって仙台育英で良かったことについてです。仙台育英の最大の特徴は自習スペースと赤本が充実しているところです。また、駅から近いので無駄な時間が発生しません。そして、私がとても感謝しているのはコロナ対策です。仙台育英は受験生のコロナへの不安に寄り添い、緊急事態宣言時のZoom授業への迅速な対応、解除後の朝の検温やクラスを2つに分け、密を避けるなど徹底的な対策をしてくれました。先生方も大変だったと思いますが、私達に真摯に向き合ってくれました。

2つ目は私が受験勉強で失敗したことと成功したことについてです。失敗したことは受験勉強を始めるのが遅かったことです。勉強するのが面倒くさいと思うのは最初のうちだけで、成績が上がるとだんだん楽しくなってきます。まだ受験勉強しなくていいやと思っている1, 2年生は今すぐに覚悟を決めて勉強に向き合ってくださいと思います。成功したことは志望大学を早めに決めたことです。大学ごとに力を入れる勉強の部分が違うので、早めに決めた方がいいと思います。そのために1, 2年生の時にオープンキャンパスに行くことをお勧めします。

■計画的に学習に励み

過去最高点を取りました！

3つ目は共通テストの勉強法についてです。私の受験時の勉強時間は平日は約6時間、休日は10時間以上でした。基礎を固めた状態で夏休み期間中に過去問を解き始めることが大事です。社会や理科、英語の過去問で間違えたところや単語は必ず確認しました。教科書と資料集を隅々まで読みました。国語と数学では復習をパッと終わらせ、とりあえず問題を解きまくりました。英単語や英熟語、リスニング、古文単語は電車の中などで毎日勉強しました。私は倫理の一問一答の参考書以外は買わず、塾と学校から買ったものだけで勉強しました。新しい参考書を買うのではなく、同じ問題を繰り返すのが大事です。このような方法で、本番では過去最高点を取ることができました。

後輩の皆さんには、早めに受験勉強を開始し、本番の会場に自信満々の状態で行けるように頑張ってくださいと思います。

山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科児童教育コースに
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
寺岡中出身

早くから複数の大学について 時間を設けて情報収集しましょう

■教員免許取得という目標を
達成するために進学します

私は小学校の教員を目指しています。はじめは別の大学を志望しており、先生から助言をいただき公募制推薦を受けました。結果は残念ながら不合格でしたが、面接や小論文、受験の雰囲気になれることができました。共通テストの結果を受けての志望大学の変更は悩みましたが、教員免許を取得したいという思いで山形大学に志望を決めました。

推薦など受験に機会を増やすためにも、1年生の頃から期末考査の勉強はしっかりとすべきです。後々の勉強習慣にも繋がります。

また、私が受けた学部の受験教科は小論文がありました。小論文の対策としては、普段から新聞を読んで様々な分野について自分の考えを持つことが大切だと思います。私は3年生になってからその大切さに気づき、通学中などに記事を読みました。小論文対策だけでなく、他の教科の勉強にも繋がる部分がありました。

私が今後悔しているのは、情報収集に割く時間が少なかったことです。当たり前ですが、できるだけ早くからたくさんさんの大学について調べて、選択肢を増やすことが大切だと思います。早くから目標に向かって勉強と情報収集を進めることが重要だったと感じました。少しでも参考になったら嬉しいです。

山形大学 工学部 機械システム工学科に
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
幸町中出身

自分と向き合って努力し報われるまで 継続することが受験生の最低条件です

■「覚悟・忍耐・習慣」の
大切さを受験で痛感しました

私は大学受験を甘く見過ぎていたところがありました。やっと本気でギアを上げ始めたのは3年生からでした。それからは基礎的な典型問題を徹底的に演習・復習をこなし続けました。勉強をしていない時は友人と励まし合ってモチベーションを保ち続けました。

しかし本気で勉強したとしても、そんなにすぐに成果が得られるわけもなく、2月上旬に滑り止めとして受験した私大に全て落ちてしまいました。「どこか一つには受かるだろう」と高を括ってしまい、正直不合格だとは微塵も思っていなかったです。3月上旬にまだ入試日程がある私立大学を受けることになりましたが、こんな気持ちでの入学は絶対に嫌だと思って、本命の山形大学の試験の直前まで、それまで以上に気合いを入れてやるべきことを一日一日継続しました。

受験を通して学んだことは、「覚悟・忍耐・習慣」の重要性です。自分とどこまでも向き合って努力し続けなければ、自分の望みは叶いません。自分が報われるまで努力を継続することが受験生の最低条件です。

最後に、家族や先生方など自分の受験に関わる全ての人達に感謝の気持ちを忘れずに過ごして下さい。自分のことを応援してくれる人は必ずいます。悔いの残らない高校生活を送り合格して笑顔で卒業することを願っています。

宮城教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 国語コースに
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
鶴が丘中出身

自分の目標がまだわからないときは 定期テストを基準にするのも手です

■定期考査を軸に勉強し模試の 判定が徐々に上がりました

合格体験記ということで、拙文ではありますが私が大学合格に繋がったと強く感じる事2点について書いていきたいと思います。

1つ目は志望大学を早く絞っていたことです。1年次半ばには学校で文理選択の予備調査が始まっていましたが、その頃には選択肢は決まっていた。自分の場合は文系で県内の国公立、公立大学を一般で受けたいと思うようになっていました。志望大学を早くに複数決めていたことで目標が明確に後々の迷いも減ったため、勉強に集中することができるようになりました。

2つ目は、定期考査の勉強をある程度しっかりしていたことです。中学校では頻繁にワークの提出やプリントがあったのですが、高校に入学して気付いたのは課題がないと自分が何を勉強したらいいのかわからないことでした。また、周りには何人も自分の参考書を買って勉強する生徒がいたので、私もそうしたほうがいいのか、でも買ったところでどう使えばいいのかわからない。そんな私が模試で少しずつ目標に近づいて行けたのは、授業で習ったことだけは考査前に自分のものにできるよう努めていたからでした。入試で出題されるのは学校で習ったところ、というのは当たり前のことですが、それでも足りないから参考書がたくさんあるのだと思います。私は自分に必要なことが分かってからは使うようになりました。しかし何をすればわからない時は、学校のテストを目標にしてみるのはいかがでしょうか。

最後に、私のほかにもたくさんの方が合格体験記を書いていて、たくさんのアドバイスがあると思います。この文章をしっかり読んでくれた後輩はおそらく自分の目標が既に決まっている人や意欲が十分な人だと思いますが、何かの参考になれば幸いです。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

宮城教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程芸術・体育系美術コースに
一般選抜で合格

令和3年3月 秀光コース卒
秀光中等教育学校出身

資格取得やコンクール挑戦、IBDP など 高校生活の全てが受験の礎になりました

■ IBDP で習得したスキルを 受験対策に活用しました

仙台育英での6年間の学びによって得たものの一つが、最後まで諦めない強い心です。私は、オーケストラ部と勉強の両立、更に、国際バカロレアフルティプロマ取得と国立大学合格を目標に掲げ、達成することができました。

目標達成のために行ってきたことは、各種検定とコンクールへの挑戦です。高校2年生までに漢字検定、英語検定、数学検定の2級を取得しました。また、絵画やポスター、統計グラフ、作文、論文といった様々なコンクールに応募し受賞しました。このことは、IBDP を学ぶ過程と国立大学一般試験対策に活かすことができました。各種検定取得により基礎学力を身に付けるだけでなく、自信を持つことができました。生活面では、IBDP で身に付けたタイムマネジメント能力を活かしました。私は、計画を立て実践し、振り返りを常に行いました。特に振り返りを大切にしました。この習慣によって、IBDP の学びから一般受験対策への切り替えもスムーズに行うことができました。

■ 先生のご指導のおかげで 本番は完答できました！

全ての目標を達成することができましたが、その道は決して平坦なものではありませんでした。しかし、部活動が日々の原動力となり、私を支えました。IBDP 最終試験後にすぐに国立大学一般試験に切り替える際も、先生方がサポートしてくださいました。一般クラスについていけるかどうか不安でしたが、常に素早く対応してくださる先生にすぐに相談し解消しました。共通テスト対策は、IBDP で得た資料の読み取りや思考力などが活かされました。国立大学二次試験対策も古典の先生に相談するとすぐに対応して下さり、本番では全て解くことができました。また、私の場合は実技試験が課されましたが、今まで応募してきたコンクールが活かされました。

私は、6年間塾に通わず秀光での学びだけで、宮城教育大学に合格し、将来の夢に近づくことができました。

宮城大学 看護学群 看護学類に
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
塩竈第一中出身

応援してくれる人は必ずいるので 自分を奮い立たせて頑張りましょう！

■友達と一緒にだったからこそ 勉強に集中できました

私が宮城大学に進学を決めたのは、2年生の夏にオープンキャンパスに行ったことがきっかけでした。県内の実習先が多かったり、看護教諭の免許が取得できたり、魅力がたくさんあったので、絶対にこの大学に行きたいと思いました。

しかし、それまでは定期テストを乗り切るための勉強しかしてこなかったため、模試の成績は悪く、受験への意識はとても低かったと思います。

2年生の冬頃になってようやく友達と一緒に受験勉強を始め、放課後は宮城野校舎のオークルームで夜まで勉強しました。一人ではなく友達と一緒にだったから最後まで諦めずに頑張ることができました。受験は周りの人達と支え合うことで乗り切れるものだと思うので、どうしても一人ではモチベーションが上がらない人は、友達や先生方と一緒に頑張してほしいと思います。

■周りへの感謝を忘れずに 受験に挑みましょう

勉強時間も、平日は5時間以上、休日は10時間以上と目標を決めて毎日必死で取り組みました。勉強の成果はすぐには現れてくれませんでした。夏頃には模試の成績が伸び始め、自分の得意科目と苦手科目も明確になってきました。得意科目は細かいところまでどんどん定着させ、苦手科目は少しずつ理解を深めていくことを意識して勉強しました。苦手科目ばかり勉強して得意科目に手をつけないような偏った勉強にならないように常に気を付けていました。

最後に、私が第一志望大学に合格できたのは周りの人達のおかげだと思っています。周りへの感謝を忘れないことが受験勉強を乗り切るために不可欠だと思います。辛いときには先生方や家族に支えられ乗り越えることができました。受験生の皆さんには、辛いと思ったときこそ自分を奮い立たせて勉強を頑張してほしいと思います。必ず皆さんを応援してくれる人が周りにいるので、最後まで諦めずに努力を続けてください。応援しています！

東海大学 体育学部 競技スポーツ学科に
一般選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
岩手 桜町中出身

定期テストと大学入試の筆記試験は 別物であることを知っておきましょう

■一般入試での受験に向けて 基礎から勉強し直しました

私は、志望大学を選択していく上でまず、自分が一番学びたい学部や関心のある事を明確にして、それらに特化した大学を調べるようにしました。私は公募制推薦に落ちてしまい一般入試に切り替えました。焦りながらも一般入試までの残り期間で受験教科を基礎からまた勉強し直しました。また赤本を買って、問題を何度も何度も解いて、志望大学の問題傾向を頭に入れました。個人的に、大問一つ一つに区切って、それぞれを決めた時間内に解けるように何度もその時間に慣れる事が重要だと思います。毎日6時間以上の勉強を心掛けて、スマホをなるべく見ないようにしました。加えて、電車や車での移動、空き時間は単語帳を見たり、面接対策の動画などを見たりと、効率の良いやり方で取り組みました。

■面接は推薦入試の経験を 踏まえ対策を練り直しました

私が受けた入試は筆記の他に面接試験もあったため、面接練習も並行して取り組みました。例年とは違い、新型コロナウイルスの影響で面接に代わったため、どのように対策するべきかとても悩みました。私は緊張しやすく、特に面接試験が苦手だったため、緊張をほぐす方法についても調べました。公募制推薦を受けた時は原稿を作り、それを暗記して受験に挑みましたが、予想外のことには柔軟に対応できなかったため、一般では丸暗記をせずに練習しました。すると本番では、自分の予想していた質問とは全く異なったものが多く出ても、冷静に自分の意見を言う事ができました。面接対策として、毎朝、新聞の記事を必ず読むようにしていくのも良いと思われます。筆記でも面接でも、時事問題が問われることは少なくはないからです。そして、定期テストの点数が良くても、大学受験は全くの別物であることを知っていてほしいと思います。

岩手医科大学 看護学部 看護学科に
一般選抜で合格

令和3年3月 外国語コース卒
岩切中出身

面接練習はあまり接点のない先生にも お願いすると緊張感があり効果的です

■志望大の出題形式を 調べるのが大切です

一般選抜で受験するに当たって、大学ごとの試験科目と過去問を確認して勉強する科目と範囲を絞りました。私は4校受験しましたが、中には科目の他に面接あるいは小論文が課せられている大学もあったので筆記試験と面接の準備を両立できるようにしました。私は理系の大学を志望していたので化学基礎や生物基礎、英語の文法の苦手な所を徹底的に勉強することはもちろん、四字熟語や漢字を覚えることも必須でした。漢字は普段なら書ける漢字でも試験中に忘れてしまうこともあるので、油断せずにしっかり勉強しておくべきだと思います。また、新入試になったことで問題の形式や難易度が少し変わった大学もあります。大学ごとの問題形式を知ることは受験生にとって一番必要で、自分の為になる情報だから赤本を買って特徴を押さえるべきです。

■面接対策に面接ノートを作るのがおすすめです

面接に関しては、面接ノートを作るのがおすすめです。ノートに面接で聞かれそうな質問を書き出し、担任の先生にチェックしてもらい、ある程度書いたらいろいろな先生に面接練習をお願いしました。その際、練習する人はあまり関わりのない先生の方がいいと思います。知っている先生だと緊張感が違うので入試本番を想定して、知らない先生と面接をすると、いい緊張感を持って練習に臨めると思います。本番では、自分が聞かれると思っている質問の中で本当に聞かれる質問は意外と少ないです。予想外の質問が多いので、先生方との練習で答えられなかった質問や、指摘された質問を面接ノートに書き記し、本番までに入念に準備しておくといいと思います。また、国公立の受験を考えている人は共通テストが重要になるので、どの教科が重要なのか慎重に考えるべきです。

東京医科歯科大学 歯学部 歯学科に
一般選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
八乙女中出身

理想を現実にできる環境が整っているか 十分吟味して志望大を決定しましょう

■殆どの大学で入試の合否を 決めるのは基礎問題です

これを読む後輩たちの中には高校受験に失敗した人たちもいることでしょう。私もその一人でした。ですからあえて厳しいことを書こうと思います。皆さんが置かれている環境において周りに合わせては、東北大学を始めとする難関大に現役合格することは難しいと思います。本気で難関大を志望するのであれば、早い段階から周りに合わせず己の力で突き進んでください。

とはいえ、3年間かけて何をしたらいいのか分からない方も多いと思います。ここでは皆さんに知ってほしいことをお伝えします。まず、大学受験は英語ができる人が合格できる確率が上がります。現在ほとんどの大学の入試で配点の多くを英語が占めており、文理問わず英語を得点源にできる人は受かりやすくなっていると思います。難関大入試の英語の問題は長く、難解なものも多いため、高校入試で英語を苦手としていた人は克服できるよう、得意としていた人はさらに伸ばせるよう、1年生の頃から努力してください。次は、基礎にこそ力を入れるべきだということです。一部の大学（超難関大や医学部）を除いて、入試の合否を決めるのは基礎問題です。北海道大学や東北大学であっても、基礎問題が6割以上占めています。ただし、ここで勘違いしてほしくないのは「基礎≠簡単」だということです。大学受験の基礎は日々の学習の積み重ねでできあがる土台であり、教科書を読んだり模試を受けたりしただけで身に付くものではありません。私自身、受験期は発展的な問題ばかり取り組んでしまったため、入試直前期になっても基礎が全く完璧でなく、不安に思うことが多々ありました。ですから皆さんには、1、2年生のうちに基礎を重視した学習に取り組んでほしいです。

■レベルの高い環境で学べる 大学を選びました

最後に、私が東京医科歯科大学（以下、医科歯科）を志望した理由と、私が思う志望大の選び方についてです。私が医科歯科を志望したのは、単純ですが、歯学部の中で日本1位、世界5位（QS World University Rankings）の大学であったからです。これは単純に偏差値や入試難度のことではなく、医科歯科の教育や研究が優れているからこそ得られる評価です。そのようなレベルの高い大学に入ることは、レベルの高い教授、設備、学問、さらに生徒に囲まれた環境を手にするを意味します。私は皆さんにこの『環境』を重視した志望大選びをしてほしいと思っています。雰囲気や偏差値ではなく、その大学で自分のやりたいことができそうか、自分の理想を現実にできそうか、よく吟味して志望大を決めるようにしてください。

この体験記を読んでくれた皆さんの中で、すぐ行動に移してくれる方が一人でも多くいることを願います。

2021 栄光への軌跡

2021年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



指定校推薦

法政大学、東京理科大学、芝浦工業大学、日本女子大学、
同志社大学、立命館大学、東北学院大学、東北工業大学、
東北文化学園大学、東北医科薬科大学、宮城学院女子大学、
尚絅学院大学、仙台大学、仙台青葉学院短期…

法政大学 キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
岩沼北中出身

状況に左右されずに目標を達成できるよう 評定の維持や資格取得に頑張りましょう

■ コロナ禍での入試の不安が 推薦受験のきっかけでした

私は元々、国立大学志望で、指定校推薦枠を取りたいという明確な目標がありませんでした。と言うのも、私が指定校推薦という枠をきちんと認知したのは高校3年生になってからです。新型コロナウイルスの影響でオープンキャンパスの参加ができなくなり、また、図書館などを利用できないことにとっても大きな不安を抱きました。そこで指定校推薦という受験方法を視野に入れ始めました。このような急な方向転換を考えた時に、やって良かったなど思ったことは、やはり、ある程度の成績を残しておくことです。課題や定期考査の勉強に丁寧に取り組んで、自分の満足のいく評定をキープしておくこと、英検等の資格を取得しておくことで、いざ自分が悩んだ時に自分自身の将来への選択肢を増やしてくれます。推薦枠を貰いたい、貰わなくていい、に関わらず、満足のいく成績を目指し、取っておくことは近い将来の自分を必ず手助けしてくれると私は思います。

■ Weblio に取り組み 英会話に自信が付きました

また、私は特別進学コースに所属しているのですが、そのコースの生徒として勉強してきた中で、自分の力になったととても感じた内容は、Weblio というオンライン英会話です。英会話を自分個人で始めることには抵抗がありましたが、一つの授業科目として導入されたことで安心して取り組みました。その結果、心にゆとりができ、自信へと繋がったことで、英検の面接や ALT の先生との会話にも緊張せず自分の伝えたいことを伝えられるようになりました。

最後になりますが、数年後、もしくは数日後、私たちはどのような状況に陥るか分かりません。今回の新型コロナウイルスのように予測できないことがたくさんあります。そんな状況に左右され、自分の将来を理想から遠ざけないようにするためには、日々の積み重ねが大切です。私は今回、英会話をピックアップしましたが、それ以外にも学べることはたくさんあります。物ごとに対して必要、不必要と割り切るのではなく、必要になるかもしれないという気持ちを常に持って、様々な授業や資格取得への勉強に励んでほしいと思います。

法政大学 デザイン工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
塩竈第二中出身

仙台育英の充実した学習環境を 活用して時間を有効に使いましょう

■受験を理由に部活動を退部し 悔いが残っています

私はこの大学の指定校推薦を受けるために、評定が4.5以下にならないように努力しました。定期考査に向けての勉強はもちろんしっかりやりますが、それでも点数があまり良くなかった場合は、欠席をせず、提出物をしっかり出して補っていました。また、大学側からの必須条件をクリアすることが重要なので、その項目を早めに確認しておくことが大事です。

私はバスケットボール部に所属していましたが、高校2年生の冬に受験勉強のために辞めてしまいました。しかし、顧問の先生や部長と話し合っ部活に行く日数を調整するなどの工夫をしながら、部活動はなるべく最後まで続けた方が良いと思います。

■合格後も大学で必要な科目の 勉強に取り組んでいます

私にとって憧れの大学だったので、無事合格することができて本当に良かったです。合格が決まった後も、一般受験で入学してくる人達に負けないような学力を保つために、自分の苦手な教科や、その大学で使う科目の勉強をして備えておくことが必要だと思います。

仙台育英は他の学校と比べても指定校推薦の枠が多いので、早めに行きたい大学を決めて、準備をしておくことをおすすめします。また学習スペースが多く、優秀な先生もたくさんいらっしゃるなので時間を有効に使ってほしいです。自分を信じて、目標に向かって諦めずに最後まで気を抜かず頑張ってください！

東京理科大学 工学部 電気工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
宮城教育大学附属中出身

2, 3年次の学習に繋がるので 1年次の授業を大切にしましょう

■部活動やクラスの係などの 経験を経て成長できました

私は学校推薦型選抜において大学への合格を勝ち取りました。私が大学への進学を決めたのは高校での学びをより深く追求し、幅広い知識や視野を獲得したいと考えたからです。また、大学での学びは将来の目標達成につながるとも考え、大学進学をめざしました。

推薦入試で合格するのに必要だと思うのは、勉学は勿論のことですが日々の生活も重要だと思います。高校3年生になってからの生活だけを努力するのではなく、高校1, 2年生のうちから自分の生活を見直し、様々なものに挑戦することが大切だと思います。例を挙げるなら、生徒会への所属、よさこいへの参加、クラスの中での係などです。こういった経験を沢山することで自らも成長させてくれると思います。実際に私もそれらのことに率先して参加したことにより有意義な時間を過ごすことができ、また人としても成長できたと思います。

■1年次からの積み重ねが 受験に生きてくるはず

学習面では後輩の皆さんには授業を大切にしたいと思っています。特に1年生の授業を真剣に聞いて欲しいです。なぜなら1年生の学習内容は高校で学習する内容の基礎です。基礎を定着させることによって2, 3年生での学習理解を向上させてくれます。また、問題が解ければ良いといった考え方も、もたないでほしいです。なぜこう解くのかといった問題を解くに当たってのプロセスを熟考することで他の問題や応用問題にも生きてくるからです。

まとめると推薦入試での合格に必要なのは当たり前のことを当たり前にやり、高校生活を楽しむことだと思います。1, 2年生の頃は趣味の時間も多く費やしてしまい勉強に身が入らないこともあると思います。しかし、普段の生活を疎かにせずコツコツ努力していくことが3年生での受験に生きてくるはず

後輩の皆さん、自分の目標に向かって精一杯努力してください。応援しています。

東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
富沢中出身

様々な情報に常にアンテナを張ることで 知識が深まり将来像が明確になります

■英語資格ならば TOEFL は 実施日が多くお勧めです

私がこの大学を受験しようと考えたのは、私が興味ある情報系、国際系、デザイン経営を包括的に学べるからです。元々推薦入試で受験する予定ではなかったのですが、興味があった学科に指定校推薦があったため、挑戦することにしました。1年生の時から提出物や定期テストで良い点数を取ることを心がけていたおかげで、出願条件の評定を満たすことができたのだと感じています。定期考査期間には校内の自習室を頻繁に利用しました。

また生徒会執行部に所属したり、中国への研修旅行やカナダでの3ヵ月留学など、課外活動にも尽力しました。推薦を取りたいと考えている人はそういった活動にも挑戦してみると良いです。仙台育英には様々な課外活動の機会があるので、自分の興味にあった活動を見つけられると思います。また、私は英語資格として定期的に TOEFL を受験しました。基本的に毎週受験できるので、受験する機会が年に数回になってしまう英検などのような検定が苦手な人はチャレンジしてみることをお勧めします。

■一般受験・推薦入試を問わず 評定は必ず力になります

一般受験を考えている人も推薦を狙っている人も、日々の学習や提出物などを心掛ければ受験の際に必ず力になります。一般受験だから評定はいらない、と考えていても3年生になってから心変わりするかもしれません。自習室や講習などせっかく利用できるものがあるので活用すると良いと思います。また、1年生の時から課外活動記録をこまめにしておく、後から振り返りがしやすいです。自己推薦文を書くときや自分を見つけ直す際に役立つので、欠かさないようにすべきだと感じました。

進路実現のためには、1年生の始めから大学について定期的に調べておくことが大切です。行きたい大学が漠然と決まっても、途中で夢や目標が変わることもあります。また、一見自分には興味関心がないと思った分野でも、掘り下げると新たな興味に繋がることもあります。常に色々なニュースや身近な話題にアンテナを張っておくことが、自身の知識を深めつつ将来像を形成するのにとても役立ちます。簡単なことではありませんが、今努力すればきっと将来の自分に良い形で返ってきます。高校生活が有意義なものになるよう、頑張ってください。

芝浦工業大学 工学部 材料工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
中野中出身

サイエンス・コ・ラボに参加して 将来学びたい学問が見つかりました

■先生の勧めで英検2級の 取得を目指しました

推薦入試で合格するために大切なことは、普段の授業態度、資格、サイエンス・コ・ラボなどのイベントや部活動に参加することです。

まず普段の授業では、真面目に授業を受けること、課題をしっかりと提出することです。基本的な事ですが、評定に大きく関わるので1年生のうちから意識しておくのが大切です。期末テストは副教科を含め対策し、もし一度失敗してしまっても次で挽回できるのであきらめず努力して下さい。

英検などの資格は1, 2年生のうちにとっておくの良いです。私は先生に英検2級を取っておくと色々なところで使えると言われたのでそこを目指して勉強しました。

■大学生活を想像すれば 自然とやる気が起きます

サイエンス・コ・ラボは理系なら一度は参加した方が良いと思います。私はそこで将来やってみたい学問を見つけることができ、大学院で行っている最先端の研究に触れることができたのでとても有意義でした。また、部活動では地域のイベントに参加でき、勉強以外に大学でやってみたいことが見つかったので、色々なことに参加して自分のやりたい事を探してみるのも良いと思います。その時に行った記録やレポートは、推薦書を書く時に必要になるので必ず取っておいて下さい。

最後に、大学選びについてですが、私はあまりオープンキャンパスに行くことができず大学のイメージが浮かびにくかったので、興味を持った大学に実際に足を運ぶとイメージが付きやすいと思います。気になる学問については、インターネットや本で調べ理解を深めておくと、学科選びだけで役に立つと思います。自分の志望動機や将来像がイメージできると大学選びやそのための勉強が楽しくなると思うので、大学でやりたいことを意識して日々の学習を頑張ってください。

東京都市大学 理工学部 機械システム工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
中国出身

日本の社会でさらに交流を深め 文化や習慣を身に付けていきたいです

■校内模試対策として

過去問を3年分解きました

指定校推薦を取ろうと本気になったのは2年生の時で、先生から「校内模試の成績で指定校推薦がほとんど決まる」と告げられたのがきっかけです。それまで授業は真面目に聞いていたものの受験に対する意識はそこまでではなく、定期テスト直前だけ勉強する程度でした。

では模試の順位を上げるにはどうしたら良いか？ 授業の地道な予復習は当然として、やはり過去問を解くのが早道です。周りを見ると、先生から過去問のプリントをもらって勉強する生徒が多く、私も先生にお願いして1～2年前の問題から始めました。校内模試の試験科目は、数学と物理と英語でした。まず最初に基礎をきっちり復習しましょう。基礎の復習は教科書の例題、参考書の例題を勉強すると思います。基礎の復習が終わったら、ひたすら過去問を解きました。最低、過去3年分くらいの問題は解きましょう。ここで傾向が把握できると思います。このあとは、類似問題を参考書で見つけてひたすら勉強しました。

■就職率の高さに魅力を感じ

東京都市大学に決めました

その後、校内模試を受けて、成績が出て時、学校の先生と卒業した先輩からアドバイスをもらって、「就職に強い」東京都市大学を進学するのを決めました。

最後に、「留学」というのは、専門知識だけを身に付けるのではなく、その国の文化や習慣の中で身に付けるものも多いのです。日本の社会に入れるかどうか、日本人と対等で真の交流を実現できるかどうかは、立場に関係なく、一人一人の日常の細かいことにつながっていると思います。そして、真の交流が実現できれば、留学も成功させることができるのではないのでしょうか。私は、在日留学生として、留学を成功させるために、これからも、前向きに頑張っていこうと思っています。

東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
高崎中出身

将来の目標が中々見つからなくても 先生方が力になってくれるはずです

■指定校推薦を志すことが

将来を考える機会になります

入学当初から、指定校推薦での大学進学を考えていました。将来、自分の進みたい方向がすでに決まっている人は指定校推薦を狙うのが良いと思います。指定校推薦を受けることで、大学で何を学び自分がどのようになりたいかをじっくり考え、将来の夢に大きく近づけるからです。この大学の推薦資格を得て、大学に合格するために私は様々な努力をしました。

まずは、校内選考を通過することが課題でした。私は部活動や生徒会などに属していませんでしたが、英語検定の資格取得やボランティア活動を積極的に行いました。定期考査の点数をしっかりと取り、評定を上げることを意識しました。特に指定校推薦の条件に必要な科目で高得点を取ることに努力をしました。英語検定の資格取得は余裕のある1年生、2年生のうちにするので、3年生で資格取得に焦らずに済みました。こうした努力によって、校内選考を通過できました。

■プレゼンテーションは

先生方と何度も練習しました

指定校推薦の受験時に必要な課題やプレゼンテーション作成には、オープンキャンパスへの参加やウェブサイトですべて調べたことが、役立ちました。今年度はオンラインによる面接でしたが、面接のプレゼンテーション原稿を何度も先生方と読み返し、何度も修正することで気持ちに余裕ができました。面接も担任の先生や学年の先生に練習して頂いたことで、あまり緊張せず試験に臨むことができました。

大きな目標を達成するには小さな目標の積み重ねが重要だとこの高校生活で改めて実感しました。目標を定め、コツコツと努力することで、自分は何を学び、どのようになりたいかが自然に見えてくると思います。それでも見つからないときは仙台育英の先生方に話してみてください。必ずあなたの力になってくれます。

東京都市大学 メディア情報学部 社会メディア学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
山形 酒田第六中出身

進路に沿った文理選択ができるよう 1年次から将来をよく考えましょう

■進路が決まり文転したため 勉強面でかなり苦労しました

私は文理選択時に進路が決まっておらず、数学が得意で文系科目に苦手意識を持っているという理由で理系クラスを選択したのですが、2年生で就きたい職業が見つかりその職業が文系寄りだったため文転することを決めました。しかし、文系のクラスに変更してから学年順位は下がり次第に焦りと不安が大きくなっていきました。そして指定校推薦の校内選考で大きく考慮される校内模試でも心配になる順位になってしまいました。

そんな経験から、私は得意不得意だけで文理選択を行うことは危険だということ、苦手意識を持っている科目や力不足を感じている科目は背を向けずに早めに取り組み始めることが自分の将来の役に立つことを学び、受験を控える皆さんに伝えたいと思いました。文理クラスに分かれることによって各科目の年間授業時間も学習する科目数も違います。この選択を得意不得意だけで決めつけてしまうのはもったいないです。「将来何を学びたいか」「どんな職業に就きたいか」を1年生のうちによく考えて選択してほしいです。志望大学が決まっている人はどのような受験方法で戦うのかを決め、どの科目が力不足なのかを把握してほしいです。

■評定平均が良かったことで 推薦枠を獲得できました

また、評定がいかに大切であるかも分かりました。校内模試で好成績を残せなかった私が指定校推薦で志望大学の合格を勝ち取ることができたのは評定平均が良かったおかげだと思います。私は全科目評定5を取ることを目的に高校生活を送ってきました。そのために授業をしっかり受け、提出物は必ず期日までに提出し、定期考査対策としてワークや授業で配られた問題をひたすら解くようにしていました。授業態度はやる気があれば誰でも良くできますし、定期考査は対策をすれば点の取れるテストです。特に推薦受験を考えている人は、損することはないので真面目に取り組んでほしいです。

ここまで学業について書いてきましたが、皆さんには学業と同時に充実した高校生活を送ってほしいです。私は生徒会執行部とよさこいのチームに所属していたことによってより高校生活を充実させることができました。もし興味のある活動がある場合は参加してみると良いと思います。活動によっては調査書に記入してもらえることもあるので推薦受験で役に立つ可能性もあります。高校の3年間はあっという間に終わってしまうので悔いの残らない高校生活を送ってください。

東京都市大学 メディア情報学部 情報システム学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
茂庭台中出身

互いに高め合える友達と先生方の支えが 志望大合格には不可欠です

■友人と教え合う勉強法で 順位が上がりました！

高校3年間の生活を通して、私は志望大学の合格を勝ち取るためには、周りの友達や先生方とのコミュニケーションを取ることと準備することが大切だと思いました。

私は2年生の初めくらいまで数学や物理が特に苦手でした。仕組みを理解することにたくさんの時間を費やしてしまうタイプだったからです。1年生では物理はまだなく、数学だけだったためまだ授業には追いついていました。しかし、2年生になってから選択で物理が増え、さらに時間がかかるようになってしまったため、最初のテストの結果は良くはありませんでした。そこでこのままではだめだと感じ、自分一人で勉強するのではなく分からないところは周りの人に教えてもらい始めるようになりました。誰かに教えてもらうことで、自分では気付かなかったことにすぐ気付け、いままでよりも効率良く勉強ができるようになりました。また、教えてもらうだけでなく、逆に相手にも教えてあげることでより理解が深まるのが感じられました。この勉強方法にしてから点数も今までよりも取れるようになり、順位も上がっていききました。最終的には指定校推薦をもらうための校内模試でも予想よりも良い順位を取ることができ、志望大学の指定校推薦を勝ち取ることができました。

■しっかり準備し本番は 自信を持って臨みました

他に私が大切だと思ったことは準備することです。指定校推薦とは言っても試験はあります。私が志望した東京都市大学ではプレゼンテーションと面接が試験内容でした。そこで先生方や親に協力していただき、何回も練習を積み重ねていきました。その結果試験当日も自信を持つことができ、合格することができました。

後輩のみなさんには高校3年間でいろいろな事を経験して、その経験から将来何をしていきたいことを見つけて欲しいと思います。頑張ってください。

東洋大学 国際観光学部 国際観光学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
多賀城第二中出身

振り返った時に後悔しないよう周囲に 流されず意志を貫くことが大事です

■外国語を深く学び多くの人と 繋がりを広げていきたいです

私は中学生の頃から外国語を学ぶことが好きで、それを継続して学びながら多くの人と繋がりを増やしたいと思い、今より多くの地域から人が集まる関東圏の大学を志望しました。また、観光業に対する憧れもあったので、東洋大学の国際観光学部は学びたいことを全て学べる環境だと思い、2年生の時にはオープンキャンパスに参加したり、先輩を探して詳しく話を聞いて受験を決めました。

私は、1年生の頃から指定校推薦での進学を考えていました。そのため、1年生と2年生の時は定期考査で高得点を獲得するように勉強していました。また、英検だけでなく第二外国語で学んでいた中国語に関する検定、秘書検定や日本語検定など取得できそうな検定はできるだけ多く取得しました。

■家庭学習のやりかたを工夫し 集中力が身に付きました

3年生になって、コロナウイルスによる外出自粛と同時に校内模試と一般受験に向けて勉強を始めました。校内模試は過去問を何周もしたり、受験に関しては映像授業、参考書を活用して自粛期間は1日6時間以上を目標に家庭学習をしていました。例えば英語の学習として、単語や文法はもちろんですが、長文の際にスラッシュリーディングを行ったり、接続詞に印をつけるといった工夫をしていました。この勉強に集中した期間のおかげで、長時間の勉強に慣れて苦に感じることは少なくなりました。他には、春休みに短期留学への参加、インターアクト部の活動も日程が合うものには参加し、指定校推薦の枠を獲得するためにできる限りのことをしました。

大学を決め、それに向けて勉強する時間は人生でとても苦しい時間だと思いますが、推薦や一般、浪人に関わらず振り返った時に後悔しない選択をして欲しいです。周りに流されず自分の意思を貫くことが大事だと思います。頑張ってください。

専修大学 経済学部 生活環境経済学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
東京 稲城第六中出身

普段から授業の復習をしておくことが 校内模試の結果につながります

■授業を真剣に受けていたので テスト前も焦りませんでした

私は指定校推薦をいただき、書類選考で専修大学経済学部生活環境経済学科に合格することが出来ました。

高校1年生の頃、大学のことは何も考えていませんでしたが、勉強と部活動を両立させようと思いました。勉強では、部活動をやっていて寮生活だったので、あまり帰ってから勉強する時間が取れませんでした。その分、授業中にしっかりと先生の話の聞いたり、ワークなどの提出物を進めたりしました。授業をしっかりと聞いていれば、テスト期間に焦って勉強しなくても良い点数が取れると思います。定期テストで良い点数をとり提出物をしっかりと出せば、結果的にいい成績をもらえると思います。そうすれば指定校推薦での選考でも有利になると思うので、1年生の時から定期テストと提出物はしっかりとしておいた方がいいとおもいます。

部活動では1年生の頃はあまり試合に臨めませんでしたが、朝練や自主練習を欠かさず行い試合に臨めるようになりました。3年生の時には副主将を任せていただきました。勉強だけでなく部活動にも全力で励むことによって指定校推薦を取りやすくなったと思います。

■校内模試は出題範囲が広く 対策が大変でした

校内模試では3ヶ月位前から勉強を始めましたが1年生の頃からの範囲を全て勉強しなければならないので大変でした。もっと早くから勉強をしておけばよかったと思います。また普段からこまめに復習を行ったり、テストで解けなかった問題をわかるまで解き直してみたりすればもっと校内模試の勉強が楽になると思います。

指定校推薦をとるには校内模試の結果と成績が大事だと思います。どちらにも共通して言えることは、復習が大事なことだと思います。普段から授業でやったことを復習しておけば校内模試も成績もいい結果を残せると思います。そうすれば指定校推薦にしようと決めたときにも、色々な選択肢を持てると思います。

専修大学 法学部 政治学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
蛇田中出身

やりたいことを実現させるために 勉強に励み可能性を広げましょう！

■入学次から指定校推薦での 進学を目指していました

高校入学前から大学への入学を希望しており、推薦で入学することを希望していたので、先輩方の進路実績や指定校推薦の推薦枠等入試に関わる情報を1年生の頃から集めていました。その中で自分は政治について興味があり大学で学びたいと思っており、1年生の春休みや、2年生の夏休みにオープンキャンパスに足を運び、大学のパンフレットや大学のWebサイトで得た情報と、実際に行き自分の目で見て感じる雰囲気や模擬授業などを通して、自分に一番合っていると思う学校を選びました。仙台育英学園は指定校推薦枠が豊富で、運良く自分の行きたい大学の行きたい学部の指定校推薦枠があったので無事に推薦枠をいただくことができ、入学することができました。

■英語科の先生のサポートの おかげで英検を取得できました

指定校推薦の推薦枠をいただくためには、3年次の6月にある校内模試を受験し、良い点数を取ることが必要になります。校内模試は従来のセンター試験、今の大学入学共通テストと同等の難易度の試験です。ここで点数を取れず校内での順位が低くなってしまうと推薦をいただける可能性が低くなります。また、推薦枠をいただくためには評定平均を大学の推薦基準より高く維持する必要があります。日々の授業での学習態度、提出物や定期テストの点数によって左右されるため、日々の授業やテスト勉強はしっかりと取り組む必要があります。私はこの模試で、想像していた点数より悪く、もっと勉強しておけばよかったと後悔しています。皆さんはそのような後悔をしないように勉強を頑張ってください。また資格取得や、入試の補助員をやったりするなど努力した生徒は推薦を頂きやすくなると聞き、私も実際に取り組みました。資格では実用英語技能検定（英検）に挑戦し、2年次11月には英検準2級、3年次8月には英検2級を取得することができました。これは自分だけの力ではなく、英語の先生に2次試験の対策をお願いして協力していただけたことが大きいと思います。また、1年次と2年次には入試補助員に参加しました。

自分の進路に悩むことがこれから多くなると思います。自分の学びたいこと、やりたいことをできるのが一番だと思います。そのためにも日々勉強に励み、自分の進路の可能性を広げることが大切です。頑張ってください。

駒澤大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
西山中出身

何事も入念に準備をし自信を持って 取り組むことの大切さを学びました

■社会人になった時役に立つ

法学に惹かれました

高校3年生になっても明確な夢がなく、自分が何を学びどんな職業に就きたいのかわかりませんでした。そのため、さまざまな学部学科がそれぞれ将来どのような職業に就くのか、また社会に出る上で学んだことがどのように生かせるのかを自分なりに調べました。そうしていくうちに、社会で必要な知識であり、ビジネスのさまざまな分野にも生かせる法学に惹かれていきました。大学4年間の中で自分の夢を見つけ、そのためにたくさんのことに挑戦してみたいと考えました。私は成績が良い方ではなかったので受験がとても心配になりました。他の人と自分を比べて、自分には何も誇れるものがないと感じていました。しかし、悩んでも何も変わらないと思い、少しずつ何事にも自信を持って取り組みました。

■書類の作成から提出まで

先生が手伝って下さいました

受験の内容は、書類提出と小論文でした。書類は先生と一緒にネット出願をし、志望理由書や推薦書を印刷して、それらの内容を考え添削していただきました。また、パソコン作業で不慣れなことも多い中、先生が何度も時間を作って手伝ってくれました。小論文は直接大学に行き受験するため、問題も文字数も当日にならないと分からず、不安でした。何を勉強すれば良いかわからなかったもので、とにかく小論文の各問題形式に対して、答え方、構成を覚えしました。

私は、受験を通して、何事にも準備を怠らないこと、自信を持って挑戦することが大切だと学びました。そして、私一人ではとても合格することはできなかったと思います。ご指導して下さいました先生方、いつも応援や励ましてくれた友人がいたからこそ、合格することができました。本当に感謝しています。

日本女子大学 文学部 英文学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
仙台白百合中出身

小論文の添削や面接練習をして下さった 先生方のおかげで合格できました！

■校内模試や志望大の過去問を 解くほど自信になりました

私は1年生の頃から指定校推薦を視野に入れていたので、評定を維持するために定期考査前は特に力を入れて学習していました。また、英語検定の取得やボランティア活動にも積極的に取り組みました。指定校推薦は定期考査や普段の提出物も大事ですが、一番大事なのは校内模試なのでそれに向けて校内模試の過去問を解いたり、過去の大学入試問題を解いたりしました。特に国語や英語は長文問題があるので時間配分にも気を付けながら何度も解くようにしました。過去問をたくさん解くことで自分の自信にも繋がったと思います。

■準備をしっかり行ったので 本番に落ち着いて臨めました

指定校推薦の内定をいただいてからは、受験内容である小論文と面接の練習を日々行いました。小論文は時事問題や環境問題をテーマにしたものなど様々なテーマのものを書くようにしました。書き終わった後は先生に添削していただきアドバイスもたくさんいただきました。受験の約1週間前から面接練習は毎日行っていました。質問事項に対する受け答えの内容を何度も見直しして、自分の伝えたいことがしっかりと伝わるように心掛けました。コロナの影響で小論文は事前提出、面接はオンラインになってしまいましたが、前もって準備をしてきたおかげで落ち着いて臨むことができました。合格できたのは小論文を何度も添削していただき、何度も面接練習に付き合ってくださいました先生方のおかげです。ありがとうございました。

武蔵大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
埼玉 長瀬中出身

何事にもベストを尽くし取り組んだ結果 第一志望に合格できました！

■文武両道により目標を立てて 成し遂げる力が付きました

私は、武蔵大学の経済学部経済学科に指定校推薦で合格することができました。高校在学中は硬式野球部に所属し、日々活動してきました。部活動では仲間と共に日本一に向けて取り組みました。学校生活では、定期テストで全教科90点以上を取ることを目標に学習してきました。日頃から文武両道を意識してきたため、何事においても目標を立ててきちんとやり切るといった能力が身に付いたと思います。このように高校で取得したことを武蔵大学ならさらに向上させることができると考え、受験することに決めました。

■一瞬一瞬が自分の為になると 考えて常に前進しましょう

私自身、3年生になるまで進路を決めることができていませんでした。ですが、1年生の頃から授業に積極的に参加したり、テスト前には自主学習に取り組み、部活動においても、課題克服と向き合うなど様々なことにおいてベストを尽くした結果が今の進路につながっていることは間違いありません。特に、武蔵大学の指定校推薦には、硬式野球部での活動成績も受験資格として反映されているので、学業と共に部活動でも努力を積み重ねてきて良かったと思っています。ときには、この勉強に何の意味があるのか、課外活動が将来どのように生かせるのかが分からなくなることがあると思います。しかし、その一瞬一瞬がいずれ自分を後押しする源になり、進路選択の幅を広げることにつながります。苦しい時でも妥協せずに、前に進んでほしいと思います。

志望大学を決めることや、受験への対策は、多くの人々の力を借りて乗り越えることができました。一人でどうにかできることではないことが多くあります。先生はもちろん、同級生や先輩にも話を伺うなどして取り組んでいくべきだと思います。

大学生は、さらに社会人に近付くので、色々な分野の人と関わりを持ち、社会に出る土台作りをしていきたいです。また、野球も続けていくので、もう一つ上のステップでも文武両道を実現させ、充実して大学生活を送りたいです。

明治学院大学 心理学部 心理学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
宮城教育大学附属中出身

仲間と新しいことに挑戦することは 勉強と同じくらい大切かつ貴重です

■生徒会長を務め大変でしたが 非常にやりがいがありました

小学生の時にカウンセリングを受けたことがあり、心理学に興味を持ち、大学に進学することを決めました。

高校の勉強はむずかしく追いつくだけでもいっぱいでした。しかし、他の生活面で自分ができることをなるべく多くやりました。元々、ボランティア活動が好きだったので学校の行事の手伝いができる生徒会執行部に入部しました。生徒会というと少人数だけなのではないかと思われがちですが、全校生徒が3000人近くいる仙台育英の生徒会メンバーは、100人近くいます。多人数で活動していくうちに、統括役に興味がでたので、生徒会長に立候補し、活動しました。活動していく上で、大変なことは多々ありましたが、非常にやりがいがあり、貴重な体験ができました。

教室では、レベルの高い友人たちと切磋琢磨しながら、学習していきました。

高校に入学したら、勉強だけに力を入れる予定の方がいるかもしれません。もちろん勉強は大切なことだと思いますし、進学予定の方にとっては、やらなければならないことだと思います。ですが、中学とは違った環境になり、新しい仲間と新しいことに挑戦するのも勉強と同じくらい大切なことだと思います。

すべての面において、素敵な3年間を送れるように、毎日を楽しんでみて下さい。

玉川大学 芸術学部 アート・デザイン学科メディア表現コースに
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
東京 玉川学園中出身

頑張っている友達や先生、家族の支えで 受験を乗り越えることができました

■ラグビーに打ち込んだことが 3年間の財産になりました

私は大学を決めるにあたって、まず家から通える距離ということと、興味があったCG・映像分野を学べる大学に進学する事が希望でした。玉川は小、中通ったので慣れ親しんだところで親しい友達も多く勉強できることはとても楽しみです。

学校生活では、1年次から生活態度や定期考査に力を入れ生活しました。定期考査では評定が4か5を取れるように日頃から授業に真剣に取り組む努力してきました。3年次に行われた校内模試は正直自信がなかったのですが、指定校推薦の枠をいただきラグビー部で玉川大学芸術学部アート・デザイン学科メディア表現コースに合格することができました。

高校で一番頑張ったことは部活動です。私はラグビー部に所属していました。3年間色々なことがありましたが、人として大きく成長できたと思います。部活の中で頑張ったことは、部活同士の仲間と親睦を深めることであり、私の3年間の財産になりました。私は3年間寮で暮らしました。学年関係なく話し合い、日々を重ねる毎に絆が深まっていったと思います。3年間寮で暮らした事で親のありがたみがとてもわかりました。

■友達と互いに高め合い 合格を実現しましょう！

大学の指定校推薦入試では、多くの先生方に協力していただきました。入試はコロナの影響で書類審査のみでしたが、文書が間違っていないか確認していただき感謝しています。

大学に合格できたのは、近くで自分と同じように頑張る友達や支えてくれた家族や先生がいてくれたことで辛い事も乗り越えられたと思います。このような人達に恵まれた事が合格に繋がったと思うので、人に相談する事はとても大切です。

私は、大学に進学するにあたり将来なりたい職種をイメージし、大学選びをする事はとても大事だと考えています。指定校推薦を利用しての大学受験をする後輩の皆さんは、一日一日を大切にし早い段階からコツコツ積み上げて勉強を行い、友達と切磋琢磨し合いながらお互い高め合い合格を勝ち取ってください。

東京薬科大学 薬学部 薬学科（女子部）に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
五橋中出身

今まで関心がなかった本にも触れることで 視野を広げることができます

■志望大の先輩から大学の 話を聞くと参考になります

私は高校1年生のときに薬学を学べる大学を志し、2年生から様々なオープンキャンパスに参加しました。その中で一番環境が良いと感じた大学の指定校推薦枠があったため、その枠を取るためにその学校が求めている評定や出席日数を満たすように気を付けていました。これが何より大切なことです。極力休まない、テストである程度の点数は取る、提出物は出す。これらのことは厳守事項です。

そして、大学によって個性があると思うのでオープンキャンパスに行ってもパンフレットだけでは分からない雰囲気なども押さえておくといいと思います。そして、何日間も過ごして分かる良さもあると思うので、その学校に通っている先輩から話を聞くのもおすすめです。

■常に進路に関する情報を 収集し知識を深めましょう

それから、自身が進みたい道に関連することには、ニュースをみたり、新書を読んだりして常日頃からアンテナを張っておくべきです。それにより、知識が深まり、より興味を持つきっかけになるはずです。そしてなにより、大学の志望動機を書くときや面接の際に大いに役立つときがあります。

もう一つ、これは単純に自分がオススメすることなのですが、自分があまり興味のないことでも周りの人から勧められた本を読んだり、映像を見たり、イベントに足を運ぶといいと思います。色々なことに触れることで、物事を多角的に見ることができるようになると思います。結局、私が一番言いたいことは基本的なことになりますが、学校にはきちんと行き、良い評定を取りましょうということです。志望の大学を目指して頑張ってください。

帝京大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
茨城 水戸第四中出身

入学次から将来のビジョンを描き 達成に向かって3年間努力しましょう

■日常生活は当たり前のことを きちんと行いましょう

指定校推薦の枠を得るためには、学業のみならず、学校生活でも周囲の模範でなければなりません。推薦枠を得るために、私は高校3年間をすごしてきました。

まず、指定校推薦を得るには、3年の時に行う校内模試の結果が大きく関わってきます。今年度は、新型コロナウイルスの影響で休校だった期間が長かったので、その間に模試の勉強を進めることができましたが、なるべく早いうちから対策を進めるべきだと思います。

模試の結果が最も重要ですが、学校の成績も大きく関わってきます。1年生の頃の成績が関わってくるので、後々になって後悔する事がないように、1年や2年の頃から良い成績を残す事が不可欠です。

勉学で良い成績を残すことはもちろんですが、普段の日常生活でも周りの模範とならなくてはなりません。欠席や遅刻をしないのは当たり前。そこに関しては、当たり前の事を当たり前に行えば大丈夫です。

■自ら積極的に先生方に 助言を仰ぎましょう

推薦をもらった後には、面接や小論文の対策をしていく必要があります。仙台育英の先生には、面接や小論文の知識が豊富な方がたくさんいます。自分から積極的に対策をしていく事が大切です。

さらに、部活動やボランティア活動などの課外活動や、英検などを積極的に行う事で、受験に対するアピールポイントにもなるし、大学進学後の生活に役立つと思います。課外活動や検定に取り組む事は、今後の自分の人生にとって大きな財産になる事はまちがいありません。

高校3年間はあるという間に過ぎ去っていきます。1年生の頃から明確な目標を持ち、それを達成するための行動を続けられるかどうかで高校を卒業する時の自分が大きく変わってしまいます。入学した時から、自分の将来に向かうための明確なビジョンを立てて、頑張ってください。

桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 アビエーションマネジメント学類に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
稲井中出身

1 枠の推薦枠を獲得できた一因は 維持してきた評定と部活での成績です

■就職を見据えて大学への 進学を決意しました

私は進学する大学を決めるにあたって、まず自分の興味がどこに向いているのかを再認識して大学や学部を選択していきました。結果、ブライダルについてとても興味があったので、ブライダルについて詳しく学べる学校を探し、多くのパンフレットを取り寄せて比較しました。コロナ禍の受験ということもあり、一旦は県内進学も考えましたが、ブライダルについて学べる大学がありませんでした。ブライダルの専門学校はいくつかありましたが、将来の就職のことを考えると、大学への進学が自分の為になると思い大学に進学することに決めました。そこから、常に最先端の情報を取り入れることができたり、他の大学や企業との関わりを持てたりすることから都内の大学に魅力を感じ、大学決定に至りました。

■面接練習では多様な質問に 対応できる力を付けましょう

大学が決まってからも、緊急事態宣言による自粛期間の最中、指定校推薦枠獲得を目標に校内模試の勉強に励みました。桜美林大学は特に英語が必須科目になっていて、私自身英語は苦手科目であったので、英語中心に配布された校内模試の過去問全てを理解するまで解きました。桜美林大学のビジネスマネジメント学群は枠が1つしかなかったため、不安と焦りが凄く大きかったです。結果は、その1枠に入ることができました。正直、1年生の時からキープしていた評定と、部活の表彰歴に助けられた部分はあったと思います。その事から、テストの成績、普段の授業態度、提出物などは校内模試に関わってくるので、しっかりしておいてよかったなど実感しています。

入試課題の読書レポートは2冊の中から選択式になっていて、今まで私が抱いていた新聞に対してのイメージだったり、新聞があることの大切さを学んだ上でこれからの活用の仕方について書きました。面接は、今まで自分が頑張ってきたことをとにかくアピールし、どの質問に対する答えも、自分の将来に繋がるように答えました。もちろん緊張は付き物ですが、面接官役を色々な先生にお願いし、色々なパターンの質問に免疫をつけておく事で、安心して本番に挑めると思います。

立正大学 文学部 社会学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
利府中出身

早めに志望大を決めて努力すれば 更なる高みを目指せる学力がつきます

■ 苦手克服をないがしろにしてしまい 得意教科の学習に響きました

私は入学して以降、長い授業時間や日々の予復習に慣れてきた頃から進路について具体的に考えるようになりました。それから校内模試に向けて受験勉強を始めました。もっとも受験勉強といっても、まんべんなく復習を行うというようなものではなく、好きな教科の復習を始めた程度のことです。当時はまだ受験が遠い先のことのように思えて、漠然としか定まっていない志望大学に向かって邁進するモチベーションが湧かなかったことが大きな理由です。しかし、3年生になって受験勉強に本腰を入れ努力しても苦手教科の対策を残り一年で間に合わせることはかなり厳しいものでした。前もって始めていた得意教科の復習にも時間を割く必要があったからです。最終的に私は得意教科を先にやり始めていましたが克服できず、第一志望を変更することになりました。それでも得意教科に大きく助けられて、何とか当初の志望大学よりもさほどレベルを落とすことなく満足のいく大学への推薦権を得ることが出来ました。

■ 得意教科を伸ばすことにより 自信を持てるようになります

私がこのような経験を振り返って思うことは、得意教科も苦手教科も最後まで効いてくるということです。その中でも得意教科をより高めておくことは点数の伸び幅が少ないように思えますが、精神的にも自信が付き、やって損はないと思います。また、自分の目標とする進路を早めに明確にすることも大切だと思います。明確にここに行く決めて邁進すると、その想定以上の学校に行けるほどの学力を身に付けることも努力次第でできます。私は昔から飛び抜けて勉強ができたわけではありません。でも、目標に向かって地道に努力すればその目標を叶えることができる、ということを実感しています。

共立女子大学 家政学部 児童学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
登米中出身

飽きずに集中できるように勉強科目や スケジュールを自分なりに工夫しました

■進学した先輩がいなかった為 自分から行動し対策しました

私が共立女子大学の児童学科を目指した理由は、保育士と幼稚園教諭の資格を大学の4年間で取得でき、児童心理も幅広く学習できる点と「女性の自立と自活」という建学の精神に魅力を感じたからです。

推薦で受験しようと思った理由は、高校入学時から希望大学を決めていたこともあり、どうしても進学したいという意志が強かったからです。しかし、前年度までに児童科に進学した先輩がいませんでした。そのため、オープンキャンパスや個別相談会などには積極的に参加し、指定校推薦の枠を頂くことができました。

指定校の枠を頂いてからは、期末テストに力を入れて取り組みました。1, 2年生の頃の倍くらい時間をかけ、テスト対策などは先生や友達に分からないこと、自分の中で少しでも引っかかることはすぐに質問するようにして成績を上げました。分からないことをうやむやにしたり、流してしまうとずっと分からなくなってしまいます。少し恥ずかしいと思うことがあっても、分かるまで聞いたり、別の人に聞いてみるのも良いと思います。また、学習評価については、きちんと授業を受けていれば先生方に相応の評価を付けていただくことができます。小テストなども抜かりなく学習した方が良いと思います。

資格の取得に関しては、私は学校の授業から受けられるものしか取得していませんでしたが、あって困るものではないので取れる時に取った方が良いと思います。

テスト前以外は時間を見つけて、テスト前は自分の馬力がかかり始める時間を計算して飽きないように工夫して勉強していました。自分の性格を理解して、苦しくならないようにする事が必要だと高校の3年間で学ぶことができました。また、得意な科目と不得意な科目それぞれも自分の中で飽きたり、大丈夫だと思い込んだりしてしまわないような工夫も大切だと思います。

■自分なりの努力の仕方を見つけて 頑張ってください

共立女子大学を受験するときの対策としては指定校推薦の場合は小論文と集団面接のみになります。小論文の授業をよく聞いて、応用したり、どの形で出るか決まってないので、他大学の問題を解いた方が小論文対策になります。面接は、いろいろな先生にお願いして数をこなす方が精神的にも強くなるのでおすすめです。また、集団面接だと希に話したい内容が前の人とかぶる場合もあるので、一つの質問に多くの答えを考えた方が良いです。

最後に、高校生活3年の中で一番大変だったのが個人的には3年生でした。でも、進学したい、今より楽しい場所に春から行きたいという気持ちだけでも頑張れるし、息抜きをしながら自分にある力を出しければ目標に手が届くという事が分かったのも3年生です。高校生活、自分なりの努力で今後の生活や受験勉強を頑張ってください。

工学院大学 建築学部 建築学部総合学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
韓国出身

面接では自分の意見をきちんと 話せることをアピールしましょう

■取得可能な資格や検定は
2年までに取得しましょう

大学に合格するには？ まずは取れる資格は全部取るということです。数検や英検、留学生は日本語検定試験などできれば3年生になる前に取りましょう。3年生になったらいろいろ忙しくなるので時間に余裕があった時に資格を取っておくと勉強にもっと集中できると思います。

また、3年生になると6月に指定校推薦が決まる試験がありますので、指定校推薦を考えている人は頑張って勉強しておきましょう。指定校推薦では資格の有無と今までの成績で大学を選べる範囲が違ってきてしまいます。自分が行きたい大学の条件を知っておくこともかなり重要です。

■面接は練習量の差が
はっきり表れます

6月の試験を通過した人は面接の準備に力を入れてください。面接は、たくさん準備した人と、していない人の差が大きいです。時間がある時いろんな先生に面接をお願いしてください。予想質問も書いてその質問に対する答えも書き、自然に喋れるまで練習しましょう。面接の時に重要なことは自信です。自分の答えに自信を持って大きい声でしっかり答えるように準備しましょう。面接官側もきっと皆さんが緊張していることを分かっています。緊張しているのに自分の意見をはっきり言える人だという印象を残しましょう。あとは視線です。視線はまっすぐ面接官の方を見るようにしましょう。ここで注意することは相手と対話するように話すことです。準備した内容を覚えて答える方が多いと思いますが、答えを覚えたようなような感じではなく、今あなたと対話してるような感じで答えることができれば、それで十分です。

これから忙しい日々を過ごすと思いますが、病気にならないように健康に気をつけてください。きっと良い結果があるから最後で頑張ってください。

清泉女子大学 文学部 スペイン語スペイン文学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
蛇田中出身

部活動や留学などの体験で視野が広がり 進路決定にも大いに役立ちました

■外国語教諭という夢のために 高校生活を過ごしました

私は小学生のころから教員になりたいという目標があったので、それに向けてどのような道を選択すべきか逆算して進路を決めてきました。外国語コースへの入学を決めたのも外国語の教員になるために国際交流などの経験を積みたいと思ったからです。しかし、入学当時は志望大学も入試方法も決まっていませんでした。そのため、1年生の頃からどの入試方法になっても対応できるように勉強はもちろん、勉強以外の活動にも積極的に取り組みました。指定校推薦は校内模試の成績や評定が良好なだけでなく、部活動での功績や資格など、自分のアピールポイントが多ければ多いほど有利になります。勉学に励むことはもちろんですが、その他の活動にも積極的に取り組むようにしてください。

■カナダ留学で英語以外の 言語にも興味が湧きました

私は高校3年間、獅子太鼓部とインターアクト部に所属していました。入学当時は、部活動に参加せずに勉強に集中しようと考えていましたが、今では部活動に参加して良かったと感じています。大変なことも多々ありましたが、他学年や他コースの生徒とも交流が生まれ、たくさんの友達ができました。さらに、私は2年生のときに3ヶ月間のカナダ留学を経験しました。ホストファミリーや現地でできた友人と積極的にコミュニケーションを取り、自身の英語力向上に努めました。また、この留学がきっかけで英語以外にもスペイン語を学びたいと思うようになり、多言語の習得が可能な大学を選びました。このように、私は高校生活で多くの体験をしたことで、視野が広がり、進路を決める上で非常に役に立ったと感じています。自分にとっては小さなことでも、その積み重ねが将来に繋がっていくと思います。1, 2年生の皆さんも興味のあることには次々に挑戦し、自分のやりたいことを見つけてください。

創価大学 文学部 人間学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
蒲町中出身

受験をサポートしてくれた周りの人への 感謝を忘れず学びを深めていきます

■中国研修を経て更に語学力を 磨こうと決意しました

創価大学を志望した理由は、中国語ダブル・ディグリーコースと人間教育に魅力を感じたからです。中国への留学や、文学部の幅広いカリキュラムを通して、自己の可能性や視野を大きく広げられると思いました。また大学の建学の精神の一つである「人間教育の最高学府たれ」という言葉から、知識ある人間だけでは世界で羽ばたけないと思い、私は学問を第一として、これから様々な困難にあたって価値の創造をやめない自分を作り上げていくために、創価大学を志すようになりました。高校生活では特に中国語の勉強や授業に力を入れました。中国語の授業では先生がネイティブなので生の中国語に触れることができ、わからない問題をそのままにせず、すぐに先生に聞き理解できるまで演習を積みかさねました。また漢語水平考試に挑戦し学校の定期試験以外にも自分の実力を測り勉学に努めました。私は1年次の3月に中国研修に参加し、直接言葉を交わしていく中で自分の中国語の実力を実感し、さらに中国語勉強に磨きをかけたいと意欲が湧きました。大学でも中国語に力を入れ、自分の強みにできるよう人一倍学んでいきたいと思っています。

■先生方には自己申告書を 何度も推敲して頂きました

私は受験をするにあたって、3年次から事前に提出する自己申告書と面接練習に力を注ぎました。自分がなぜ創価大学でなければならないのか、何を学びそれをどのように将来に繋げていくかをまとめ、自分が創価大学で学びたい思いを書きました。先生方に何度も添削をお願いし、言葉の表現や文脈が合っているかをチェックしました。また創価大学の面接では約10分行われるため、過去に受験された先輩方の質問内容をもとに自分なりにまとめ、計20個ぐらいの質問を考え瞬時に返答できるよう務めました。面接練習では放課後にたくさんの先生方と面接練習をさせていただきました。面接本番では先生方から頂いたアドバイスや家族、友人からの応援が私の心の支えとなり落ち着いて受験することができました。

後輩のみなさん、困難に直面してもそれをチャンスに変えて勤しんでください。

東京電機大学 未来科学部 情報メディア学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
東華中出身

自分にしかできないことや誇れることを アピールし周りとの差をつけましょう

■様々な資格を取得し進路の 選択肢が広がりました

私は高校に入学当初に、指定校推薦を使って大学に進学することを高校生活の最終目標としました。そのため、1年生の時から色々なところに注意して生活していました。

何より重要なのは勉強面です。指定校推薦に必要なものは第1回校内模試です。この模試の成績が推薦される際の比較対象の大部分になります。また、定期考査の評定を大事になってきます。しかし普通に授業を聞きノートを取って提出物を出していれば心配ないと思います。テストの1ヶ月前くらいからテストの対策をしていればオール5を取ることも難しい話ではありません。しかし、定期テストの出題範囲の勉強だけでは十分ではありません。なので、授業で網羅し切れていない部分を自分で補っていく必要があります。なぜなら他のコースでは授業で学習しているためです。

次に重要なのが自分の武器を作ることだと思います。武器というのは自分にしかできないことや他の人よりも突出しているものを見つけましょう。例えば、部活や外部活動、英検などの資格などが挙げられます。自分の武器を見つければ推薦の時に周りの人との差別化点になるだけでなく、高校卒業後の進路を決める切っ掛けになったり、出願できる大学の幅を広げてくれます。私は情報処理検定やMOS試験の資格を取得しながら、英検や数検の資格を取得しました。

■友達と切磋琢磨しながらの 勉強はとても効果的でした

最後に必要だと思うのは高校での人間関係です。定期テストや資格試験の前は友達と勉強していました。友達と勉強することは、教え合って互いに知識を増やせませし、別の視点からの意見を聞けて効果的です。また、勉強をするハードルを下げることもできます。また、友達ではなく先生ともコミュニケーションをするべきだと思います。私に教えていただいた先生方は分からない問題は分かるまで教えて頂きました。また、模試の前などは勉強だけでなくメンタル面もサポートして頂きとても心強かったです。

最後になりましたが、在校生の方々は残りの学校生活を悔いのないよう過ごして下さい。

神奈川大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
涌谷中出身

評定を上げることが勉強の モチベーションになりました

■スマートフォンのアプリを 暗記や復習に活用しました

私は指定校推薦でこの大学に合格しました。まず、評定を上げるために、1年生の時から定期テストで良い点を取ることを心がけました。特に点数のとれなさそうな苦手な教科を中心に、定期テスト前の勉強に励みました。評定を上げることは、勉強のモチベーションにもつながるので、定期テスト前はしっかり復習した方が良いと思います。次に、3年生の6月に行われる校内模試に向けて、高校3年間の復習をしました。特に、文系だったので、英語と国語に力を入れました。英語では、毎日単語を20個覚えたり、過去問を解き直して、長文を早く読む練習をしたりしました。他にも、リスニング対策として、空いている時間に英語を聞いたり、スマホのアプリを使って文法を復習したりしました。国語では、毎日30個の漢字を覚えたり、過去問の現代文を何度も解き直したりしました。また、ユーチューブを見て、古文の単語を覚えたり、スマホのアプリで対義語を覚えました。過去問を解くことが得点力アップにつながると思います。

■除菌対策を徹底して 体調管理に気を配りました

それから欠席をしないように体調管理に気をつけました。いくら評定が良くても欠席が多かったら、推薦が取れないので、帰宅したら、すぐ手洗いうがいをし、アルコール消毒をして、感染症の予防もしました。

去年は、コロナウイルスもあり、自宅での学習時間も増えました。空いている時間を有効に使うことが大学合格の鍵になると思います。

神奈川大学 経営学部 国際経営学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
青森 三沢第一中出身

勉強や推薦入試対策で後悔のないよう 早くから進路について考えましょう

■校内模試対策は休校中に 集中して行いました

まず私がこの大学を志望した理由は、英語と経営学の両方を重点的に学習できるというところです。私はこの大学に指定校推薦で合格しました。私が大学合格するまでに一番苦労したことは、校内での指定校推薦の内定でした。校内の指定校推薦の内定を取るためには校内模試で高得点を取ることでした。私は2年生の2月から校内模試対策の勉強を始めました。その時期は新型コロナウイルスの影響で学校に登校できない時期でもあったので、参考書を買って自宅でも勉強をしました。平日は1日に9時間、休日は10時間を目安に勉強したり、分からない所は、偏差値の高い高校に進学している友人に電話で聞いたりもしていました。結果2桁の順位を取ることはできませんでしたが、納得のいく点数を取ることができました。

■面接対策を十分行ったので 合格できる自信がありました

その後大学選びをし、神奈川大学を選びました。大学を決めてからは志望理由書と面接の準備をしました。コロナの影響で面接は無くなりましたが、しっかりと準備をしていたので面接があっても合格できる自信はありました。合格した後は普通の学校生活に今までよりも気を付けるようにしました。指定校推薦というのは仙台育英を代表してその大学に進学するので、模範となる生徒でなければなりません。大学に合格したからといって浮かれてはいけません。また、一般で進学する生徒もいるので周りに絶対迷惑をかけないように生活しました。

大学に合格するのは簡単ではありません。指定校推薦だからといって絶対に合格するという保証もありません。私は、もっと早い時期から勉強を始めたら、もう少しレベルの高い大学の指定校推薦を取れたかもしれなかったと少し後悔しています。大学が決まった以上、これからは入学後に一般の人達に遅れをとらないように今勉強しています。大学というのは人生の中で最も大きいターニングポイントだと思います。「もっと早くから勉強すれば良かった」や「もっとしっかり準備すれば良かった」などと後悔のないようにして下さい。

神奈川大学 外国語学部 英語英文学科 IES プログラムに
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
豊里中出身

第二外国語は自宅学習にも力を入れ 資格を取得し受験でアピールしました

■高校で学んだ第二外国語を さらに深く学びたいです

私は高校1年生の時から指定校推薦での神奈川大学への進学を考えていました。そのために実用技能英語検定やTOEIC・中国語検定など、学校で学んでいる第二外国語も家でさらに学び、資格を取得しました。検定の取得では語彙力が必須だと思いました。分からない単語を通学時間に確認し、苦手な分野を繰り返し学習しました。空き時間を見つけ、過去問も取り組みました。さらに期末テストでもできるだけ高い点数を取り、評定も4.5以上取ることを心がけました。高校2年生からボランティア活動にも積極的に参加しました。ボランティア活動を通して学んだことや、高校生活の活動として志望理由書を書く際にアピールしました。また、一番重要なことは校内模試で良い点数を取ることが重要だと思いました。3月頃から家で過去問や大学入学共通テストの過去問に取り組み、出題傾向を確認し、苦手なところの克服をしました。神奈川大学では、高校時代まで学んでいた第二外国語を習得できることが可能で、他学科の講義も受けられることに惹かれ神奈川大学への進学を決めました。

神奈川工科大学 情報学部 情報工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
石巻中出身

推薦枠を取れた時、そして合格した時は 努力が報われた思いでした

■エンジニアになりたくて 大学進学を決めました

私は将来エンジニアになりたいと考えていたので、その知識を得る事ができる大学や学部学科を探しました。もともと私は県外に出てみたいという気持ちがあったので、それを踏まえて自分に適した大学を選ぶようにしました。

私は指定校推薦を利用して大学へ入学しようと考えていたので、学校の成績を落とさないように、テストで低い点数を取らないように、講習に参加したりと少しでも学力の向上を図りました。普段の授業での態度や提出物など改めるようにし成績を下げないようにしました。推薦枠を取れたと知ったときは心の底から安心し努力は無駄にならなかったと嬉しくなりました。

■面接練習は誰よりも多く 行った気がします

推薦枠が取れた後もやらねばならない事もあり、成績の維持や大学側に送る自己推薦文があります。自己推薦文は大学が要求してくる内容に合わせて提出するものです。私が入学しようとしている大学は、どのようにして大学を知ったか、そこで何を学びたいか、入学するにあたって高校時代何をしてきたか 800文字程度で書くものでした。私は校内選考時に書いた 1600字の推薦文を参考にして書きました。大学の面接時、その 800字の文を元にくわしく質問されます。その質問に上手く答えられるように先生方が面接練習をして頂きました。私は人よりも多く練習していたと思います。面接練習内容は濃く、細かい所まで質問されたり入室と退室の仕方、面接中の姿勢など全体の流れを通して練習しました。重要な事は入退室時の挨拶、面接中は相手の目を見て元気で話す事。後は練習通りに本番に挑みました。合格したとき努力が報われた気がしました。

私の経験を踏まえて体験記を書きましたがそのまま参考にはせずに、自分なりの取り組み方を見つけて後悔をしないよう努力し続けてください。

鶴見大学 文学部 文化財学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
田子中出身

部活帰りで疲れても復習を必ず行い 苦手克服に充てるゆとりができました

■歴史により詳しい教師を 目指します

中学生の時から歴史科の教師になりたいと思っていました。鶴見大学の文化財学科では学科だけでなく歴史物を見たり発掘したりする事ができると分かり、これらを自分が将来、教師になった時授業で歴史物について説明する時に活かせると思ったのでこの大学を選びました。

私が合格するために行った事は、部活と勉強を両立するための努力と、定期テスト前は必ず苦手な教科や部分から勉強する事です。私の所属していた卓球部は基本的、休みは平日で土日は練習というスケジュールでした。そのため土日はなかなか勉強する時間がとれず、練習試合や大会の後は疲れて勉強せずに寝てしまっていました。そのため、定期テスト1週間前でやっと試験範囲が一通り終わり、理解するまで覚えるためによくテスト前日の深夜まで勉強をして、苦手な部分の理解や苦手な教科が後回しになってあまり良い点数が取れませんでした。

■苦手だった数学や化学を 重点的に勉強しました

鶴見大学の推薦は3年間の評定で決まるので、3年生になってからは部活から帰ってきた後、今日習ってきた部分をワークで復習するようにしました。これを続けた結果、テスト前に余裕ができ、苦手な教科や部分に時間をかけることで評定を下げる事がなくなりました。苦手な教科や部分を先に終わらせることで、残りの得意な教科や理解している教科を短時間で終わらせることができ、実際にこの方法勉強したことで私の苦手な数学と化学の点数を落とすことなく校内模試に取り組むことが出来ました。

これらの努力は大学でも大切になっていくと思っていますので、これからも努力を続けていこうと思っています。

横浜薬科大学 薬学部 臨床薬学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
飯野川中出身

毎日5分だけでもよいので机に向かい 努力を重ねれば明るい将来が待っています

■病院薬剤師としての知識を 学べる大学を選びました

私は高校入学時、英語を使って仕事をするのがかっこいいな、留学できる大学に行きけたらいいな、くらいに将来を考えていました。しかし、高校1年の後半に祖母の持病が悪化して亡くなったとき、医療の面から人の役に立ちたいと考えるようになり、様々な職業がある中で一番なりたいと思ったのは薬剤師です。私は化学や数学、生物などの理系の科目が特に好きだったので、これらの科目を幅広く学べる薬学はとても魅力的でした。そこから2年次には様々な大学のオープンキャンパスへ行き、病院薬剤師の学びに特化した臨床薬学科がある横浜薬科大学へ行くことを決めました。1年生から、どの進路を目指しても困らないよう、文系の科目も理系の科目も偏りなく勉強することを意識していました。そのため、1年生の頃にはニュース検定という時事を学ぶことができる検定、情報処理検定、英検などに挑戦し、目標を一つに定めることなく、様々なことを吸収しました。そのおかげで知識を増やすことができたと思っています。

■家庭学習でも実力を養えると 休校中に気づきました

また、1年生から夏休みや冬休みに講習を受けることができたため、それにも積極的に参加し、英語や数学の基礎力アップを目指しました。2年生の頃からは指定校推薦に向けて、数学と英語の問題集を解き、分からないところがあれば先生に聞きに行く、ということをしてきました。先生が親身になってくださるのでとても楽しかったです。分からないときは先生に頼っていくべきだと思います。そして3年生のとき、COVID-19が流行し、授業が思うように進みませんでした。薬学に行く上でとても大切な化学の授業が受けられませんでした。しかし、化学は誰かに教えてもらわなければならない、という自分の中の固定概念を壊すことができたきっかけでもあります。教科書を読み込んで、演習問題を解くだけでも力を養えることを知りました。そして最近では動画サイトで、化学の解説をする動画が多くあり、それを見ながら大事なことを教科書に書き込んでいくこともしました。高校3年間で一番大切だと思ったことは常に目標を忘れないことです。どれだけ自分の目標に対する熱量があっても常に気を張っているのは難しいものでした。自分の情けなさに涙を流したこともあります。毎日5分でいいから机に向かう、これがすごく大切です。毎日の積み重ねで自分の将来が変わると思います。そして、高校3年間で自分の未来が変わってくると思った方がいいと思います。高校3年間は自分が想像していた以上にあっという間でした。自分の目標に向かって努力してほしいです。

城西大学 薬学部 医療栄養学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
青森 藤崎中出身

部活動が続けたことで成長でき 受験にもプラスになりました

■病院で傷病者をサポートする 管理栄養士を目指しています

高校1年生の頃、大学の事は何も考えておらず、部活動のことで精一杯でした。練習や練習試合などがあり、大会前でテスト休みがない時の勉強と部活の両立が大変でした。もちろん放課後の練習だけでなく、朝早くから朝練もあり部活漬けの毎日でした。しかし、高校2年生の冬、私の祖父が病気で危篤状態となり帰省することになりました。その時の祖父の食事は塩分の過剰摂取を防ぐために薄味になっていました。それを知って祖父が味を濃くしていた姿を見て、祖父を説得しようと思いましたが、信頼してもらえませんでした。これをきっかけに傷病者のために毎日の研究を積み、幅広い知識を身に付け、信頼してもらえる病院の管理栄養士になりたいと思いました。

■部活動の実績が評価され 推薦枠をいただきました

校内模試に向けて努力したことは、勉強や部活動です。まず授業はよく話を聞くべきだと思います。授業では、先生方が重要なポイントを分かりやすく教えてくれるので理解しやすいですし、先生が話したことをノートに書くこともテスト対策を立てるのに大切だと思います。また、先生によっては興味深く面白い話をしてくれるので、つまらないと決めつけずよく聞くことで関心を持って学ぶことができると思います。次に部活です。部活動では、成績を残すことや高校3年間継続することが大切だと思います。私は推薦をもらうために必要な校内模試の点数を落としてしまい、第一志望である大学を逃してしまいました。しかし、部活動の評価が高かったため、第二志望である大学の推薦を得ることが出来ました。

この経験から私が指定校推薦で受験することができたのは、学校の勉強は普段からしっかりやっておくべきであることと部活動を継続してきたからだと思います。継続すると、自分として成長ができ、受験をするために有利になると思います。それから、受験は一人で頑張ることももちろん大切だと思いますが、不安なことがあったら友達や先生方、家族に頼ることも大切です。最後になりますが、勉強や部活動を並行させるには大変なことだと思いますが、応援してくださっている人への感謝を忘れず頑張ってください。

文教大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
矢本第一中出身

早くから大学について詳しく調べ 校内模試に向けて勉強しましょう

■校内模試対策が遅かったのを とても後悔しています

私は指定校推薦で大学に入るために仙台育英に入学しました。仙台育英は3年生の6月に全コース一斉に行う校内模試があり、指定校推薦はこの模試の順位の結果で指定校がとれるかとれないかが決まります。私は校内模試に向けての勉強開始が遅くて、1年生の早いうちから3年生校内模試に向けて勉強しておけば良かったと後悔しています。模試は国語、数学、英語なので1年生からなるべくその3教科に力を入れるようにしていました。

行きたい大学が決まってからはその大学について深く調べて、自分が行きたい第一希望の大学と、第二希望、第三希望といくつか候補として決めていました。そして模試の結果が返って来たらその点数を見て先生や家族と相談しながら指定校を決めました。結果的に私は第一希望の大学の指定校推薦を取ることができませんでした。一番の原因は、統一テストに向けての勉強が足りなかったことで、とても後悔しています。

■進路指導の先生に相談し 大変ためになりました

私は、指定校推薦の二次募集で文教大学の経営学部の指定校推薦を取ることができました。このときも先生や家族に相談し、ものすごく悩みました。進路指導の先生などの話も聞いて例年の事なども聞けてとても自分のためになったので良かったと思います。文教大学の指定校推薦の試験内容は面接と書類出願でしたが、コロナウイルスの影響で面接がなくなり、書類出願のみの入試でした。経営学部は入学後の学修計画と目標達成のための学修計画を書く学習計画書と学科への志望動機と自分が他人より優れている点についてまとめる作文でした。面接がなく文章でしか伝えることができないので書くのに苦労しました。書いた書類は先生に見ていただきながら何度も修正して何枚も書き、時間をかけて完成させました。

後輩の皆さんは、できるだけ早めに受験対策をし、色々なことを調べ尽くして勉強してほしいと思います。

明海大学 ホスピタリティ・ツーリズム学部 ホスピタリティ・ツーリズム学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
稲井中出身

部活動での豊富な経験や自己の成長を 面接や推薦書でアピールできました

■入試で活用されるので

英検取得に取り組みました

この大学に合格するために、高校生活で頑張ってきたことは主に3つあります。1つ目は学業です。1年生の頃からなんとなく大学に進学したいと思っていましたが、どこの大学を志望するかは全く決めていませんでした。そのため、どこの大学を志望しても困らないよう、一定の高い評定を得るために毎回の定期考査対策をしっかりと行いました。また新たな大学入試制度として、英語民間試験を入試に活用する大学が増え、各大学が定める資格のスコアやCEFRを取得することが出願条件として追加されたりしました。私はそれに対応するために、1年生の頃から英検を受験して、3年生になるまでに目標のスコアを取得しました。

2つ目は部活動です。私は獅子太鼓部とインターアクト部に3年間所属しました。獅子太鼓部では地域の方々や外国人と交流したり、伝統文化を伝承する事の大切さを学んだり、たくさんの貴重な体験をしました。また、私は部長を務め、積極性や主体性を身に付けることができました。インターアクト部では様々な種類のボランティア活動を経験し、自分の視野を広げ、成長することができました。推薦入試は学力だけでなく、高校でどんなことを頑張ってきたかについても評価されます。私は部活動で取り組んできたことや学んだことを面接や推薦書でアピールできました。

■新規実施の小論文試験は

授業の復習で対策しました

3つ目は入学試験対策です。私が受けた学部の指定校推薦は、昨年度までは推薦書と面接だけでした。しかし入試制度が新しくなり、国立私立を問わず、総合型選抜入試、推薦入試でも学力や技能を必ず問う試験形式になりました。そのため、小論文が追加されました。直接的な過去問がないため不安でしたが、学校の小論文の授業で学んだ基礎的な事を復習したり、自分が受験する学部で問われそうなテーマについての知識を増やしたりして対策しました。

このように3年間コツコツと努力を積み重ねる事が合格に繋がったと私は思います。学校推薦型選抜で受験したい人は、勉強と部活動とボランティア活動を両立させるべきです。皆さんも大学合格に向けて頑張ってください。

埼玉学園大学 経済経営学部 経済経営学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
中国出身

指定校推薦の準備は万が一推薦枠を 貰えなかった時も想定しておきましょう

■指定校推薦は準備が多く 決して楽ではありません

私の大学合格体験談について紹介したいと思います。私は指定校推薦で大学に合格しましたので、指定校推薦について話したいと思います。

おそらく指定校推薦を楽だと思っている人は多くいると思います。確かに指定校推薦は学校から推薦をいただくことなので、とてもスムーズな受験方法の一つです。しかしこれも楽なことばかりではありません。一般の皆よりも早くから準備しないとイケません。そして、毎回の学校のテストで、主要科目以外も含めて、全般的にしっかり取り組み高い成績であることが必要です。評定平均の基準を満たしたり、英検等の資格を取得しておくことが求められることもあります。さらに人気の大学・学部からの推薦枠は、校内のライバルも多くなりがちで、確実に自分が推薦をもらえるとは限りません。推薦がもらえなかった時を想定して、主要科目は入試レベルに勉強しておくことが必要です。

■推薦枠を貰えなくても 次の機会を狙いましょう！

私も実際に、推薦枠に入れなかったことがありました。そこで重要になってくるのが、3年生の6月の校内模試です。模試の結果や順位は、指定校推薦をもらえるかどうかにも大きく関わってきます。そのため事前から勉強しておく必要があります。さらに、指定校推薦は大学入学後も、高校の看板を背負う部分があります。たとえば、中退や問題行動などがあった場合は、高校の後輩に推薦枠が取り消しになるケースもあります。なので大学入学しても気を緩めてはいけません。大きな責任を持たないければなりません。このように簡単ではありませんし一般入試に比べれば楽に感じる部分もあるかもしれませんが、決して楽ではありません。そして指定校推薦は100%合格ではありませんので、落ちる覚悟もしないといけません。私も1回落ちました。しかしそこであきらめるのではなく、次の機会を探し挑戦するのです。そうすれば必ず成功すると思います。

城西国際大学 薬学部 医療薬学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
多賀城中出身

面接に備え志望理由と今後のビジョン、 夢への努力を明確にしておきましょう

■海外との繋がりが深い所に 魅力を感じ志望しました

私は幼い頃から薬学に興味があったので、薬学が学べる大学に進みたいと考えていました。それと共に、今後は英語の需要がとて高まると考えていたので、海外の大学との繋がりも深い城西国際大学に進学を決めました。私は指定校推薦で大学に進学しました。それに当たって自分が大学に合格するまでについて話していきたいと思います。

指定校推薦で推薦を貰うには、校内模試での点数が一番大きく関わってきます。教科は国語、英語、数学です。3年生になってからすぐに模試があります。英語や数学は教科書の内容をしっかりと理解しておけば解ける問題だと思います。それに応用で自分で難しい問題にチャレンジするのもいいと思います。数学はとにかく問題を解くのみです。勉強方法は人それぞれなので自分からはなんとも言えませんが、基礎から学ぶことはとても大事だと思います。英語は単語が基本だと自分は思っています。1年生の頃からずっと単語帳を読み続けていれば大体の文を読めると思います。それにさらに文法や構文を学習しておけば英語は日本語の感覚でスラスラ読めるようになると思います。単語帳は常に持ち歩いて隙間時間に少しずつ読むのもありだと思います。英文を読む時は最初は文節を区切って読むのがいいと思います。最初はゆっくりでいいです。頑張ってください。

■練習で完璧にしておけば 本番の面接は大丈夫です！

私は大学の入試で面接がありました。私は結構コミュニケーション能力はある方だと思っていましたが、最初の面接練習ではダメダメでした。面接練習する際に先生に大切な事が三つあると教わりました。明確な志望理由と大学入学後、卒業後頑張りたいこと、将来の夢のためにどのようなことをするかです。これを抑えておけばある程度の質問には答えられます。学校での練習の時は先生に相手になっていただき、厳しめに面接をします。私は実際の面接ではそれほど難しいことは聞かれませんが、練習で完璧にしておけば本番では落ち着いて応答出来ると思います。後輩の皆さんのためになるようなアドバイスなどはあまり出来てないかもしれませんが応援しています。頑張ってください。

城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
蛇田中出身

苦手なことから逃げずに向き合えば 結果は付いてくることを実感しました

■理転して数学を基礎から 勉強したのが大変でした

私は高校に入学した当初は外国語を活かした職業に就きたいと思っていたため、2年生に進級する際の文理選択では文系を選びました。ですが2年生の後半で自分がなりたいたものが決まり、理系科目を勉強しなくてはならなくなっていました。私は指定校推薦をいただきたかったので校内模試対策に力を入れました。元々文系の私は数学がとてつもなく苦手で何から手をつけたらいいか全く分からなく、新型コロナウイルスの影響で臨時休校になってしまい先生方に教えていただきたくてもそれが出来ない状況になってしまいました。けれども校内模試では国語よりも数学の点数が重視されるため少しでも点数がとれるように頑張らなくてはと思い、本屋さんで簡単なワークを購入し基礎からしっかり勉強しました。ですが、対策を始めるのが遅かったため自分にとって万全な状態で校内模試を受けることが出来ませんでした。けれども普段の自分よりも点数がとれていました。始めるのが遅くても、苦手なことから逃げずにしっかり向き合えば結果がついてくることを知りました。

■面接では大学の特色を交えて 話し好感触を得ました

また、大学入試の面接では自分の夢や目標、これまで経験してきたことやそこから学んだことをよく質問されました。志望動機では自分で調べた大学、学部、学科の特色を挙げながら話しました。そうしたら面接官の方から「たくさん情報を調べていただきありがとうございます」と言ってくれました。その言葉を聞き、しっかり色々なことを調べておいて良かったと安心感が湧きました。たくさんある大学の中で自分に合う学校を選ぶためには様々なことを調べ、比較することがとても大切だと思います。

作新学院大学 経営学部 スポーツマネジメント学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
広瀬中出身

毎日明確な計画を立てて取り組むことで 大きな目標も実現することができます

■計画的に物事を行うことの 大切さに気が付きました

指定校推薦で学校の審査を通るためには、校内模試で良い点数を取ることや部活動での活動実績などが重要になってくるので、そういう所を意識して学校生活を送っていました。校内模試で良い点数を取るためには、日頃の授業を集中して受けて内容を振り返ったりしていくことが大事だと思ったので、そこをしっかりと取り組んでいったのと、提出物なども期限を過ぎてから出すことが無いように気を付けて取り組んでいました。その結果、校内模試で目指していた点数を取ることができたので、何事も日頃の積み重ねが大事なんだなと感じました。

そして部活動では硬式野球部に所属し、日々練習などに取り組んでいました。その中で計画的に物事を考えて実行することの大切さに気が付くことができました。何かをやりようと思ってもすぐには出来ないことばかりですが、一日一日目的を明確にして考えて取り組んでいくことで大きな目標も実現することができたので、何事も継続して取り組んでいくことが目標に繋がると思います。

同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科英語コースに
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
浦戸中出身

3年間でどのような経験を積み重ね 成長できるかは自分次第です

■ IB ではこの先必要になる スキルが身に付きました

私は、3年間の高校生活で行った全ての活動が指定校推薦での大学受験に役立ったと思っています。そう言い切ることができるのは高校入学当初から大学進学を見据え、他の生徒との差別化ということを意識していたからです。仙台育英獅子太鼓部、茶道部、インターアクト部の3つの部活動に所属しました。獅子太鼓部で多くの公演を行ったことや、茶道部で本格的なお茶室と先生方の丁寧なご指導のもとで茶道を学んだことで、日本文化への関心が高まりました。インターアクト部では様々なボランティア活動を経験できました。

2年生からは国際バカロレアプログラム (IB) に挑戦しました。自主性が求められる授業の中で、ディスカッションやプレゼンテーションエッセイの執筆などを行ったことで、大学やその後の将来に必要なスキルをいち早く身に付けることができました。また CAS という科目も私を大きく成長させてくれました。CAS では、学内外の多くの方々に協力していただくような活動も行うことができました。自分で活動を企画し実行することは難しかったですが、多くの貴重な体験ができました。

■ 部活動で日本文化を知る 大切さに気付きました

大学受験の際は、志望理由書や面接でこれらのことをアピールしました。私は、大学では様々な国の思想や文化、社会などを学ぶとともに実践的な英語力を身に付けたいと考えたため、色々な大学を比較し悩んだ末に同志社大学グローバル・コミュニケーション学部を選びました。実践的な授業と、必須である1年間の留学を通して英語力を向上させられると考えたことがその理由です。また、高校で2度の海外研修に行き外国の方々の日本への関心に驚いたことや、部活動で日本の伝統文化を学んでいたことから、日本文化を知ることの大切さに気づき、大学でも自国についての理解を深めたいと考えたため、京都にある大学という点も大きかったです。

3年間の高校生活をどう過ごすかは自分次第ですが、様々なことに挑戦すれば、その経験は自分自身の成長につながるだけでなく、志望大学を選ぶ際の材料や、入試でのアピールポイントとなり、自分を助けてくれると思います。どうか有意義な高校生活を過ごし、それぞれの進路達成に向けて頑張ってください。

立命館大学 経営学部 国際経営学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
大沢中出身

「学びたい」と思える大学を見つけ 学びたい理由を明確にしておきましょう

■大学で経営戦略を学ぶという 目標に強い意志で挑みました

私は指定校推薦で立命館大学経営学部を受験し合格することが出来ました。この受験に当たって課されていた条件は、英語で一定以上の平均評定を取得していることでした。これを満たすために、入学後に要求される英語力を想定しながら日々の英語の授業には特に真摯に取り組みました。また、自身の強みとしてIBDPを受講していたことを大学にアピールしたかったので、受講開始から2年間は大半の時間をIBDPに費やしました。結果としてフルディプロマを取得することが出来ましたが、ここまで必死に食らいつくことができたのは、進学先で経営戦略に関して学びたいという強い意志があったからだと思います。

■受験で熱意を伝えられるよう 表現力を養いましょう

志望大学に合格することが出来た一番の要因とは、本当に自分が「学びたい」と思える大学を絞り込めており、尚且つ「なぜ学びたいか」を明確にさせた上で納得していたことではないかと推測します。私はアジアに拠点を持つ日系企業のスタッフとして働き、国境と政治的な確執を超えたモノの交流が円滑に行われる社会の形成に貢献するという目標があります。それに対して志望大学ではアジア市場に関する研究が盛んに行われており、経営学部においてもそれは同様でした。グローバル化に適応する企業のあり方に加え、それらを取り巻く環境に関して広く講義とゼミを展開していることが、私にとって最も魅力的に感じた点です。それは「何をしたいか」と「何を学べるか」が一致した大学でした。

勢いのみで志望大学を決めてしまうのではなく、客観的な自己分析と明確な将来のビジョンを構築した上で決断することが最も合格に近づく方法です。また、「なぜ『その』大学で学びたいか」この意欲を効果的に伝えられるような文章表現能力も必須になってくると思いますので、これを養いつつも大学入学後を意識した日々の勉強に勤しんで下さい。

関西大学 外国語学部 外国語学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
富沢中出身

日々の授業は予習・復習をしっかりと行い 疎かにせず真剣に臨みましょう

■習ったことはその日のうちに
定着させるよう心掛けました

私は大学で学びたいこと、行きたい大学が決まっており、その大学から指定校推薦が来ていたため、指定校推薦を受けました。私が指定校推薦で受験する上で一番大切だと思うことは、日々の勉強にしっかりと取り組むことです。何故なら、推薦は高校3年間の勉強に対して、どれだけ真面目にしっかりと取り組んできたかを評価するものだと思うからです。

私はまず授業は良く聞くべきだと思います。授業では、重要なポイントを分かりやすく教えてくれるので理解しやすいですし、テスト対策を立てるのにも大切です。また、先生によっては興味深く面白い話をしてくれるので、つまらないと決めつけず、よく聞くことで関心を持って学ぶことができると思います。

次に復習することです。私は数学が苦手だったので、その日の授業で習ったことは必ずその日のうちに解き直し、定着させるようにしていました。分からないままというのは良くないので、分からないことがあれば積極的に質問しました。こうすることで、次の授業に遅れをとることなく、また定期テスト直前で分からない問題がほとんどないので、気持ちにゆとりを持って取り組みます。できるならば予習もやって欲しいです。要するに学校の勉強は普段からしっかりとやっておくべきだということです。私が学校推薦で受験することができたのは、普段から学校の勉強をおろそかにしないで地道にやってきた結果だと思っています。部活動や受験勉強を並行させるのは大変なことだと思いますが、日々の勉強を頑張ってください。

龍谷大学 文学部 臨床心理学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
小牛田中出身

面接で強みや熱意をアピールしたことで 合格への道が拓けたのだと思います

■指定校推薦での大学合格を

入学前から目指していました

私は指定校推薦で大学に進学することを目標に仙台育英に入学しました。合格するために励んだ事は3つあります。

1つ目は高校1年生のときから勉強の予習をすることです。復習もすることも大切ですが、私は授業でやることを予習の方が重要に思います。なぜなら予習をすることでより授業を分かりやすく聞くためです。予習をして分からなかったところを授業で先生に質問することで自分で理解できるようになりました。

2つ目は勉強と部活動の両立です。私はAJクラスに所属していました。部活動は獅子太鼓部とインターアクト部を兼部していましたが勉強と部活動を文武両道に行うことができました。指定校推薦で自分が行きたい大学の枠を取るときに重要視されるのは、校内模試の結果と成績、部活の成績、自己推薦書の4つです。勉強と部活動をバランスよくこなすことが大切だと身をもって実感しました。

■小論文対策を先延ばしにして

直前にとっても焦りました

3つ目は自分の適性を理解することです。高校1年生のときから自分が本当に学びたい学問や、将来の職業に関して調べることは大切だと思います。自分の適性を知ることは内容の濃い自己推薦書を書けるようになる事にも繋がります。また、指定校推薦の受験方法のほとんどに面接があります。自分にしか話せないことを面接官に熱心に伝えたからこそ合格の道が開けたように感じました。

4つ目は小論文の練習です。1年生のときから小論文について授業がありましたが、受験はまだ先だと先延ばしにしていました。結果、受験が近くなると焦って練習するはめになってしまいました。小論文はすぐに書けるものではないので、日頃から練習したり、自分の興味のある記事を見てそれに対して意見を書いたりすることはとても大切だと思います。小論文が自分のスペースで書けるようになったら、時間を測って書く練習をすることも大切です。

私は先生方や両親、友人に支えながら受験を乗り越えることができました。大学に進学しても感謝の気持ちと受験の時の思いを忘れずに勉学に励みたいと思います。

北海道医療大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
住吉中出身

休校中はオンライン授業に熱心に 取り組み勉強を頑張っていました

■コロナ禍で受験を乗り越え
今は達成感でいっぱいです

私は、北海道医療大学薬学部薬学科に学校推薦選抜型で合格しました。

北海道医療大学薬学部薬学科は様々なスキルを学べる学校です。今回の受験はコロナの中で感染防止のため衛生管理など徹底していることで学校で友達と話す機会や教室での授業が受けられない状況でもありました。Zoomでのオンライン授業を受けて勉強を頑張ってきました。

コロナの中で受験の壁を乗り越えた達成感はもちろんですが、コロナの中でも将来に向かって勉強していきたいと思います。

奥羽大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
仙台中田中出身

世の中に貢献できる社会人になるために 大学で努力を重ね夢を実現させたいです

■病気と闘う母の姿を見て 薬学に興味を持ちました

私が薬学部を目指したきっかけは、昔からアトピー性皮膚炎で薬を扱ってきたことと、母が蕁麻疹を発症し、2、3年間治らず危険な薬を服用していたことが大きな理由でした。私が高校1年生の時は、まだ進路が決まっておらず、ただ大学へ行きたいという漠然とした理由しかありませんでした。しかし、高校1年生の後半に母が蕁麻疹を発症し苦しんでいる様子を見かねて、病気を治す薬とはどういうものなのか関心を持ち始め、それからは薬について学べる大学に進学したいと思うようになり、より一層勉強に励むようになりました。特に化学は必須科目であるものの、今までは苦手でした。そのため、苦手意識を克服するためにかなりの時間を化学の勉強にあて、学校の定期テストでは1ヶ月前から範囲を徐々に勉強して、時間を決めて効率良く勉強しました。私は、指定校推薦で合格しましたが、指定校推薦をもらうためには学校の成績が大きく関わってくるため、テストの成績はもちろん、真面目に授業を受ける、提出物の期限を守る、出席日数を確保するなど、あたりまえのことをしっかりとやるのが大事だと思います。

■皆で一つの事を成し遂げた 経験を活かしていきたいです

また、私は、ハンドボール部に所属していましたが、勉強との両立はなかなか難しかったです。ですが、部活動でしか経験できないこともあります。私は、部活動で部長を務めていましたが、最初はとても大変でした。団体スポーツのキャプテンというのは、チームをまとめ、指示を出し、自ら行動する、簡単そうでも難しいことでした。しかし、チームメイトと一つの事を成し遂げるといえるのは部活動でしか経験できないことでもあり、これからの大学生活、その先の人生でこの経験は役立つものだと私は思います。

私にとって大学とは、自分の夢の通過点だと思っています。大学に入ったら終わりではなく、その大学で今までより多くのことを学び、多くの人と交流をして自分を磨き、一社会人として世の中に貢献するために学ぶ場所だと思います。ですから、大学進学を目指す人は、夢をはっきりと持ち、その夢を叶えられるよう充実した高校生活を送ってほしいと思います。

東北学院大学 文学部 歴史学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
八乙女中出身

オープンキャンパスでの講義体験が 資料の情報よりも遥かに役立ちました

■推薦を目指すなら早くから
自己分析をしておきましょう

私は指定校推薦で東北学院大学文学部を志望し、合格しました。目指した理由は高校よりも詳しく学べること、そして司書免許を取得できるからです。大学進学は1, 2年生の頃はそこまで深く考えていませんでした。3年の時に東北学院大学で司書免許を取得できることを知り、大学に進学することを決めました。

私は勉強が得意ではなかったのですが、生活態度などを気を付けるようにしていました。推薦枠を得るために頑張ったことは、自己アピールです。自分はこの大学に入るのにふさわしい人物だと存分にアピールしました。意外と自分で自分自身のことをあまり分かっていなかったため、親や友達に聞いたりしました。自分では気付いていなかった長所や短所を知ることができましたが、もっと早く知っておけば良かったと思っています。また、志望大学のことは必ず調べました。オープンキャンパスには絶対に行った方がいいです。冊子だけの知識よりも実際に講義を受けたという経験の方が大事だと思います。

1, 2年生の時から自分はこういう事がしたい、何になりたい、そのためには何をすべきかということ考えておくといいです。3年生になってから考えはじめると後々大変になるので、少しずつ自分の進路を考えておくといいです。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
中野中出身

小論文練習では限られた時間や文字数で 的確な意見をまとめる練習に励みました

■コミュニケーションツールの 研究開発に携わりたいです

この大学を志望した理由は2つあり、1つはこの大学で情報通信技術の基礎や応用について学び、今までにない新しい形のコミュニケーションツールを開発、研究したいという理由です。2つ目は、ラインやメール、電話など、一対一でのコミュニケーションだけでなく、近年ではインスタグラムやツイッターなど、一人から多方向に発信するツールが普及してきました。それにより、私達は多くの情報を得て生活しています。このようなコミュニケーションツールが私達の生活に多くの影響を与えている中で、これらのツールはどのような仕組みで動いているのか、また、どのような影響を私達に与えているのかを調べたいと考えこの大学を志望しました。

■本番の小論文試験では 時間配分が上手くいきました

また、私がこの大学に合格するために特に力を入れたことは、小論文を書くことです。小論文は決められた字数を限られた時間の中でしっかりと目標を捉えて書かなければなりません。私はまず、勉強したいと考えている分野の様々な出来事に目を向けることから始めました。情報通信の新たなシステムである5Gや、インターネットが正常に動いている仕組みなど、様々なことを調べました。次に、とにかくひたすらに小論文を練習しました。原稿用紙に書き、添削してもらうことを繰り返し、一つの小論文完成までの時間の削減や、問題に沿った適切な文章を書くことを目的に練習しました。これらのおかげで、本番では制限時間60分のところ、20分で大筋を書き上げ、残り時間を見直しや、おかしなところがないか探す時間に当てることができ、満足のいく小論文を書くことができました。

大学でも、今回身に付けた論文の書き方をさらに磨き、読む人の共感、納得を得ることができるような文章作成をしていきたいと思います。

春から大学生活が始まりますが、高校生活で学んだことを忘れず、日々の生活を大切に過ごしていきたいと思いません。

東北学院大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
塩竈第一中出身

理系学部の小論文対策として専門分野の 知識を前もって蓄えておきましょう

■自己推薦書は長い文章を書く

練習から始めました

仙台育英に入って2年生の後半ぐらいまでは、あまり大学受験を意識していませんでした。私は英進進学コースのジャンプクラスで2年生になってからは、周りの人たちが優秀だったのと、私自身英語がとても苦手な英語のテストの点数が足をひっぱってしまっていたために、テストのクラス順位は、下位になっていました。それでも何とか東北学院大学工学部電気電子工学科の指定校推薦の条件を通ったことと、運良くライバルが少なく、定員を超えなかったこともあり、指定校推薦への切符をつかむことができました。東北学院大学の推薦の条件をクリアすることのほかにもう二つの壁がありました。それは、校内模試と自己推薦書の提出でした。校内模試は、教科担当の先生から過去問題が配られたので、それをやっていたことで、高くはありませんでしたが、なんとか大丈夫でした。もう一つの壁である、自己推薦書は自己アピールを1600字原稿用紙4枚分という長さでした。1600字を書こうとすることが初めてだったので不安でした。最初は1600字書ききることを優先しました。文章でおかしかったところを担当の先生に訂正してもらいもう一度1600字を書くことの繰り返しでした。今思えばこの自己推薦書を書くことが一番大変だったと思います。

■予め調べていた専門知識が

小論文で役に立ちました

コロナのことがあり推薦入試の面接がなくなり、小論文と書類審査が行われました。私は小論文対策として過去の入試問題を解いたり、入試問題になりそうな分野を調べ知識を蓄えておりました。書いた小論文は担当の分野の先生に添削していただきました。その結果、試験問題が予想していた範囲ではなかったものの、調べた知識をもとに本番の試験では無事に問題を解くことができました。

推薦入試の小論文の理系で悩んでいる人は、過去問題の傾向をつかみ、でそうな分野の知識をひととおり頭に入れておくことをお勧めします。そうすることで予想外の問題がでて、蓄えた知識を使って本番の入試の時間内に対応することが可能だと思います。

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
利府西中出身

大学進学を目指しているならば 勉強に励み高い評定を維持しましょう

■仙台育英では評定が良いほど 進路の可能性が広がります

3年生の夏まで進路があやふやでした。初めは会津大学へ行きたいと思っていましたが、行きたい理由もなんとなく学びたいという程度でした。そのため勉強にあまり実が入らず、受験に対する不安が募るばかりでした。そんな日々の中、指定校推薦枠の2回目の募集用紙が配られました。私は、会津大学の推薦の条件を満たし、このまま勉強を続けていけば受かるという自信もなかったため、進路を変えました。この時私は成績や評定の大切さがわかりました。みなさんにアドバイスしたいことはテストは必ず70点以上とることと、遅刻・欠席はなるべくしないことが大切です。仙台育英は推薦枠が豊富なので競争率の高い大学以外は基準を満たしていれば基本的に推薦枠に入ることができます。大学進学を考えている人は、成績や評定は絶対に高く保つべきです。

■資格をもっと取得すれば よかったと後悔しています

資格については、私は情報処理検定2級まで取得しました。しかし、もっと勉強して他の資格を取ればよかったと後悔しています。私は会津大学を公募制推薦で受ける際、資格の重要性を知りました。会津大学の推薦入試は、学力テストに加え、資格や成績が重要視されるため、マイクロソフトオフィススペシャリストマスターや情報処理検定1級の資格はとても有利になるそうです。実際にこの2つの資格を取得していた先輩は、学力テストの結果が平均点以下でも合格していたそうです。

後悔することもあるでしょうが、前を向いてがんばってください。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
多賀城第二中出身

大人になるための大切な過程なので 充実した高校生活を送りましょう

■苦手科目に多くの時間を割き 学習に励んでいました

私が大学を目指したきっかけは、大学に入って将来の夢をしっかりと決めたいからです。私はまだまだ将来の夢が決まっていなくてざっくりとですが、IT系が好きでそういう大学を探し見つけたのが東北工業大学でした。次に、推薦入試を目指した理由は、仙台育英が推薦に強いのを知っていたので推薦で行こうと思っていました。ただ、指定校推薦は3年間しっかり学業に励まないといけなかったので一生懸命頑張って枠を取ることができました。そして、指定校では定期考査の点数が重要なので2週間ぐらい前から勉強するように心がけ、テストが1週間くらいあり前日にその次の日ともう一日先の科目を勉強しておきます。得意科目は少しで、苦手な科目をたくさん勉強するという方針は大事にしていることです。

■行動には責任が伴うことを 3年間で学びました

そして、私が受験に成功した一番の要因は高校生活です。高校生活で真面目に勉学に励み充実した高校生活を送ったことが良かったのだと思います。私にとって高校生活は、大人になるための大切な過程で重要な難所だと思います。高校生活で学んだことはたくさんあります。高校では中学と違い自由度が高い分、責任が問われることがよく分かりました。これから高校生になる人や、今高校生という人は、しっかり責任を持って行動して欲しいと思います。そして、自由だからといって羽目を外し過ぎないように、自分が高校生で大人なんだという自覚を持って生活しましょう。小論文対策としては、たくさん自分なりに文章を書き先生方に添削してもらって、少しずつ完成させていくのが大事です。めげずに頑張ってください。あと、定期テスト前の勉強は、2週間前が基本で最初は数学や英語といった暗記物ではなく、時間がかかる科目からやり、1週間前に暗記物をしっかり暗記し、前日はあまり詰め込みすぎないように勉強してください。

東北工業大学 工学部 電気電子工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
高崎中出身

自分一人の力だけではなく周りの人の 協力が受験では大きな力になります

■友達や先生方、家族の協力の お陰で合格できました

私は指定校推薦の受験資格を得るために、友達や先生方に受験の対策を相談しました。私は受験の時、面接とプレゼンテーションの発表をしました。面接の対策は、先生からどんな事を聞かれることが多いかなどを教えてもらい、何度も練習しました。そうすることで受験当日、自然な気持ちで受け答えをすることができました。プレゼンテーションの対策は友達と取り組みました。プレゼンテーションでは将来、何をしたいか、何を作りたいかを考え、友達とここをこうした方がいいか、どこを直した方がいいかなどを、話し合いながら進めました。他にも先生や友達だけでなく、家族にも手伝ってもらうこともありました。

そうした様々な人達の協力を得て、指定校推薦の受験を合格することができました。受験において誰かの協力を得ることは、とても大きな力になります。これから受験する人は自分一人の力だけでなく、周りの人を頼ってみてください。

東北工業大学 ライフデザイン学部 産業デザイン学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
金ヶ瀬中出身

色々なことに挑戦したことにより 自分の可能性の幅が広がりました

■入学後から積極的に行動し 将来像を描いていきました

私は高校へ入学前に自分の目指す職業に就きたい、在るべき姿になりたいなど自分にとっての理想像というものが確立していませんでした。そこで私は学校生活を過ごす中で見つけていこうと思い、自ら積極的に行動することを選びました。そういった行動をすることによって自分にとっての可能性の幅を広げられると考えたからです。私は部活動に挑戦し、今までやってきてこなかった部長やクラス内での室長を務めたことで、自分にとっての理想像が徐々に見えていきました。そこから、これからどういうことを学びたいか、どういったことを将来に繋げていきたいか、やはり早くから先を見据えて、行動して進路を選択していくことが大事だと思います。自分に合った学部学科を調べていき、先生と相談しながら、自分の夢や目標を達成するために充実した高校生活を送ることで、後悔しない進路選択が出来ると思います。

■自分に合う勉強法を見つけ 校内模試対策に励みました

私は学校推薦型選抜の指定校推薦によって受験しました。私は早くから志望大学が決まっていたため、指定校推薦の校内模試に向けて、勉強を進めていました。事前に校内模試の過去問を解くことや先生や友達に分からないところがあればすぐに聞いて、学習していきました。もちろん自分以外の周りの人たちも校内模試に向けて、勉強しているので周りに流されずに、自分のペースで、自分に合った勉強法で学んでいくことも大切だと思います。そして、指定校推薦の枠には限りがあるので、その推薦枠を取れなかった場合の選択肢を事前に調べておいた方が良いと思います。そういった下調べをしておいた方が、次への切り替えがスムーズに進んでいきます。校内模試の点数だけで推薦枠が決まるのではなく、今までの授業態度や評定、部活動や課外活動を含めて選抜されていきます。そのため先程の積極的に行動することなどを、1年生の時から意識して生活していくことが大事だと思います。指定校推薦型で進学したいと考えている人はたくさん居ると思います。その中で勝ち取るには頑張り方次第でいくらでも可能性が変わっていくと思います。自分に満足することなく、高く志を持って、頑張ってもらいたいと思います。

東北工業大学 ライフデザイン学部 産業デザイン学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
名取第一中出身

どんな状況で受験することになっても 落ち着いて対処できる準備をしましょう

■オープンキャンパスは オンラインでも有意義でした

私が大学進学を目指そうと考えたのは高校2年生の時でした。それまでは大学に通ってまで学びたいことが見つからずに、就職したらいいかと考えていました。しかし、学校外研修などで大学に行ったり、大学進学を考えている友達に話を聞いたりしていくうちに、もしかしたら自分が行きたいと思う大学があるのかもしれないと考え、そこから大学進学を目指そうと志しました。

2年生の夏から秋にかけてオープンキャンパスに行こうと計画していましたが、新型コロナウイルスによりオープンキャンパスがオンライン開催となってしまいました。志望大学にはオープンキャンパスで一度現地に行ってみて土地や雰囲気を確かめると良いと前から先生方や家族に教えられていたので、正直自ら足を運ぶことが出来ないのは不安でした。しかし実際のオープンキャンパスはオンラインながらも研究室の様子などを映してくれ、入試において不安だった点にも丁寧に対応してくれたので、この大学で学びたいと思い、東北工業大学に進学しようと決めました。

■プレゼンは長期休暇などを 活用し制作を始めましょう

しかし、大学受験はここからが大変でした。私は指定校推薦を受験しましたが、受けるためにまず自己推薦文を書かなくてはなりません。もともと作文は得意な方でしたが、それでも完成までにかかなりの時間がかかったので、小論文や自己推薦文を書く必要があるなら前もって書き方を練習しておく余裕を持って書くことができると思います。

私が受験した東北工業大学は指定校推薦の場合、当日することは面接だけです。しかし、ただの面接だと油断してはいけません。東北工業大学では面接と一緒にプレゼンテーションをしなくてはなりません。プレゼンテーションはパソコンや紙で作成し、大学の指定する内容に沿って作ります。このプレゼンテーションについては、早い段階で指定校推薦を決めている人は長期休みなどを活用して制作すると思います。

そして指定校推薦を受ける場合、定期考査や普段の授業態度、登校日数などが大きく影響してきます。欠席などを増やさないために日々の健康に気を配り、入試や文の書き方で分からない事があれば担当の先生などに聞きに行った方が自分の為です。分からないことをそのままにすると大事なところでミスをしてしまいます。気を付けてください。

最後に、これは私の入試についての話でしたが皆さんが実際に受験する時には世の中がどう変わっているか分かりません。そのためどんな状況になっても落ち着いて対処していくことが受験において一番大事だと私は考えます。これから忙しく大変だと思いますが、頑張ってください。

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
南光台中出身

大学のオンライン説明会への参加が 推薦枠の獲得につながりました

■英検は対策講習のお陰で 無事に取得できました

私が仙台育英に入学した理由の1つは、大学の指定校推薦がたくさんあると聞いたからです。私は英検3級を取得していたため、特待生として入学しました。大学を指定校推薦で受験するためには、普段の評定や欠席日数なども重視されますし、そして3年生にある校内模試でいい順位をとらなくてはなりません。私が3年間で一番努力したことは、評定を大学で指定した基準を下回ることのないよう維持することでした。家から高校まで距離があり、また部活にも参加していたため、文武両道の両立は正直難しいものでしたがスキマ時間を活用し足りない分を補ってきました。その甲斐もあり定期考査ではいい成績を修めることができました。しかしいい評定をとるには平常点もしっかりとらなければなりません。なので私は提出物を期限までに出したり、授業中は疲れていても寝ないように心掛けました。また私は資格の取得にも積極的にチャレンジしました。2年生の冬に英検準2級に挑戦し無事に取得することができました。学校では英検準2級対策の講習があり、それに参加していたので資格をとることができたのだと実感しました。また私は夏休みや冬休みにある講習にも参加し、大学進学に向けて準備をすすめていきました。

■コロナ禍で受験を取り巻く 環境が激変し混乱しました

しかし、新型コロナウイルスの影響で何もかも全て変わってしまいました。学校が休校になり、校内模試の勉強は自主的にやる形になりました。また大学も関東圏への進学を諦め、宮城県内を考えるようになりました。さらに指定校推薦などの募集の仕方も変わり混乱していました。そんな中で迎えた校内模試で、私はミスをしてあまり良くない順位を取ってしまったため、第一希望の大学の推薦枠は厳しくなりました。さらに第二希望の大学の推薦も取ることができませんでした。ですが奇跡的に大学の推薦枠が増え、そのうちの一枠を取得することができました。興味を持った大学のオンライン説明会は積極的に参加していたのでそれが功を奏したのです。ですので、みなさんもいろんな大学の説明会を受けておくことをおすすめします。コロナ禍でいろいろ大変ですが諦めず頑張ってください。

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
大和中出身

大学卒業後に就きたい職業を明確にし そこから進路を考えていきましょう

■ IT スキルを活かして地域に 貢献するのが夢です

大学を指定校推薦で目指した理由は、将来の夢を実現するために必要な知識を学べる大学が東北工業大学しかないと思い、必ず入学したいという強い気持ちがあったからです。私は地元で経営の面で貢献したいという夢があり、3年間で身に付いた情報技術やITについての知識を活用しながら働きたいと思っていました。経営コミュニケーション学科ではPC等を利用した授業を行ったり、経営学を学べたりするだけではなく、現代社会に必要な不可欠であるコミュニケーション学も学べると知り、ぜひこの学科で学びたいと思うようになりました。私が興味を持ったのは「地域創生論」という分野で実際に地元の方々と触れ合いながら実習ができるという点です。この授業は仕事に生かせる貴重な経験になると思いました。

■ 希望の職種に直結する学問を 学べる進路を選びましょう

私が大学を決める際に最も重要であると考えたことは、その大学で身に付けた知識を仕事に生かせるかどうかという点です。大学は就職に直接身につく場なので学びの内容が大切だと思います。何となく選ぶのではなく自分が将来何の仕事をしたのか、どういう分野の職業に就きたいのかを明確にする必要があります。何をしたいのか分からないという人は自分が得意なことや趣味のあること、好きなことなどを紙に書いてみると良いと思います。可視化するのは新しい発見をするときに役立ちます。そこからインターネット等を利用し、こういった職業があるのかを調べてみてください。私も初めは自分が何をしたいのか分からなかった時期がありましたが、今振り返ってみると視野が狭くなっていたように思います。自分が思っている以上に世の中には多くの職種があります。やりたいことを見つけ、入学したい大学を早めに決めると勉強の仕方が変わってくるはずです。目標がある方がやる気も上がると思います。ぜひこの体験記を進路選択に生かしてみてください。

東北工業大学 建築学部 建築学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
ベトナム出身

やる気を持って取り組んでいたのも 勉強を辛いとは思いませんでした

■日本の高度な工業技術を 学ぶために来日しました

私は中学生のころから、毎日真面目な建築士である父の姿を見て、いつの間にか建築学に興味を持っていました。テレビやインターネットの情報から日本の工業技術が高いと知って、日本に留学することにしました。

日本に来たばかりの時は、不安なことが少なくありませんでした。日本での全く異なる教育の仕方についていけるか、友達ができるか、自分はもうすぐ3年生なので大学にどうすれば合格できるかなどのいろいろな悩みがありました。幸いなことに、先生方がいろいろと助けてくださったので、少しずつ留学生活に慣れ、大学の受験準備に集中することができました。

■人間性をアピールできる 推薦入試に挑戦しました

大学の入試方法が一つしかない母国と違って日本には、いろいろな方法がありました。その中での指定校推薦は一般入試と違って成績だけでなく、自分の人柄、人間性、価値観などをたくさんアピールできると思ったので、指定校推薦に挑戦することにしました。私は学習計画を立て三つのことに集中して取り組みました。

まずは、校内模試のための勉強です。学校で勉強する時間に加えて、毎日自分で4時間ぐらい数学と英語を勉強しました。試験が近くなってからは時間を計って友達からもらった過去問題を解きました。次に、出願に必要な志望理由書を準備しました。先生方のご指導のおかげで、何度も書き直し、やっと志望理由書ができました。この校内模試の結果と志望理由書を合わせて、指定校推薦をいただきました。

最後に、面接の練習です。面接で聞かれそうな質問の答えを事前に準備して、先生にチェックしていただき、より良い表現にするためにまた書き直しました。完成した後、試験までの期間毎日の放課後に先生と面接の練習もしました。

面接の日は何度も練習したのに、意外と緊張して、言葉がうまく出なかったです。しかし、自分の努力が報われ、第一志望の大学に合格することができました。

私にとっては、勉強することは辛くありません。なぜかという、勉強の辛さは自分がどれだけ勉強に取り組むか、どのぐらいやる気があるかによって変わりますから。自分が頑張って、最後まで全力を尽くせば、夢がかなうと思います。

東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科理学療法専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
東向陽台中出身

やりたいことが今は分からなくても 3年間でじっくり考えることが大切です

■部活動に励むうちに

将来の夢が見つかりました

私には明確な将来の夢がありませんでした。そのため、将来の夢を見つけることを目標に仙台育英に入学しました。その中で、部活動に所属したことで、徐々に自分のやりたいことが明確になっていきました。初めは分からなくても、高校生活を送るうちに自分の考えを持てるようになったと思います。そのため、受験する大学や学部学科を選ぶ上では、焦らずに自分の将来について約3年間じっくり考えることが大切だと思います。ふとした瞬間にこうなりたいと思うこともあると思いますし、元からなりたいものがある人はその夢をより明確な目標とする期間として高校生活を使えると思います。そうして、より自分に合った大学や学部学科を選ぶことができます。

■先生方に積極的に質問し

支えていただきました

私は学校推薦型（指定校推薦）で受験をしました。3年生の初め頃に自分のなりたい姿が明確になったので、学校推薦型の校内模試までの時間がさほどありませんでした。しかし、校内模試の過去問を先生からいただき、自分で解いてみたり、分からないところは担当の先生に質問するなど、短い時間でも自分なりに努力をしました。放課後に先生に時間をさいてもらい教えていただいたこともあります。私は数学も英語も苦手で、校内模試の点数もあまり取れませんでした。先生や友人の助けによりモチベーションを保つことができ、合格することができました。校内の合格発表までの間にも、もしもを考えて、別の受験方法や大学を考えておくといいと思います。校内模試で良い点をとったり部活動の成績がいいと校内での合格率はあがりますし、合格出来ますが、そこで大学進学は確定だと思わないことが必要です。また、競争率の激しい大学でも校内模試や日頃の授業の態度、テスト、部活動を努力していれば入れると思います。学校推薦型を今は考えていなくても、今から努力することで、3年生になって学校推薦型にする考えが出てきた時有利になりますし、様々な道が開けると思いますので、頑張ってください。

東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
石巻山下中出身

物事に繰り返し取り組むことが 最も大事なことだと気づきました

■過去問を解くだけでは

校内模試には対応できません

私が東北文化学園大学に決めたのは指定校推薦枠があり通学圏内、自分の学力で無理せずに夢を目指せる大学だったからです。

具体的に大学を決めたのは高校2年生の後半で、学部学科を決めたのは3年生になってすぐの頃でした。最初は看護師志望でしたが、自分の体調や向き不向きを考えた結果、作業療法士を目指すことにしました。

校内模試対策として私はとにかく過去問を沢山解きましたが、大学入試が変わることから模試の出題傾向も変わったため、結果は散々なものでした。それを踏まえて、過去問を解くことは大事だけどそれに関する過去問以外の問題を沢山解くことも大事なんだと気づきました。勉強期間としては、模試があるのが緊急事態宣言明け直後だったので学校に通っておらず模試に向けた切り替えが上手く出来ずに勉強は1ヶ月前くらいから始めました。普通だったら、学校に通い授業で過去問を解いたりコツを教えてくれるので、切り替えも上手くできると思います。

■養護の先生との面接練習が

特に収穫が大きかったです

指定校推薦入試で必ずと言っていいほど必要な面接については、面接官に聞かれた事を素直に考えて答えを返すようにしました。ノートなどに纏めてマニュアル的に答えるよりも上手に会話も成り立つので自分に合っていました。そして、不安だったので先生方との面接練習を5～6回はやりました。その中でも養護の先生方をお願いした練習は収穫が一番大きかったと思います。普段から医療系の問題と接する事の多い方とそうでない方では感じる角度が違わらしくとても参考になりました。

受験を通して学んだ事は、繰り返しこなす事は大事なんだと改めて気づきました。基本のようで一番大事なのかもしれない。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
西山中出身

大学合格を果たして長年の夢である 看護師に一步近づくことができました

■高大連携講座で看護師への 思いが一層強くなりました

私は小さい頃から将来看護師になるという夢がありました。看護師になるためには、看護師を養成するための学校に行き、専門的な知識を学ばなければいけません。そのため、私は東北文化学園大学医療福祉学部看護学科への進学を決意しました。

2年生の時に高大連携講座で東北文化学園大学に行き、看護学科の先生のお話を聞いたり模擬授業を受け、看護師になる上で大切なことや、辛いこともある一方でやりがいを感じることでできる仕事であることを教えていただき、より強く看護師になりたいと思うようになりました。

■部活動に積極的に取り組み 人との接し方が変わりました

仙台育英に入学してからは看護系の指定校推薦を目指し、勉強と部活に一生懸命取り組んでいました。勉強面では日々の授業に集中して取り組みました。授業中に覚えられることは授業で覚えることを意識していました。また、テスト期間1週間前には部活動が休みになるので、放課後学校に残り勉強したり、友達と教え合いながら勉強したりすることで集中して勉強することができていました。部活動では弓道部とインターアクト部に所属していました。弓道部では副部長として活動し、周りを見て行動することが多くなりました。悩んでいる人や困っている人には積極的に話しかけるように心掛けていました。そうすることでより良く活動することができていました。インターアクト部では、1年生の頃からボランティア活動に積極的に取り組むことで地域の人とも関わることができました。

指定校推薦を取ることができたのは3年間の努力の結果だと思っています。しかし、大学に行くことが私の最終目的ではないので看護師になるという夢を叶えるために大学では今まで以上に計画的に取り組んでいきたいです。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
宮城野中出身

後悔しないようにメリハリを付けて 勉強と部活の両立に頑張りました

■「合格して看護を学ぶ！」 という一心で頑張りました

大学を目指したきっかけは、幼い頃からの夢である看護師になりたいと思ったからです。また4年間余裕を持って専門知識のみでなく幅広い教養まで学びたいと思いました。

東北文化学園大学は私が1年生の頃から志望しており、推薦入試を受けられる条件等は確認していました。定期考査はただ暗記するのではなく、基礎から学び直したり、ひたすらノートにまとめるなどして評定を意識して勉強に励みました。

そして無事指定校推薦を頂けることとなり、仙台育英の代表としての心構えと、入試に向けて面接練習、小論文練習に力を入れました。もちろん学校の授業も怠らずに両立しました。時々逃げだしたいときもありましたが、看護師になることは小さい頃からの夢だったので、合格して看護について学べる！と考えると自然と前を向けるようになりました。

小論文対策は、主に授業や家でひたすら書いて練習しました。入試の小論文の課題がでると、本やインターネットで言葉一つ一つ調べて、自分の言葉でまとめて先生方に添削して頂くことを何度も繰り返していました。先生方のサポートで苦手であった小論文が少しずつ好きになりました。大学では自分の言葉でまとめたり、評価したり感想書いたりなどレポートが多いのでその対策にもなり、これからも怠らずに頑張ろうと思います。

■学科の学問に関する 語彙を増やしましょう

入試当日は面接のみでしたが、HR前の時間と昼休み、放課後の時間でたくさん練習したお陰で、あまり緊張せずに受けることが出来ました。

面接の練習は、必ず同じ文章で質問されるわけではなく、少し違った質問をされることを意識して受け答えできるように対策すると良いと思います。また、目指す将来や、学科で必須な言葉を一つ一つ調べると応用できて話しやすくなります。突然不意を突く質問があっても、言葉を知っているだけに楽にリラックスして話すことが出来ると思います。できるだけたくさんの先生方と練習するようにしてください。

指定校推薦や公募制推薦など、推薦入試を受けたいと考えている人は普段から勉強を頑張ること、評定に気を付けること、先輩から話を聞いてみることなどできるだけ早いうちから行動することが大事だと思います。私は部活動をやっていたので両立は大変でした。しかし、そこで怠ってしまうと後々後悔してしまうので遊ぶときは遊ぶ、勉強するときは勉強するなどメリハリをつけて過ごしました。頑張った分楽しいことは待っているのです。志望大学に進学できるよう頑張ってください。応援しています。

東北文化学園大学 経営法学部 経営法学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
東豊中出身

仙台育英は指定校推薦枠が豊富なので 本当に自分に合う進路を選べます

■授業で基礎固めをしておけば テスト対策は復習で済みます

私が東北文化学園大学の指定校推薦の受験資格を得るために努力したことは、評定を高く保つことです。私は先生方の評価の仕方は学習面に加えて生活面も評価対象になる「絶対評価」という評価の仕方であると考えました。評価基準になるのは、大きく分けて「授業態度」「定期テスト」「提出物」の3つです。この3つが良ければ評定は悪いようにならないと考えました。授業中は定期テストに向け、真面目に先生の話聞き、ノートを取りその単元の基礎知識を学ぶ事です。普段の授業では基礎知識を押さえていれば定期テストの近くになったときにその基礎の復習をするだけで赤点を取ることはないと思います。提出物は授業のノートや授業中にやったプリントなど授業を受けていれば簡単に提出できるものが多いです。

■大学について調べたのが遅く 後で大変でした

指定校推薦の受験資格を得るために努力したことはもう一つあります。それは校内模試でライバルよりもできるだけ高い点数を取ることです。定期テストは基礎知識を抑えていれば問題ないのですが、校内模試は応用が多いので、人気のある大学を志望する場合などは頑張って勉強した方がいいと思います。学校生活で「頑張るところは頑張る」というような生活を送れば受験資格を取ることが出来ると思います。また、1年生や2年生のうちから興味を持った大学について調べたり探しておいた方がいいと思います。私は3年生から興味を持った大学について調べ出したので、6月にある校内模試の前の月などはずっと大学調べでとても大変でした。仙台育英はとても知名度が高いので全国各地にも指定校推薦枠が散らばっているのでたくさんの選択肢があると思います。

大学は経済的な面も含めて親と相談しながら大学を選ぶことも重要です。本当に学びたいものがあるかどうかを探すにはとても難しいことですが、とても大切なので3年生になる前までに志望大学は決めておいた方がいいと思います。最後になりますが、私の進学に協力していただいた先生方、本当にありがとうございました。大学進学後も勉強に励みたいと思います。

東北文化学園大学 経営法学部 経営法学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
高崎中出身

高校でしかできないことが沢山あるので 3年間で多くのことに挑戦しましょう！

■大学で幅広い学問を学び 可能性を広げたいです

私が大学進学をしようと考えたのは将来の選択肢が広がるからです。なぜなら、大学の専門分野に加えて、教養科目や副専攻など様々な分野の学問を学ぶことができます。そのため、将来やりたいことが決まっている人は、それに向けて努力していき、まだ将来が決まっていない人は、大学で広く学問を学んでいく中で、やりたいことを見つけられることができます。このように、将来のことを深く考えることができるので、私は大学進学をしようと考えました。

私はこの高校3年間で資格取得に力を入れました。私はニュース時事能力検定に合格するために毎日ニュースや新聞を見たり、テキストを解いたりしたことで、2級に合格することができました。そしてこれは、大学に合格するためのアピールポイントだと思ったので、資格を取得したことは、大学合格に大きく役立ったと思いました。そしてそれ以外に、小論文の練習をしたことも、同じく大学の合格に大きく影響したと考えています。

■副室長や行事委員などを 自ら進んで務めました

私は育英祭実行委員をしました。私は来賓者とよく関わる仕事を受け持ったため、様々な年齢の人にどのように対応すべきかを学ぶことができました。そして、私は1年生の時に副室長をしました。その時、体育祭で着るクラスTシャツを決める時に、クラスの皆の意見がまとまらず、室長や他の副室長が諦めていた時に、私は諦めずにクラスの皆に意見を求めた結果、クラスTシャツを決めることができました。このように、学校行事などに関わることで、様々な事を学ぶことができました。

私は学校行事や資格取得をしたことで、様々な体験や多くのことを学ぶことができました。私はこれらのようなことがあったからこそ、大学に合格することができたと思っています。高校を卒業してからも様々な出来事があると思いますが、高校でしかできないこと、そして味わうことが出来ない事が沢山あると感じたので、私は多くのことに挑戦して来て良かったと考えています。

東北文化学園大学 経営法学部 経営法学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
岩切中出身

一日一日を大切に将来のために 今何ができるかを考えて生活しましょう

■実際に訪れて地域の問題を 解決する授業に惹かれました

東北文化学園大学を志望大学に決定したのは今年の6月でした。地域のために貢献したいと考えていた時に、経営学や法律学を学んでその知識を基に、地域に向いて問題を見つけて解決する実践的な授業に魅力を感じ、志望することを決意しました。

東北文化学園大学経営法学部経営法学科には、学校推薦型指定校推薦があることを知りました。私は1年生の時から指定校推薦で大学に行くと、決めていたわけではありませんでした。しかし、1年生から成績に気を付けていました。1点でも点数を上げるために勉強していました。そして、指定校推薦の受験資格を得ることができました。どんな受験でも成績は大事になるので授業態度、話をしっかり聞くことは1年生から3年生までしっかりやるのが一番大事なことだと思います。

■高校でできなくても大学で 何か資格を取得しましょう

私は高校で資格を取ることができませんでした。資格は大学受験の武器となるので資格はできるだけ取得した方がいいと思います。取得できなかった人は取得できなかった人なりに大学でどんな資格を取ることができるかを考えればプラスにつながると思います。私自身もどんな資格を取るか明確にすることができて、プラスにつながったと思います。

高校3年間はあっという間に終わりました。一日を大切に自分の将来のためになにができるかを考えて生活をしていくことで、将来の自分のためになると思っています。

東北文化学園大学 工学部 知能情報システム学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
多賀城中出身

目標を実現できる大学かどうかを しっかり考えた上で志望しましょう

■ PCに触れる機会を増やして 知識とスキルを磨きました

私は高校入学前から大学進学を考えていました。仙台育英に入学してからは指定校推薦を取るために、日々の勉強に励みつつ様々な活動に力を入れてきました。私が主に大事だと思うことは、評定と様々な取り組みです。まず、評定は平常点がとても大事で、授業を真面目に受け、提出物は必ず期限内に提出してきました。また、ボランティア活動にも力を入れ、入試補助員など、出来る限りの事に積極的に取り組んできました。次に、私は情報系の大学に行きたいと考えていて、パソコンスキルを磨こうと考えました。そのために、私はパソコン部に所属し、パソコンを操作する技術を身に付け、情報処理検定の取得を目指してきました。また、家庭でもパソコンを使う機会を増やし、日頃からパソコンに触れてきました。その努力が結果的に合格へと繋がったのだと思います。

■ 目標を持ち実現のために チャレンジを続けましょう

東北文化学園大学を志望した理由は、個人の弱点を補い、得意分野を伸ばすことを目的にキャリア形成科目を設置していることや、個人の興味や目標に合わせて学べる3つの専門分野があり、ここなら夢に向けて頑張れると思ったからです。また、幅広いコンピュータの基礎知識に加え、実践的な技術力を身に付け、豊かな発想力と自在な応用力を身に付けた高度情報化社会に対応できる人材を育てる、という教育理念が私に合っている思いました。このように、学びたい学問があるというだけでなく、その大学が自分に適しているのかということも考えて大学選びを行ってください。こうして大学に合格できたのは、私一人の力では不可能でした。先生や親、友人などに相談し、助けを求めることは多くありました。私は常に、周りの人に支えてもらっているということを忘れてはいけないと考えています。また、明確な目標を持ち、その目標を実現させるために、様々な事にチャレンジすることを忘れないでください。

東北文化学園大学 工学部 知能情報システム学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
五城中出身

3年間無遅刻無欠席を貫くと共に 授業やテストにも真剣に臨みました

■指定校推薦を常に意識して
高校生活を頑張りました

私は、指定校推薦で東北文化学園大学に合格しました。指定校推薦を獲得するために取得できる資格や普段の生活態度から意識していました。3年間無遅刻・無欠席を維持し、授業もしっかりと受けてきました。テストを受ける際にも、テスト対策プリントや、ワークを使っての対策をしてテストに臨みました。一番大切な校内模試でも同じように復習を繰り返し行い、苦手分野の克服に努めました。このように3年間努力し、維持し続けたことで、受験資格を得ることができたのだと思いました。

■面接では最初の5秒で
第一印象が決まります！

東北文化学園大学の試験内容は面接だけでした。15分程度の2対1の面接になります。自己紹介から始まり、志望理由や最近の出来事、気になるニュースなど大抵の面接で聞かれることが聞かれました。部活内容や本を読むなど普段の生活に関する質問に続きました。質問の返答からさらに深く聞かれたりなどもありました。私は、入室前には必ず深呼吸し服装のチェックをしました。心を落ち着かせ慌てないようにするためです。面接では開始役5秒で第一印象が決まってしまうので、挨拶ができなかったり、声が小さいとそれだけでマイナスの印象からのスタートになってしまうので、声のトーンを上げ、ハキハキと話しました。質疑応答でも相手の目を見て軽い理由をつけて答えるようにしました。事前に返答内容を考えていない質問を聞かれたとしても慌てず一拍おいて、率直に答えました。これらは基本的なことではありますが、私も練習時に注意されたことです。たくさん練習して自信をもって本番に臨んでください。

東北文化学園大学 工学部 知能情報システム学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
多賀城中出身

振り返った時に良かったと思えるような 悔いのない高校生活を送りましょう

■長所を発揮すべきだと

友人に背中を押されました

私は、東北文化学園大学工学部知能情報システム学科に指定校推薦で合格することができました。私がしっかりと進路を決めたのは高校2年生の冬です。最初は、自分自身何をしたいのか、どういった所で仕事をしたいのかまったく決まらず不安な生活を送っていました。明確に決まったきっかけは友人のおかげです。友人は私の長所を言ってくれました。「コミュニケーション力が高い所や、忍耐力がある所があるんだから、その長所を発揮できる仕事をすればいい」と言ってくれました。そして私は、情報科学コースという現代社会に必要な情報技術を深く学ぶことができ、身に付けることができる所に入学したのだから、そのことを最大に発揮できる大学に行きたいと思い、東北文化学園大学工学部知能情報システム学科を選びました。そして指定校推薦という受験方法で合格しました。

■2年次には勉強と部活動を

両立できるようになりました

私は、高校1年生から今までバスケットボール部に入部していました。最初は、私にとって勉強との両立が難しいほどの忙しさでした。放課後の部活動を終えた後、自宅に帰宅し自主勉に取り組もうとしても部活の疲れで集中が続き、すぐに手を止めてしまいます。しかし、高校2年生になってからは、部活動に慣れ、体力もついてきて勉強との両立が上手くできて充実した生活を送ることができました。そして今、部活動と勉強の両立が上手く出来ていなくて不安になっている後輩の人たちは、勉強と部活動のどちらも最後まで諦めずに取り組み、「あの時こうしていればよかった」と悔しい気持ちにならないで、「あの時こうしててよかった」と思えるような高校生活を友人と笑えて卒業できるように頑張ってください。最近ではコロナウイルスが流行しています。さまざまな行事がなくなって楽しい思い出が少ない人もいると思います。しかし、その状況を言い訳にして勉強を怠っていると、入りたい志望大学にも入れず悲しく悔しい思い出が多く残ってしまいます。そうならないように、今の状況を活かして良い思い出で最後、卒業できることを応援しています。

東北文化学園大学 工学部 建築環境学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
鳴瀬未来中出身

コミュニケーションにも繋がるので 家族との面接練習はお勧めです

■住環境などを学び今後も
地域に貢献していきたいです

○この大学を選じた理由

もうすぐ10年になる東日本大震災で、大きな被害を受けた建物や地域を見て、何か地域の役に立つことをしたいと思い、様々なボランティア活動をしていく中、高校生の時にインターネットでこの大学のことを知り、オープンキャンパスを通して、身近な住環境の問題の解決法や建築環境の基礎や応用を学びたい、と思っていた私にはピッタリだと思い選択しました。

○主な取り組み

放課後に手の空いている先生と練習しましたが他にも家でも両親とも練習して、様々な質問に対応できるようにしました。ちなみに実際に質問されたのは高校でのボランティア活動や高校生活の中で頑張った活動、その大学の進学コースやほかに大学についてなにか知っているか、最近のニュースの話題に対しての自分の考えを述べるかなど様々なことを聞かれました。補足として、親と家で練習すると家族とのふれあいの時間を作れるだけでなく、よりコミュニケーション能力を高められると思うので、あまり両親とあまり接する時間が少ない人にぜひお勧めしたいです。最後に一番大切なのは、その大学で何を面接で聞かれるのかを予想し、何回も練習することが大切だと私は思います。

東北文化学園大学 工学部 建築環境学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
東仙台中出身

授業を真剣に受けることにより 周りに大きく差を付けることができます

■出願時に焦らないように
良い評定を維持しましょう

もし指定校推薦を受けたいと思っているのであれば、1年生の頃から定期テストに向けて勉強する事、英検などの資格を取ることは力を入れた方がいいと思います。3年生になって評定が足りなくなって焦ったり、資格がなくて書くことが無くなったりする事があるので気を付けてください。定期テストは、得意な教科を伸ばす事も大事ですが、苦手な教科を中心に勉強すると平均評定が高くなると思います。

小論文は3年生の時にある小論文のテストがあるので、その採点時に書かれた直した方がいい点、学校の授業で意識するように言われたことを意識すれば、最低限点数は取れるのではないかと思います。学校の授業を真剣に受けるか受けないかで自分の周りも大きく差が出るので真剣に取り組む方がいいと思います。

面接は、人生でやった回数が少ないと思いますし、なかなか何を意識すれば良いのかわからない人が多いと思いますが、まずは態度です。面接官の方に第一印象を悪く見られることは、かなり不利になります。言葉遣い（敬語を使っているか）、座り方、質問されてからの問いを意識することが大切です。話をする際、相手の目を見て話すことも大切です。よく、恥ずかしくて目を見られない人がいますが、無理して目を見る必要は無く、相手の鼻やおでこを見るだけでも相手は目を見て話しているように見えます。なので、目を見て話すことが苦手な人は覚えておくといいかもかもしれません。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
田子中出身

書類作成にあたり先生方から頂いた アドバイスは大いに参考になりました

■小論文対策として時事問題は チェックしておきましょう

私は指定校推薦で大学を合格しました。そこで、私は指定校推薦で合格するために心掛けたことを書いていきたいと思えます。

まず最初に必要なことは、指定校推薦枠を取得することです。しかし、希望した全員が指定校推薦枠を取得することができる訳ではありません。

では、推薦枠を取得するにはどうすればいいのかというと、比較される判断基準は普段の学習評価です。例えば、授業中の態度や成績などが判断対象です。最低限、赤点は回避しておきましょう。

次に必要なことは志望大学からの課題です。推薦枠が決まるとそれぞれの志望大学から課題が与えられます。主な課題内容は小論文と志望理由書です。特に小論文について説明したいと思えます。

私が小論文を書いた時の課題内容は「新型コロナウイルスの感染拡大防止について」でした。内容はそれぞれ学校と学科などで違うと思えますが、時事関係について内容を指定されることが多いと思えます。なので、最新のニュースとテレビなどで確認しておいて損はないと思えます。

志望理由書については、なぜその大学を志望したのかという理由をしっかりと書くことが大事だと思えます。また、私は先生方に自分自身を売り込むことが大事だと教えて頂きました。

■面接練習はこなすほど慣れて 対応できるようになります

次に必要なのは面接についてです。これが最も重要だと思えます。

私は本番に臨む前に面接練習をしました。練習することで対人で慣れることができ、質問に対して対策を取れると思えます。また、毎回異なる先生と練習することで効果はより発揮されると思えます。また、先生に言われたこととして、噛んでもいいから最後まで言い切ることが大切だと教えて頂きました。

質問の内容については、御校を志望した理由や3年間頑張ったことについて、自己アピールなどを私は聞かれました。

これで私が思う指定校推薦に必要なことについて終わりです。これを見て役に立てたなら幸いです。

東北文化学園大学 現代社会学部 社会学科社会福祉学専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
多賀城第二中出身

面接は回答を沢山用意するのではなく 考え過ぎず素直に答えて成功しました

■将来の夢に必要な資格を 取得できる大学でした

私は指定校推薦をもらい大学に合格しました。私は指定校推薦をもらうために力を入れてきたことは自分の学力にあった大学を探し、少しでも学力を上げることです。正直私はあまり学力がいいとはいえませんでした。ですが私は将来やりたいことがあったので、自分の将来に必要な資格が取れる私にあった大学を探し、東北文化学園大学を見つけました。私はなるべく指定校推薦で行くのが理想だったので、指定校が取れるように少しでも学力を上げようと努力しました。特に努力したことは自分の得意な教科を上げ、今の成績を下げないこと。不得意な教科は少しずつ上げ、得意教科を優先的に上げることによって少しずつ成績を向上させていきました。

■最初は面接の返答を細部まで 予想し暗記していました

指定校推薦が決まった後面接練習に入りました。私は今まで面接をやったことがなかったので、初めての面接練習がとても不安でした。初めは頭の中に相手から返ってきた質問の答えを暗記し、相手に返そうと考えてましたが、本番で絶対失敗すると思いやめました。面接練習でそのことについて先生に聞いてみたところ、考えず本番で返すようにアドバイスがあり、私は面接であまり考えすぎずに本音で返答出来るようにしました。そして面接本番では、あまり緊張せずに面接官の先生からの質問に返すことができました。私が初めての面接で思ったことは、素直に話すことで話が途中でつまらずに話すことができるということです。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科社会福祉学専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
築館中出身

コミュニケーションや自ら行動する事の 大切さを実感した3年間でした

■お世話になった経験から 社会福祉士に憧れています

大学進学を目指したきっかけは、小学校6年生の頃に東北大学病院でお世話になった社会福祉士の方に憧れて、私も将来自身の経験をもとに誰かの力になれたらと思ったからです。私が指定校推薦をもらうために、高校3年間で心掛けたことは、欠席日数を少なくすることと、評定と定期テストの点数をしっかりとキープをすることです。私が入学した時から単位制になり、1回1回のテストの点数が評定に響きやすくなったので、テストが近い時期や、テスト期間中は、家や勉強をして、高い点数を保てるように努力しました。さらに、大学を決めるにあたり、積極的にオープンキャンパスに参加しました。なぜなら、オープンキャンパスに参加することで、学校の雰囲気や学生がどのようにして通っているのか、実際に大学でどのような勉強をしているのかなどを聞くことができたからです。

■友達を作り思い出に残る 高校生活を送りましょう

そして、仙台育英での3年間は、新しい人間関係の構築やコミュニケーションの取り方、行事に積極的に取り組み自分で行動を起こす大切さや難しさなどを肌で感じることができました。仙台育英に通うことで自分の置かれた環境が中学校までとガラッと変わり、すべて新しいことだらけで不安がとてもありました。しかし、先生方や私の周りの方々が、すごく親切に、そして親身になってくれたおかげで無事に3年間過ごすことができました。私はこれから大学で多くのことを学び、中学校の頃からの夢であった、患者さんだけでなく家族や関わった人みんなが幸せになり、私に相談してよかったと言ってもらえるような社会福祉士を目指します。

私が最後に、後輩の皆さんに伝えたいことは、自分で目標を持ち、大学や専門学校のオープンキャンパスにぜひ参加してください。そして、部活動やクラスなどでかけがえのない友達を作り、思い出深い高校3年間で過ごしてください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
宮城野中出身

推薦合格後も友人達に刺激を受けて 入試前と変わらず勉強に励みました

■薬剤師を目指す環境が
整っている点に惹かれました

私は東北医科薬科大学の薬学部薬学科に指定校推薦で合格しました。東北医科薬科大学は、薬学部と医学部の2つの学部がある大学です。特に私の進学する薬学部の薬学科は薬剤師国家資格の取得に向けたカリキュラムが充実しています。実際去年の国家試験合格率は9割を超えており、全国のほかの私立学校と比較しても、5パーセントほど高い合格率を維持しています。

私は薬剤師の資格を取得することを目標にしていたため、試験の合格率が高かった東北医科薬科大学に進学したいと考えるようになり、3年生の春頃から勉強に力を入れ始めました。仙台育英には東北医科薬科大学からの指定校推薦があったため、推薦の獲得を意識し、校内模試で好成績を残すことを目標に据え勉強をしていました。その際、積極的にオークルームを利用し、参考書や過去問に触れる機会を増やすように心掛けました。そのおかげで、模試で好成績を残すことができ、無事推薦を獲得することができました。

■合格後も一般受験を想定し
勉強を続けてきました

枠を獲得した後は、小論文と面接対策を行い始めました。特に面接の対策には力を入れ、様々な質問のパターンを想定し、何度も繰り返し練習しました。その甲斐あって、試験も無事に合格し、自分の目標で国家資格の取得のための第一歩を踏み出すことができました。

試験合格後も、以前と変わらず勉強を続けました。特に一般受験の時に必要となる科目の勉強時間を増やし、大学の過去問も積極的に解くようにしました。合格後にモチベーションが低下した時期もありましたが、そんな時周りの友人たちの姿に刺激を受けて、やる気を取り戻すことができました。

私は先生方のご指導や手厚いサポートのおかげで合格できました。そんな先生方への感謝を忘れずに努力し、自分の目標の達成に向けて、一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

東北医科薬科大学 薬学部 生命薬科学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
村田第一中出身

高校受験の経験をバネに努力を重ね 「逆転の仙台育英」を体感できました！

■自習環境を整えることから 受験勉強を始めました

私が仙台育英の生徒として過ごした3年間は波瀾万丈でした。特に、第2学年の終わり頃からコロナの影響で学校に來れなくなってしまい、学習面は危機的状況に陥りました。しかし、私はこの状況を乗り越え、志望大学に合格することができました。以下に記したものは私が大学に受かるまでの経緯です。

高校生活の始まりは劣等感に押されていました。高校受験で志望校に落ちたことが原因です。高校に進学はできましたが、初めのうちは不安でした。しかし、「逆転の仙台育英」のスローガンのもと、私は学習に取り組むことができました。私と同じ状況で入学した生徒も多く、私個人の問題ではないから他の皆に負けじと努力を重ねました。いざ勉強を始めようとしても、誘惑が多いと取り組めないことが多かったので、校内の図書室や隣町の図書館を学習スペースとして利用した結果、テストで良い成績を取ることができました。勉強に取り組む上で、周囲の環境が私にとっては重要でした。

進路を大学への進学と決めていたのは入学する前からです。自分の興味のある分野の学びを深めたいと思ったからです。生物に興味があった私は、生物分野を学べる大学を探し志望大学を見つけることができました。

■社会に出てからも高校での 経験を生かしていきます

志望大学が決まってからは、合格に向けて準備が始まりました。指定校推薦の枠を取るために高い評定を取り、講習にも参加しました。苦手な小論文は、授業やテキストへの取り組みで少しずつ練習しました。問題演習では過去問に挑戦しました。コロナで登校できなかった間、校内模試の過去問を解き、指定校の枠を取るための大きな支えとなる結果に至りました。

無事に枠を鶏、試験当日。非常に緊張しましたが、平常心を保ち、見事合格することができました。高校受験での失敗を晴らし、「逆転の仙台育英」を体感することができました。

私が大学に合格することにおいて、部活動も大きな影響をもたらしてくれました。高校生活もあっという間に終わってしまいましたが、この3年で経験したことは、進学後の社会に出た後も生かしていきたいと思っています。

宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
高砂中出身

何が苦手なのかを自覚した上で 受験対策に取り組めば自信が付きます

■中学校教諭が夢なので 大学進学を決めていました

中学生の頃から中学校の教員になりたいと思っていました。そのために大学進学をするという事を高校1年生の時に決めていました。どの大学に入るにもフレックスコースから一般入試で行くのは難しいと考えていました。そのため、1年生のときからテストの点数や授業態度に注意して評定を高く維持するように心掛けていました。そのために基礎的な事である授業はしっかり聞く、発言をする、メモを取る事をしていました。テスト期間には対策プリントを4回、5回繰り返し解いていました。自分に合った勉強法を見つけ効率的に勉強することが大事です。得意科目を3回勉強した時は苦手科目を6回解くなど時間や回数を工夫しました。日常生活を送る中で、ふとした時に習った事を思い出すようにしていました。そうする事で自分がどのくらい内容を覚えているか分かるので、あまり覚えていないと感じた時は復習するようにしています。

勉強以外にも普段から、周りを見て、周りのために行動するように心掛けていました。部活でも他の人が何をしたら楽になるのかと考えて、気を遣うようにしていました。気を遣う事で少しでも信頼してもらえるようにしました。推薦なので信頼がないといけないと思います。

■面接対策としては考えながら 話をする練習をしました

試験では面接と小論文がありました。私はどちらも苦手だったので大きな不安がありました。特に面接では自分の伝えたい事をまとめられないので要点だけを覚え、頭で考えながら話す練習をしました。毎日確認し練習しました。小論文では何について聞かれるか分からないのでニュースなどで毎日世界の事について調べるようにしました。書き方なども復習しました。

自分の苦手な事を理解し練習する事で不安などが減り自信が付くのでしっかりと考えて取り組むといいと思います。積み重ねる事を大事にして生活すると結果が付いてくると思うので、少しずつでも取り組みましょう。

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
中野中出身

高校生活で何かに打ち込んだ経験は 入試で大いに強みになります

■真摯に授業を受けテストも

入学時から頑張っていました

私は指定校推薦での大学進学を希望していたので、入学当初から指定校推薦の受験資格を得ることを意識して高校生活を送ってきました。

指定校推薦の受験資格を得るために大切な項目の一つが評定値です。指定校推薦では評定基準が設けられており、基準を満たさなければ校内選考にすら申し込むことができません。評定値を落とさないために、私は2つのことを意識して生活していました。1つ目は真摯な姿勢で日々の授業を受けること。2つ目は定期テストで毎回高成績を残すことです。この2つは基本的なことですが、評定値に直結します。私自身もこの2つのことを意識しながら生活していたのでオール5の評定をもらうことができ、自分の進路を幅広く探すことができました。

■検定別の対策講座で

資格検定対策は万全です

また、高校生活の中で私は資格取得にも力を入れてきました。仙台育英では検定別に対策講座が開かれるので、筆記はもちろんのこと、英語の面接やパソコンの実技試験なども十分に対策を行った上で試験に臨むことができます。先生方の手厚いフォローもあり、私は英検2級、情報処理検定3級、ニュース時事能力検定3級というように幅広い分野で資格を取ることができました。資格の取得は自信に繋がるだけでなく、指定校推薦の校内選考の際に提出する「自己推薦書」で自分の強みとしてアピールすることができました。

最後に、私の経験から、時間に余裕がある1、2年のうちに様々なことに挑戦するといいいと思います。そして、その活動に全力で取り組んでみてください。部活動、生徒会の活動、資格取得、ボランティア、学校行事の実行委員などどんな活動であっても「何かに打ち込んだ経験」は自分の強みになります。様々なことに挑戦して高校生活を充実させ、自分の進路を達成できるように皆さんも頑張ってください。

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
八乙女中出身

部活動は多くを学び成長できるうえに 推薦で有利なので頑張ってください

■部活動の遠征で他県を訪れ 観光業界に関心を持ちました

私は高校2年生の後半までやりたい夢がなく、どこの大学に進学するのか、そもそも大学に進学することすら決まっていませんでした。しかし、部活動でたくさん遠征に行き、色々な県を訪れたことで観光の仕事に就きたいと思うようになり、大学探しを始めました。このようにまだ自分の将来の夢が定まっていない人も多いかと思います。そこで、私が高校生活で気を付けていたことを書きたいと思います。

1つ目は、いい評定を常に保つことです。指定校推薦を受けるには、ほとんどの大学に条件があり、それを満たしていなければ受験することができません。後になってあの時もっと勉強して、評定を取っていれば良かったと後悔しないように1年生の時からテストの点数はもちろん、提出物を必ず出し、授業態度も気を付けるようにしていました。

2つ目は、勉強以外の活動にも力を入れることです。私は、剣道部に所属していました。最初の頃はいっぱいになってしまい、辞めたいと思うこともありましたが、3年間続けた今では本当に良かったと思います。勉強からは学べないことが部活動で学ぶことができ、成長できます。また、自分にとってもいい経験となり、指定校推薦を取るときにアピールポイントにもなります。勉強と部活の両立は大変かと思いますが頑張ってみてください。必ずやって良かったと思えます。

1年生からのちょっとした積み重ねが指定校推薦での大学合格という結果につながると思います。指定校推薦での大学受験を考えている後輩の皆さんは、出来るだけ早い段階からコツコツと頑張ってください！

宮城学院女子大学 教育学部 教育学科幼児教育専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
高崎中出身

受験期間中は心身の疲労を上手く発散し モチベーションを維持しましょう！

■積極的に行動し将来役に立つ 自分の強みを見つけましょう

私が指定校推薦を受けるために努力したことは、積極的に行動することです。私の場合は、放送部の活動や部長を務めたことがとても大きかったです。そのおかげで様々なことに挑戦することができ、自分の強みとなるものを育むことができました。

また、自分の強みというものは受験や就職をする上で必ず必要になるものです。それを見つけるには、自ら積極的に動く事が必要になってくると思います。このご時世で難しいこともあるかと思いますが、できる範囲内での行動で自分の強みとなるものを見つけてほしいです。

受験期はやらなければならない勉強等により、心身共に疲弊してしまうことが多いかと思います。しかし、それを上手く発散して、健康的な受験期を過ごしてほしいです。私のオススメは、勉強の合間にちょっとしたストレッチをすることです。動かしすぎても疲れてしまうので、自分に合った量ややり方でしてみると良いと思います。自分が鍛えたい部位のストレッチにすると、モチベーションも上がって良いです。

最後に、受験会場にはホッカイロを持っていくことをおすすめします。特に11月以降に試験がある方は持って行くくと安心です。手を温めて、すぐ筆記試験で書けるように準備ができます。

少しでも参考になれば幸いです。受験する人も、就職をする人も、限りある高校生活を有意義に過ごして下さい。応援しています。

宮城学院女子大学 教育学部 教育学科健康教育専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
栗駒中出身

面接練習では自分の姿を見つめ直し 自己分析をすることが大切です

■仙台育英の整った学習環境で 集中して勉強できました

私が進路を最終的に決定したのは3年生です。受験資格を得る為には、日々の努力を欠かさない事だと思います。授業や講習を大切にして学ぶ事が大事です。授業の予習、復習をし、ノートの作り方を工夫する等の対策をしてきました。学習において授業を真面目に取り組み、学習スペースを活用してきました。私はよく、オークルームで学習をしました。緊張感がある静かな場所で集中して学習をしたかったからです。また、昼休みや放課後等、短時間学習する際にはGPホールや図書室を活用しました。日々の努力の積み重ねで、自分の目標を達成し、合格する事ができました。

■読書に親しんでいたことが 小論文を書く力になりました

試験内容は小論文と面接でした。小論文は日々培った国語力が活かされます。過去問で出題傾向を掴み、自分で題を決めて解きました。現代文の問題を解くことで、対策をしました。自分で一度解いた問題集で解けなかった箇所を復習し、どこができていないのか、知る事が対策に繋がりました。普段から様々な本を読んでいた事も力になりました。また、面接練習をする際には、自己分析が必要です。自己アピールをする前にきちんと自分と向き合い、自分の姿を見つめ直しましょう。自分の性格をよく知り、それを言葉にできるようになり、書いて整理する事も一つの手段だと思います。私は面接が苦手だったので、何度も練習をしました。練習を重ねる事で直すべき点が見つかり、失敗を重ね、それを成功に繋げる事が必要だと感じました。試験日は一度きりなので、悔いの残らないように、練習は積極的にすべきだと思います。回数をこなす事が自分の自信に繋がるからです。その結果、私は自信を持ち、面接に臨むことができました。大学では、教えられた事、経験を生かし、新たな経験に繋がりたいと思っています。

宮城学院女子大学 生活科学部 食品栄養学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
岩沼西中出身

授業に集中ししっかり理解できると テスト勉強のはかどり方が全く違います

■部活動を楽しむことで

高校生活が豊かになります

私は、進学することを決めてから学校型推薦の受験資格を得るために心掛けたことは2つです。

1つ目は女子サッカー部の部活動です。メンバーに入らないと大学に提出する調査書に書けないので、メンバーに入れるように努力しました。メンバーに入ってから良い結果を出せるように、日々の練習を無駄にしないように、集中して練習に励み、良い結果を出すことができました。指定校推薦のための部活動ではなく、自分がしたいことをやるのが大切だと思います。楽しく部活動をすることで高校生活が豊かになると思います。

■苦手教科を優先して勉強し

点数が上がりました

2つ目は勉強です。私は部活動をしていたので自宅で勉強できる時間があまりなかったので、一日一日の授業を人よりも聞くことを意識していました。授業でしっかり理解できると、テスト期間に自分で勉強する時の理解度が全く違います。わからない問題がある時は、先生や友達に聞いて解決させるとより理解が深まると思います。苦手な教科を後回しにして勉強するのではなく、苦手な教科から勉強していくと、よりテストの点数が上がると思います。一日一日の授業をしっかりと受け、提出物を出し、テストで良い点数を取ると良い評定がもらえると思います。評定で指定校推薦の幅も変わってくるので頑張ってください。

私は文武両道を行って学校型推薦の枠を頂けたので、あたり前のことをあたり前にやるのが大切だと思います。通学時間に勉強したり、検定を取るなどするとより良いと思います。来年度以降受験する方は頑張ってください。応援しています。

宮城学院女子大学 生活科学部 生活文化デザイン学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
秀光中等教育学校出身

まずは定期テストでの得点増を目標に 勉強と部活動の両立を始めてみましょう

■書道部での豊富な実績が 合格の一因だと思います

私は書道部に所属しながら、高校2年次に学校推薦型での受験を目指すようになりました。その上で頑張ったことは3つあります。

1つ目は、定期テストと提出物を出すことです。1年次は部活動と勉強の両立ができていなかったためテストでは良い点数を取ることができなかったので、2年次は定期テストで目標の点数を決めて勉強しました。また、提出物は絶対に期限までに出し、できるだけ良い評定がもらえるように努力しました。1, 2年次に学校推薦型を目指していても、3年次に目指すようになったり、校内模試の順位が良くても、評定が悪いため推薦をもらえないということもあるので、どんな人でも評定はある程度取っておくべきだと思います。

2つ目は、部活動です。私は部活動で他の人と差をつけることができたのではないかと思います。部活動の成績は様々な受験に書くことができます。また、2000字の志望理由書、受験での高校の、活動報告や面接でも部活動での体験談を元にさまざまなことを書けたので、そのような部分でも部活動に力を入れて頑張ることは良いことだと思います。

■英語はスキマ時間の活用等 工夫して克服しました

3つ目は校内模試です。校内模試の勉強は主に過去問を4年分すべて解きました。また、英語があまり得意ではなかったのですが家でできる映像授業の塾に入り、部活動が終わった後やスキマ時間を使って勉強していきました。努力の甲斐もあり、模試の英語では過去問をはじめ解いたときの点数から約30点上げることができました。

私は部活動と勉強に追われる3年間でしたが、とても充実した3年間にできたと思います。今部活動をしている人は勉強との両立はとても大変だと思います。特に忙しい部活は土日も活動があつて大変だと思いますが、まずは定期テストで良い点数を取れるように勉強していき、徐々に両立していくことが大切だと思います。

仙台白百合女子大学 人間学部 人間発達学科子ども発達専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
寺岡中出身

複数の大学を掘り下げて調べたことで 理想の学びができる大学に出会えました

■幼稚園教諭を目指すことが できる大学を探しました

私は元々幼稚園教諭になりたいと思っており、大学は県内にしようとしていたので、県内で幼稚園教諭の免許を取得できる四年制大学4つぐらいに最初から絞っていました。そこで、私が今まで続けていたアルトサックスを続ける環境も整っている仙台白百合女子大学ではない大学に決め、総合型選抜入試のための勉強をしていました。

志望大学を決める前も評定をしっかりと取るために、定期テストはしっかりと取り組んでいましたが、決めた後はさらに頑張りました。

ですが、最初に志望していたその大学は残念ながら受かることができませんでした。そこで改めて、県内で幼稚園教諭の免許が取れる大学の授業内容など今までよりももっと詳しく調べました。

すると、仙台白百合女子大学は「家庭問題」のことや「発達障がい」のこと「子どもの貧困」のことなど、私がとても興味のあることをしっかりと学ぶことが出来ることを知りました。また、ピアノなどの音楽も本格的に授業で学ぶことが出来るということで仙台白百合女子大学を受験することにしました。

校内模試の時はまだ最初に受験をした大学を志望していたので、その受験には校内模試の点数は影響しなかったのですが、私は過去問を何度も解いて臨んでいたもので、あの時しっかりと勉強していて良かったなと思いました。仙台白百合女子大学の入試は、書類と面接でした。面接練習は家でも学校でもたくさんしました。また、「日本の子どもの貧困について調べて5分以内で自分の考えを述べる」という口頭試問の課題もあり、図書館で沢山本を読んだりインターネットで調べたりして知識を身に付けた上で、調べた内容やデータ、それに対する私の意見対策なども述べました。

仙台白百合女子大学 人間学部 健康栄養学科管理栄養専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
田子中出身

準備を怠らず、自信を持って！ 将来について真剣に考えてみてください

■管理栄養士という夢に 近づける大学を選びました

私が仙台白百合女子大学を志望した理由は、管理栄養士の国家資格の合格率が県内トップで就職率も高かったためです。またオープンキャンパスでの雰囲気も良くて、教授と生徒の距離も近く、学びやすい環境なのが分かりました。

校内模試に向けての勉強は高校3年になってから始めました。普段の勉強の他に、過去問などを毎日少しずつ解くようにしていました。特に英語ができなかったため重点的に解くようにしていました。また、受験では口頭質問があるため、そのための勉強もしました。口頭質問は化学か生物のどちらかを選ぶ方式だったので、私は生物を選びました。口頭質問に向けての勉強は、生物基礎の教科書を繰り返し読み、人に関わることを主に復習していきました。

■勉強や資格取得などに 今からでも頑張らしましょう

大学での受験は、面接で待機室から呼ばれて面接官2人受験生1人での面接でした。面接中はあまり緊張した雰囲気ではなく、とても話しやすい感じでした。面接は約10分程で初めに口頭質問があり、化学か生物のどちらの質問が良いか聞かれました。口頭質問はあまり難しいことは聞かれなかったため緊張せず答えられました。その他の質問は、学校での面接練習よりも掘り下げられて聞かれてびっくりしましたが、焦らず答えることができ臨機応変に対応することができました。

私は、受験を通してもっと3年間で勉強に取り組むことができたのではないかと感じました。また何事にも準備を怠らないこと、自信を持って挑戦することが大切だと思いました。私は高校3年になってもやりたいことが明確ではなかったため、もっと早くから進路について真剣に考えたりそのために何をすることが必要か調べるといいと思いました。英検や数検などを受けたり、たくさんの方に挑戦するべきだと思います。後輩の皆さんには、今からでも残りのわずかな学校生活の中で悔いが残らないように、いろんなことに挑戦してほしいと思います。

仙台白百合女子大学 人間学部 グローバル・スタディーズ学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
中野中出身

オープンキャンパスは2年次から参加し 教授に覚えていただきました

■留学生と親しくなり外国語を 学びたい意欲が高まりました

私は中学生の頃から韓国に興味があり、独学で韓国語の勉強をしたりしていました。入学した仙台育英には、韓国や中国からの留学生も多く、そういった国の同世代との関わりで、ますます海外に興味を持つようになりました。

特に仲良くなった同級生は中国人だったので、韓国だけでなく、東アジアの言語を学びたいと思うようになり、学べる大学を探してみたところ、仙台白百合女子大学のグローバル・スタディーズ学科を知りました。

オープンキャンパスには2年生の頃から積極的に参加していました。3年生の時はコロナ禍で開催が危ぶまれましたが、なんとか参加することができました。前年にも参加したことを覚えていてくださった先生もおり、とても感激した覚えがあります。学年を超えて学生の皆さんの仲が良く、先生方もとてもフレンドリーに学生の皆さんに接しているのを見て、入学したいと思いました。

■自発的に取得した韓国語の 検定がプラスになりました

高校では英語の授業を頑張りました。指定校推薦を受けたかったので、英検は準2級まで取得しました。また、自発的に韓国語能力検定やハングル能力検定にも挑戦しており、韓国語能力検定は5級、ハングル能力検定は4級を取得しています。自己アピールにも繋がり自信にもなりました。

指定校推薦では初めての面接や課題などでとても緊張しましたが、合格した時はとても嬉しかったです。入学後は、希望通りに東アジアの言語や文化を学び、その他の言語などにも挑戦してみたいと思っています。

後輩の皆さんがその後に続けるよう、これからも頑張りたいと思います。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
河南西中出身

ボランティア活動は成長できるうえに 入試でアピールできる武器になります！

■体調に普段から気を配り

3年間無欠席を達成しました

高校入学当初、私には大学進学という目標があり、仙台育英の英進進学コースに入学しました。最初は新天地の生活に不安でいっぱいでしたが、それもすぐになくなり勉強に取り組んできました。評定をなるべく落とさず、キープし続けるために考査が近づいてきたときは、ワークブックや授業の内容をまとめたノート、テスト対策プリントを活用して考査に備えました。教科によっては提出物も求められたのでそれらも期日を守ってすべて提出していました。このようにして私は評定をあまり落とすことなく3年間を過ごせることができました。

普段の生活面では体調面にも気を配りました。私は学校と自宅との距離がかなり離れていたため毎朝6時起きで通学していました。そのおかげか一切体調をくずすことなく、3年間無欠席を達成しました。欠席を多くすることも入試に響くので、遅刻、欠席をしないことを常に心がけておくといいと思います。

■様々なボランティア活動に

熱心に取り組みました

部活動では、地域のイベントにボランティアとして参加してきました。仙台七夕花火祭りの設営、青葉区民まつりの運営などを行いました。個人的にはかなり重労働でしたが、将来にも役立ちますし、何より内申書に書くことができる武器となるので積極的に参加することをおすすめします。

入試は基礎力判定審査と面接を受けました。基礎力判定審査は担任の先生に過去問をいただきしっかり取り組んで入試に備えました。面接は私も初体験の出来事で不安でしたが、当日までに担任の先生や教科の先生に協力を依頼し、本番に備えて練習を積みかさねてきました。とくに志望理由は必ずと言っていいほど質問されるのでしっかり答えられるように練習しておくことをおすすめします。試験日程は11月下旬とかなり早い時期だったので受験する際は早め早めの準備をしておくといいと思います。

以上のように私は高校3年間を有意義に過ごし、無事志望大学に合格することができました。これから受験を控えているみなさんに、私の体験記がぜひとも参考になればいいことと思います。志望大学に無事合格できるよう頑張ってください。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
塩竈第一中出身

受験において不安を取り除くには 準備をしっかりとすることが一番大切です

■尚絅学院大学の指定校推薦は 学力テストがあります

指定校推薦は学校内の審査を通らなければ受験することはできません。それには3年生の評定だけではなく、1年生からの3年間の評定が大きく関わってきます。

尚絅学院大学の受験では基礎学力テストと面接を行いました。指定校推薦で学力テストがあるのは珍しいと思います。私が受けた学類は英語が必須で国語と数学のどちらかを選び、その2科目を60分で解くという形式でした。テストと聞くと不安を感じるかもしれませんが、基礎的なことがほとんどなので3年間、授業をきちんと受けていればわかる問題です。もちろん、受験前にはテストに向けて勉強しますが、英語では単語や文法を中心にチェックして長文を読む練習をした方が良いと思います。また私は国語を選んだのですが、国語も同様に言葉の意味を理解することが重要です。60分で2科目受けなければいけないので時間配分を誤るとどちらも中途半端になってしまいます。事前に過去の問題を使い、自分がやりやすい方法で時間内に解く練習をすることが大切だと感じました。

■面接練習で色々な質問の され方に慣れておきましょう

そして、私が一番大変だったのは面接です。最初の面接練習では自分では準備してきたつもりだったのにうまく相手に伝わらなかつたり、急な質問に戸惑い、答えられなかつたりとうまくいきませんでした。そのため、毎回練習の後には答えられなかった質問をノートに書き出し、自分の意見をまとめるようにしていました。また自分が答えた回答に何故そう思ったのか、根拠を持って発言した方がいいです。例えば、社会に貢献できる人になりたいと発言した場合、具体的にどのように貢献したいのかと言葉一つ一つから考えを派生させて準備しておくことでどんな質問をされても対応できると思います。

さらに一人の先生と面接練習をするのではなく、できるだけ多くの先生に練習をお願いするのがいいです。一人の先生とだけ練習して完璧だと思っても、他の先生と練習すると意外に答えられなかつたりします。先生によって質問の仕方が変わってくるので、たくさん練習して慣れておいてください。

また、個人的には試験会場の場所や席がわからなかつたらどうしようなどの不安がありましたが、先生が話しかけてくれ、案内してもらえるので、その部分の不安は感じなくて大丈夫です。

最後に学力テストも面接においても不安を取り除くには準備をしっかりとすることが一番大切です。受験は一人で悩まず、先生方や友達にも協力してもらいながらベストを尽くせるように頑張ってください。

尚綱学院大学 心理・教育学群 子ども学類に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
桜丘中出身

面接練習で欠点と正面から向き合い 改善できたことが自信に繋がりました

■休校中の自宅学習は集中を
切らさないよう苦勞しました

私が大学進学を目指したきっかけは、将来の夢が明確に決まっていた、それに向けて資格を取りたかったからです。志望大学が決まったのは高校3年生になってからでした。指定校推薦を貰うためには、ある程度の評定が必要でした。私は1年生のときから定期テストに力を入れていたため、規定の評定を満たしていました。そのため、大学にできるだけ高い確率で入れる指定校推薦を選びました。

指定校推薦は誰でも取れるものではなく、人数枠が決まっているため取れない可能性もありました。その指定校推薦を取ることが出来るように、まず校内模試に力を入れていきました。コロナで自粛期間があったため、その期間は一日に3時間以上勉強できるように意識して取り組んできました。家にいるとだらけやすいので、集中するだけでもかなり難しかったですが頑張りました。また、志望理由書も夏休み中に書いていき、何度も先生に提出して添削していただきました。結果、指定校推薦枠をいただくことができました。

■本番の面接では練習した分
緊張せずに上手くできました

指定校推薦を受けられると決まってからも、とても苦勞しました。私が受験した尚綱学院大学の子ども学類には国語と英語のテストと面接があったため、国語と英語の勉強と同時に面接練習を行いました。面接練習では主に志望動機をはっきりと言うことと、大学に進学してからの目標を立て、具体的にどんなことを頑張るのかを明確にしていきました。実際、緊張して言葉が出てこない時もありました。色々な苦勞もあったけれど、自分自身の欠点一つ一つと向き合い、改善していくことで、本番までに自信を持つことができました。本番は面接官との会話のような雰囲気、自分自身の言いたいことをはっきりと言うことができ、全力で取り組みました。大学に進学してからも、自分自身の立てた将来の目標に向かって頑張っていきたいです。

尚絅学院大学 心理・教育学群 学校教育学類に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
高砂中出身

論文や小説を読む習慣を付けておくと 物を考える力や語彙力が上がります

■授業中は先生の話に集中し 予習・復習に力を入れました

私は、学校の教員を目指すために、大学に進学することにしました。推薦入試を合格するために心掛けて努力したことは、大きく3つあります。1つ目は3年間の生活です。私は指定校推薦の枠を取るため、評定を4.5以上で保ち、定期考査で赤点を取らないように日々の授業を真剣に取り組みました。具体的には、板書を写すだけでなく、先生が言った大切だと思ったことをノートに書いたり、時間があるときは、授業が始まる前は、今日学ぶ範囲を予習しました。その他に帰宅後には、授業で分からなかった所や疑問に思った箇所を復習し、提出課題をやるために、最低2時間は机に向かっていました。

2つ目は、大学のオープンキャンパスに参加することです。私は県内の大学で中学教員免許を取得できる所を志望していました。免許取得できる大学はたくさんありましたが、その中で気になった大学のオープンキャンパスに参加しました。仙台育英で行われる説明会もありましたが、実際に大学へ行かないと大学の雰囲気や特色が掴めなかったもので、積極的に参加しました。そのおかげで私に合った大学を他の大学と比べながら選ぶことが出来ました。

■先生方や友人の励ましで 努力することができました

3つ目は、本を読むことです。論文や小説を考えながら読むことで、考察力が上がったり、分からなかった漢字や熟語を調べるだけでも勉強になることが多いです。その他にも新聞を読んでいたら、面接で時事問題を答えるのが楽になったり、言葉の言い回しを覚えることができます。

私は、この3つの事を心掛けて努力しましたが、高校1年生からやり続けることは大変でした。ですが、友人や先生方に相談したり、励ましてもらったおかげで、3年間続けることが出来たので、高校3年間で信頼できる先生や、話が合う友人を作ることも大切なんだと感じました。

東北生活文化大学 家政学部 家政学科健康栄養学専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
将監中出身

今は目の前の勉強に集中してれば 進路を決める時に選択肢が増えます

■担任の先生の勧めで

指定校推薦に挑戦しました

私は東北生活文化大学家政学部家政学科健康栄養学専攻に合格しました。

私がこの大学への進学を目指した理由は、将来栄養士として様々な人たちを食の面でサポートしたい、という思いがあったからです。栄養学専攻は指定校推薦と総合型選抜があり、私は初め総合型選抜で受験するつもりで試験課題の対策を進めていました。でもその後、担任の先生から指定校推薦について勧められたので、11月の指定校推薦を受験し合格しました。

3年間の学生生活では、部活動は運動部のマネージャーをして、勉強と部活動の両立に励みました。勉強は授業中に理解するようにして、課題は早めに終わらせるようにしていました。そこから試験問題の範囲を何度も解いたり、単語を覚えるなどをして試験に臨んでいました。

■将来の目標が決まらず

進路決定に焦りを感じたことも

志望大学が決まったのは、3年生の9月の三者面談でした。1年生の頃は、3年生の春頃までに進路希望が決まっているだろうと思っていました。しかし、なかなか自分のやりたいことが決まらず、3年生になってからは毎日焦りを感じていました。志望大学が決まるまで、家族と何度も話し合い、自分のやりたいことができる県内のホームページを閲覧し、授業内容や取得可能な資格等から最終的に一つの大学に絞りました。

私は志望大学が決まったのも、動き出すのも遅かったですが、1年生の頃から真面目にやってきたので、指定校推薦に評定は十分でした。これを読んでもまだ進路が決まっていない方も、まずは目の前の勉強に取り組むことを、お勧めします。それが今後の選択肢を増やすことに繋がるからです。

石巻専修大学 理工学部 情報電子工学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
塩竈第一中出身

高校生活で何かに一生懸命に打ち込めば 思い出が増え必ずどこかで役に立ちます

■自己推薦書に書ける実績が
少なくとも苦労しました

この度、私は幸いにも志望の石巻専修大学に指定校推薦で合格できました。私が3年生になる直前まで専門学校への進学を考えていたのですが、学びたいことは何なのかいろいろな方に相談しているうちに大学進学を目指そうと決意したので、このことを担任に話した際とても驚かれました。私が大学進学にとっても大変だったのは自己推薦書です。これは今までの高校生活で頑張ったことや大学のために行ってきたことや志望理由などを書くものなのですが400文字が大変な自分に1600文字はとても苦労し、私は高校3年間を自分のしたいことをしてきて、大学を目指したのもその時1、2ヶ月前だったので、書く内容が一生懸命に取り組んだ部活動と資格試験しかありませんでした。高校卒業後の進路にかかわらず、高校生活で1つか2つ何かを一生懸命やってみてください。それは部活でも勉強でもなんでも良いです。思い出にもなりますし、経験になり、どこかで役に立ちます。普通のことですが大学に行くなら欠席はあまりないようにした方がいいです。もしどんなに成績が良くても出席日数で指定校をもらえないことだってあります。進路はすぐに決めないでオープンキャンパスにたくさん行ったり友人と話をすることで変わってきます。

石巻専修大学 理工学部 生物科学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
松島中出身

意思や考えをはっきりさせておけば 伝え方に関わらず相手は分かってくれます

■大学で生物を深く学び

将来は仕事にしたいです

私が大学を選ぶ際、一番に考えていたことは自分の興味のあるものを学べるかどうかです。私は幼い頃から生物に興味がありそれを仕事にしたいと考えているからです。大学進学を志望するきっかけになったのも同じ理由で大学で様々な知識を身に付け将来の幅を広げようと考え大学を選びました。それから、候補を絞り、その中から「自分の学力と合っているのか」「学びたいことは学べるのか」「入試方法は何かがあるのか」など先生方と相談をしながら慎重に考え、石巻専修大学を指定校推薦で志望することを決めました。

指定校推薦を志望するにあたり私は勉強に力を入れました。授業はもちろん休み時間なども工夫して勉強しました。特に新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が多かったので家庭での勉強に力を入れました。得意な数学などは隙がないように力を伸ばし、苦手な英語は基礎から徹底してやり苦手意識をなくすように取り組みました。

■面接は練習を重ね落ち着いて

臨めば緊張がほぐれます

私が入試の準備をする時に大切だと感じたのは自分の考えをはっきりさせておくことです。選考方法は志望理由書などの書類審査と面接でした。自分の考えがまとまっていないと志望理由書をうまく書けないし面接も全く話せません。自分の気持ちを伝えるのが苦手でも、自分の考えがはっきりしていれば自然と自分の気持ちを伝えることができます。また、面接の時に緊張しないようにするのも大切だと思います。そのためには何度も練習したり、深く呼吸することを意識するとあまり緊張せずに面接することができます。

石巻専修大学 理工学部 生物科学科海洋生物コースに
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
岩切中出身

好きな教科や興味のある事を見つけ 勉強に真剣に取り組みましょう！

■化学・生物を深く学ぶには 理想の環境だと思いました

私は高校2年生の時に初めて石巻専修大学を目指そうと思いました。理由は、高校2年生の時に化学・生物という教科に出会いそこから化学・生物に興味を持ったからです。授業中も先生の話をよく聞き、メモを取ったり、自ら進んで勉強したりするなど、どんどん化学と生物が好きになりました。そしてこれからもこの2教科を学びたいと思い見つけたのが、石巻専修大学理工学部生物科学科海洋生物コースでした。石巻専修大学は海に近いということで実際に沖に出て海の生物を間近で観察することができたり、泊まりがけの実習など、普段の授業では体験できないような事もあり、様々な環境で学ぶ事が出来るという素晴らしい点があるので私は石巻専修大学を目指すことにしました。

高校1年生の時から定期テストなどでは平均点以上をキープし続けていましたが、私は中学生の頃はあまり勉強が好きではありませんでした。定期テストなどでは平気で赤点を取ったり、平均点以下が普通のような人でした。しかもそのテストは高校という化学のような範囲でした。ですが高校生の今、自ら化学の勉強をしテストでも満点を取るなど、昔の自分とは思えないほど変化していると思います。

■自分の力で指定校推薦枠を 取れたことは誇りになります

これから大学受験という後輩や入学してくる後輩達には、勉強から逃げずに真剣に取り組んでほしいし、何か一つ好きな教科があると勉強も楽しく出来ると思うし、好きな教科が無くても自分が好きな事を学んでいけばいいと思います。

高校3年間しっかりと勉強し、自分の力で指定校推薦を取れたことは本当に嬉しく思います。指定校推薦は高校と大学側の信頼があって成り立っているということなので、大学に行ってもしっかりと今まで通り努力し、精一杯頑張りと、単位を落としたり自分の不注意により後輩に迷惑が掛からないようにしていきたいです。大学に合格できて本当に良かったです。

石巻専修大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
利府西中出身

内容の濃い高校生活を送ることができて 仙台育英に入学して心から良かったです

■面接対策としてニュース等も
確認しておきましょう

私が大学進学を目指した理由は、将来の選択肢を増やしたいと思ったからです。私は現在資格などを持っていないので、大学に進学して自分の選んだ学部、学科で専門的な知識を身に付け、自分の武器にしてから社会人として即戦力になりたいと思いました。

私は指定校推薦で大学に合格しました。志望大学の入試は面接のみでした。入試に向けて取り組んだことは、もちろん面接練習も何度も繰り返しましたが、自分の頭の中に世の中の情報を詰め込むことが大切だなと感じました。実際に面接官の先生方からは、自分が思っていなかったこと、考えていなかったことを質問されることがあったので、本番で何を聞かれても答えられるようにしておくの良いと思います。

私が仙台育英で過ごした3年間は、良い思い出の方が多いです。学校生活、部活動共に一日一日を充実した内容の濃い生活を送れました。仙台育英に入学して心から良かったなと思います。高校3年間で学んだことをこれからの人生にも活かしていきたいと思います。3年間ありがとうございました。

石巻専修大学 人間学部 人間文化学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
鳴瀬未来中出身

先生方の授業での一言は印象が強く テストでも大いに助けになりました

■仙台育英の授業は楽しくて 分かりやすかったです

私が指定校推薦の受験資格を得るために大切にしてきたことは、放課後の学習活動です。私は、3年間塾に通うことがなかったため、学校の授業で分からなかった所があったときは放課後に先生に質問をしに行ったり、友人と帰りながら相談したりしていました。このように、自分から学ぶ姿勢を意識したことで学力の向上と学習意欲の向上を果たしてきました。

また、仙台育英の先生方は教育熱心でユーモアも兼ね備えているため、授業はとても楽しく、分かりやすいといった印象でした。そのため先生が話したことが強く印象に残ることがあり、テスト等では記憶の中の先生に助けられたことも多々ありました。このような充実した学習環境が、私の学習へのモチベーションに繋がっていきました。

そして、私が意識してきたことの2つ目として、授業態度の改善が挙げられます。高校に無事入学できたことで気が緩んでしまい、1年次の1学期期末考査では散々な結果になってしまいました。その後から放課後学習に励むようになりましたが、気の緩みを改善するために普段の授業を真剣に取り組むように努めました。具体的には板書を写すことや授業中の発言、先生が話していることを箇条書きにして自分で分かるようにまとめるなどを行ってきました。

■友人との勉強会は 楽しんで長時間取り組みました

最後に、私が取り組んできたものとして、休日の過ごし方があります。休日は一日中自由に過ごすことができるので、授業で分からなかった箇所や復習しておきたい箇所を重点的に取り組むように心掛けてきました。その際に、板書や先生の発言をまとめたノートがとても役立ちました。友人とLINEを使って勉強会をしたこともあり、雑談を挟みながら行うことで、楽しく長時間の勉強ができるため、とてもオススメです。

私は公立高校の入試に落ちてしまい仙台育英に進学したため、最初は指定校推薦のような入試制度があることすら気がつきませんでした。早期の段階で自分を見つめ直し、意識を変えることが指定校推薦を確実に勝ち取る鍵となります。みなさんの成功を心から願っています。

仙台大学 体育学部 体育学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
高崎中出身

部活動で厳しい練習を仲間と乗り越え 何事にも真剣に取り組む力がつきました

■スポーツで怪我をした人を 支える立場になりたいです

私が仙台大学を目指した理由は、将来スポーツトレーナーとしてスポーツ界の選手達を支え、選手として引退するまで付き添っていく仕事をするためです。きっかけは、サッカーをしてきていろいろな光景を見てきたからです。怪我をして、苦しみに耐えながら生活している人を何人も見てきて、自分の手でそれを治していきたいという思いが芽生えたからです。

私の場合、仙台大学の指定校推薦枠に入るために努力したことは、まず、大学の評定平均値に入ることです。学校で行っている期末テストがあり、それで取った点数と平常点の30点で評定が決まる中で私は一番苦手とする国語を特に頑張りました。テストの結果と評定はまずまずであったので、基準値に入ることができました。部活や学校生活では、先生や友達とのコミュニケーションを一番大事にしてきました。部活では、選手として3年間大きな大会に出ることはなかったけど、仲間とのコミュニケーションや喜び悲しみを分かち合い、苦しい練習を乗り越えてきました。そのおかげで何事にも取り組む力が付きました。

■小論文は授業で何回も 書いて練習しました

大学受験で私は、指定校推薦で小論文と面接を受けました。特に小論文を書くことが一番難しかったです。授業では、週に1回小論文があり、大学の過去問から書いて提出し、添削してもらいました。私は、小論文がすごく苦手でした。国語力があまりない私は、文章構成があまりにも酷くて何回も書き直しました。その結果、私が一番納得のいく小論文を書き上げることができ、受験で書くことができました。そして面接は、すごく緊張したけど先生達のご指導があったおかげでここまでこれました。

私は指定校で受験しましたが、一般や総合型選抜などそれぞれ受ける人はたくさんいると思いますが、授業に対する意欲的な取り組みや期末テストの結果や評価が大学を受けるための第一歩になるので、それを大事にして下さい。そして、受験勉強は人それぞれだけど、誰にでも目標があると思うので夢に向かって頑張ってください。

仙台大学 体育学部 体育学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
秀光中等教育学校出身

勉強と部活の両立は大変ですが 身に付けたスキルは必ず将来役立ちます

■ルーティンを自分で作り 生活リズムを維持しました

私が大学進学を希望した理由は、将来の目標にアスレティックトレーナーを掲げているからです。そこで、アスレティックトレーナーになるために必要な資格や知識を得られる大学に行きたいと思い仙台大学を志望し、指定校推薦で受験しました。

私が指定校推薦校内審査や入試本番までに努力したことは3つあります。1つ目は、出席日数についてです。指定校推薦は考査の点数を取って評定を維持することはもちろん、学校も休まずに出席しなくてはいけないため、欠席や遅刻が多ければ推薦をもらえる基準値が足りず、推薦をもらうことができなくなってしまいます。そのため私はルーティンを作り生活リズムが崩れることがないように努力しました。2つ目は、授業や考査の点数を含めた平常点についてです。当たり前のことですが、授業態度が悪ければ、平常点は低くなりしっかり授業を受けて考査で良い点数を取れば4や5を取れるはずなのに3や2を取ってしまい評定が低くなってしまいます。それで校内審査をするとなった時に、1年生の時にしっかり平常点を取っておけば良かったと後悔してしまうので、1年生のうちから3年生の時のための備えが大切だと思いました。

■面接練習は色々な状況を 想定して行いました

3つ目は、面接や小論文についてです。小論文は題が全く分からない中での対策になるので、何度も違うテーマで練習し、自分の意見を論じて相手を説得させられるような書き方を身に付けられるよう努力しました。面接では、将来の目標やその大学で学びたいことや未来像を明確にし、どのような状況でもはっきり受け答えできるよう先生方や友達に手伝ってもらい、練習しました。

最後に、部活をやっている人は両立することは難しいと思いますが、そこで身に付けた力は絶対に進学先や就職先などに生かすことができると思うので、文武両道を目指してがんばってほしいと思います。

仙台大学 体育学部 健康福祉学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
岩切中出身

多くの大学を知り将来の目標に 近づける進路を見つけましょう

■高い評定を維持することで 進路の幅が広がります

私が指定校推薦で受験し、合格するために心掛けたことがいくつかありました。

1つ目は、定期テストです。指定校推薦で受験するためには、各学校から出される条件を満たさなければなりません。条件の内容は各学校でさまざまですが、評定はどの学校からも条件として出されます。評定を高く保つことで自分の受けられる学校の幅が広がります。そのために、私は普段の授業をまじめに受け、テスト前は自宅で勉強をしました。部活動と勉強の両立は大変でしたが、短い時間でも集中して勉強をして、テストでは高い点数を取ることができました。また、授業で分からないことがあれば、後回しにせず、先生や友人に聞いたりすることが大切だと思います。このように、1年生からの積み重ねは大切だと思います。

■進路を考えるのが遅く 諦めた大学もありました

2つ目は、進路について知ることです。私が進路のことを考え始めたのは2年生の後半でした。1年生の頃は、あと2年あるからといって全く進路のことを考えていませんでした。そのため、興味を持った大学があっても自分の学力が足りずあきらめてしまいました。1年生の頃から調べていれば、その大学に向けて勉強する時間があり、あきらめる必要がなかったと思います。また、進路を決めるには、将来の目標も必要です。何も考えずに専門学校や大学に進学しても、何に向かって努力してよいか分からなくなってしまい、無駄な時間を過ごすことになってしまうのではないかと思います。目標を決めることで、自分に合った進路先を見つけることができると思います。そして、多くの学校のオープンキャンパスなどに参加し、より多くの学校を知り、自分の将来の目標にあった進路先を見つけることができ、充実した時間を過ごせると思います。

仙台大学 体育学部 子ども運動教育学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
長町中出身

色々なことに積極的に参加すれば 将来に繋がるきっかけが生まれます

■特別選抜クラスに所属し

勉学に集中できました

将来の夢である保育士になるために、自分がやってきたことを生かしながら専門性を含め幅広く学びたいと思い、四年制大学への進学を目指しました。進学に当たっては日々の積み重ねが重要になると言われている学校推薦型選抜の指定校推薦に挑戦し、合格することができました。1年次から、英進進学コースの中にある特別選抜クラスに所属することで、よりよい環境で勉学に励むことができたと感じています。受験資格を得るためには普段の学力評価が大事になりますが、特に定期テストについては高得点が取れるようしっかり準備して臨みました。また、授業態度に十分気をつけていたほか、課題の提出も期限通りに対応しました。

進路や志望大学を決めることは難しいことですが、私も志望大学を決めるまでとても悩みました。特に今は新型コロナウイルスの影響でオープンキャンパスに参加することができないケースが多いので、早い段階から資料などを取り寄せてそれぞれの学校の特色を理解し、自分がやってきたことを生かせる大学を選ぶべきだと感じています。また、自分の将来設計を立てて、将来の夢の実現のために何を学ぶべきなのか、何を学びたいのかを考えると志望大学が絞りやすいと思います。

■部活動でのボランティアで

将来の夢が見つかりました

私はチアリーディング部に所属し、勉強と部活動の両立を図りました。部活動ではみんなで一つになって演技を作る協調性、人としての礼儀、コミュニケーション能力を高めることができたと感じています。部活動で得た経験は入試では面接にも役立ちましたし、今後、大学生活での学びにも生かされてくると思います。さらに、私が保育士を目指そうと思ったきっかけも部活動内で行ったボランティア活動でした。私の場合は部活動でしたが、高校生活で色々なことに積極的に参加することでたくさんの出会いに恵まれて将来に繋がったり、充実した高校生活を送ることができると感じます。高校時代は3年間しかなく、あっという間なので後悔のないように充実した高校生活を送ってください。そして自分に合った大学を見つけてください。

聖和学園短期大学 キャリア開発総合学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
高崎中出身

進路が決まらないときは家族や先生など 周囲のアドバイスを大事にしましょう

■ニュースに関心を持つことが 受験にもプラスになります

私が大学受験を通じて重要だと感じたことはいくつかありましたが、日頃からニュースをチェックしておくことは手軽に出来ることでありながら大変重要なことです。いつも学校へ行く前にテレビで見ている人も当然いるとは思いますが、これからは自分が将来目指している進路に関係している内容に注目して見てみましょう。受験ではほぼ確実に面接があり、そこでは最近の気になっているニュースや世間で注目されているニュース等について聞かれることが多いようです。1年生でまだ進路が明確に決まっていないという人もいるかもしれませんが、そういった人は焦らずにしっかりと担任の先生や親と相談して決めましょう。仙台育英では年に何度か進路相談が実施されており、自分の興味のある学校の説明を聞くことができます。こういった機会を有効活用して自分が本当にやりたいことを見つけてください。

■熱意を持って努力を続ければ 合格は夢ではありません

最後にオススメするのは小論文です。特に指定校推薦を目指す人にオススメです。小論文は大きく話題になったニュースについて自分の意見を書くことが多いです。自分の考えていることを限られた時間の中でまとめ上げることは慣れていないと意外と難しいです。直近のニュースに対してはある程度の意見をまとめておきましょう。そうしておくことによって本番での文のまとめやすさが変わってきます。とはいえ結局は本番で何が題になるか分からないので、繰り返し小論文を書く、文章を書くことに慣れていくことが一番大切だと思っています。

大学受験に不安だと思う気持ちはあると思いますが、自分がしっかりと努力をして、大学に入りたいという熱意があるならば合格することができます。ぜひ目標は高く持って頑張ってください。

仙台青葉学院短期大学 看護学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
増田中出身

3年間の平常点と定期考査の成績の維持が 進路変更などの備えになります

■ハイレベルな授業に 付いていくのが大変でした

2020年は新型コロナウイルスが世界的に流行し、日本にも大きな打撃を与えました。私はもともと一般受験で大学進学するつもりでしたが、コロナウイルスは次の年の大学入試の時期にも猛威をふるうかもしれないということを不安に感じ、高校3年生の夏に県内の大学に指定校推薦で行くことを決めました。

私は高校3年生で指定校推薦を決めたので志望する大学の推薦を取るために一年生から準備することはしてきませんでした。しかし、万が一のときに備えてある一定の大学に推薦で入学できるように3年間大切にして過ごしてきたものがあります。1つ目は平常点と定期考査です。平常点は授業態度や提出物、小テストなどで決まるので、どうでもいいと疎かにせずに1回1回真面目に取り組み、評定は4～5を取れるようにしました。私のクラスは他のクラスよりも授業のレベルが高いのでそれについていくために高校1年生の冬から休日6時間、平日3時間を目標に勉強してきました。

■一般入試でも英検の有無が 影響を及ぼす大学もあります

2つ目は資格です。近年は英語を重要視する大学も多いです。推薦をもらうのに英検○級以上という条件がある大学も増えてきていたので高校2年生の冬に初めて英検を受けました。英検は2級以上だと好ましいということだったので、最初は準2級から挑戦し、最終的に2級を取得しました。私の進学する大学にはあまり重要ではなかったけれど、一般で受けるときにも資格の有無で有利不利が決まることがあるので英検は取っておいた方が良いと思います。3つ目はボランティア活動に積極的に参加したことです。私の場合は町内の清掃、除草作業に高校1年生から高校2年生のコロナウイルスが流行する時期になるまで参加しました。大学に送る調査書には評定や校内の過ごし方の他にも、ボランティア活動やサイエンス・コ・ラボなどの校内活動について書く欄もあるので、高校1年生からそういった活動をしていた方が後々有利になってくると思います。

仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
中野中出身

面接対策は多岐に渡る質問内容を想定し 複数の先生方に指導していただきました

■公務員になるためのスキルを 大学で身に付けたいです

私は将来公務員になりたいと考えています。ビジネスキャリア学科ではさまざまな分野の科目を学ぶことができ、公務員に必要なコミュニケーション能力の向上に努めているので志望しました。私は推薦のため校内模試に向けて国語と英語の勉強を主に頑張りました。志望理由書では、なぜこの学科に入りたいのかを自分の環境や体験話を加えながら書きました。面接では質問されても困ることがないように、事前に色々な質問の内容を考えてたくさんの先生方と練習をしました！ 口頭試問では何が出されるか分からなかったのであまり対策できませんでした。四字熟語や簡単な計算問題など対策しておくといいと思います。

仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
多賀城中出身

志望大のカリキュラムと教育目標を調べ 進学後のビジョンを描きましょう

■社会に出たときに役立つ

スキルを身につけたいです

私は仙台青葉学院短期大学ビジネスキャリア学科を受験しました。高校では学ぶことができないビジネス分野を深く学ぶことができ、2年間でさまざまな資格を取得することができるので短期大学進学を目指しました。私は指定校推薦を受けるため、出席日数や部活動に力を入れてきました。出席日数は土曜授業や校外学習、家でのオンライン授業もしっかり受けることが大切です。そして私は3年間チアリーディング部に所属していました。私自身、大会やイベントで使用する曲作りに携わっていたことや大会優勝、甲子園やサッカーの応援活動の参加経験を、受験の際にアピールポイントにすることができました。その他にも、定期考査や校内模試、生活態度にも気を付けてきました。

■短期大学では高校で得た

知識がとても重要です

私が大学を決めるにあたって大切にしていたことは2つあります。1つ目はカリキュラムです。仙台青葉学院短期のビジネスキャリア学科にはビジネスマナーなどの基礎知識から数多くのビジネス論を学ぶことができます。また、6つの推奨履修モデルを選択することにより、自分に合った授業を受けることができます。2つ目は教育目標です。教育目標を知ることにより将来像が見え、2年間の目標も立てることができます。高校生活で授業は3年間、パソコンを使用することが多く、プレゼンテーションやタイピングなどのビジネス分野で必要となる基礎知識を学ぶことができました。そして部活動では地域の方々や先輩と話すこともあり、話し方や態度にも心掛けていたため受験の時に強みとなりました。大学受験だけでなく、この3年間の授業や部活動の経験も推薦入試では大切になってくるので、高校生活の中で様々な活動にチャレンジしていくと良いと思います。最後に短期大学は2年間しかないため、高校生活で身に付けた知識がとても重要となってきます。そのため、3年間で学んだ基礎知識を忘れずに、資格取得などの際に活かしていきたいです。

仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
向洋中出身

何か一つでも「頑張りました」と 胸を張って言える3年間を送りましょう

■販売業への就職を見据えて 進路を決定しました

私には、販売関係の仕事に就きたいという夢があり、接客や販売について詳しく学びたいと感じ大学への進学を決めました。また、より確実に早期の入学を決めたいと思い、指定校推薦を選びました。

指定校推薦の受験資格を得るために。欠席をしない、定期考査で点数を取る、日々の授業をしっかりと取り組む、特にこの3つを大切に生活していました。推薦を受けるにあたって資格取得が重要だと思います。私は自分の希望する学科と関係があるサービス接遇検定を学校設定科目で受講し3級に合格しました。資格を一つでも持っていれば面接の時にもアピールができるので、興味ある資格にチャレンジするのもいいことだと思います。また、高校3年間で何か一つでも頑張った、と胸を張って言えるようなことがあれば好印象に映ると思います。

■友人や先生方に恵まれた 楽しく有意義な3年間でした

たくさんの大学がある中で一つに絞るのは時間が掛かると思います。私自身、高校2年生の頃は、はっきりとした夢もなく進路に悩んでいました。しかし、自分の興味のある分野を調べたり、先生に相談したりして選ぶことができました。

高校3年間充実した生活を送ることができました。今年度はコロナウイルスで学校に登校できない時期もあり、とても残念でしたが、先生方にも恵まれた仙台育英で良かったと思える3年間でした。在校生の皆さんも楽しかったと思えるような3年間を過ごしてほしいです。これから大変だとは思いますが悔いのないように生活し、それぞれの道で頑張ってください。応援しています。

仙台青葉学院短期大学 リハビリテーション学科理学療法学専攻に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
住吉台中出身

何事も決して諦めずに取り組むことの 大切さを受験を通して学びました

■結果が出なくても諦めず

勉強を積み重ねました

私は指定校推薦をいただき、面接試験を経て仙台青葉学院短期大学リハビリテーション学科に合格することができました。

高校1年生の頃は、大学受験のことなど一切考えておらず、ただただ目の前のことにだけ集中する毎日でした。勉強をするということもテストの2週間前で、高校2年生になり少しずつ焦りを感じ、将来の夢について詳しく調べるようになりました。昔から医療に関することが好きだった私は、家族が病気になったことがきっかけで、毎日病院へ行くたびに理学療法士の方は患者の方の実際に接し、身体が回復していく姿を見て理学療法士という仕事に興味を持ち憧れを抱くようになりました。

勉強が苦手な私は、高校3年生から図書館に通いテスト勉強をしていました。暗記教科が多く何度も繰り返し問題を解き、解けるまで諦めませんでした。しかし、テストを終え結果が返され点数も見た時は自分の実力不足を感じました。諦めず勉強したと思っていても、結果に残せていない自分が嫌になりました。それでも諦めず1年間取り組み、最後のテストでは成績を少しでも上げることができました。

■面接官の先生のお陰で

緊張せず面接できました

そして私はこの3年間、書道部に所属をしパフォーマンス部長としても頑張ってきました。3年次には第29回国際高校生選抜書展団体の部で、全国準優勝することができました。学年を重ねるごとに良い結果を残すことができ私にとって大きな成長だと思います。また、指定校推薦をいただくことができたのも書道を3年間し続け、それを指導して下さった顧問の先生のおかげだと思います。諦めず取り組むということは大切だということを改めて知ることができました。

試験は面接が行われました。受験当日は、緊張しないようにと思っていてもやはり緊張しました。しかし、面接官の優しさ、面白さで一気に緊張がほぐれました。最後には安心したのか笑顔で終わることができ、これまで支えてくださった家族、私をご指導して下さった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

受験を通して、私が思ったことは部活動をしてよかったということです。また、決して受験は一人で乗り越えることができないということです。沢山の人の協力、支えたあって乗り越えることができたのだと思います。この感謝を忘れず大学生活を頑張っていきたいと思います。後輩のみなさん、進路を決めるのに大変かと思います。応援して下さっている家族や仲間、先生方への感謝の気持ちを忘れず諦めず頑張ってください。

仙台青葉学院短期大学 言語聴覚学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
中野中出身

推薦入試は合格への強い意志を持ち続け 気を抜かずに勉強することが大切です

■言語聴覚士として早く 社会に貢献したいです

私は高大連携の一環で、東北文化学園大学に行ったときに、様々な分野で活躍することができる言語聴覚士を知り、言語聴覚士になることを目指しました。3年後すぐに働くことができ、支援を必要とする多くの方々のために活躍することができる仙台青葉学院短期大学に進学することを決めました。指定校推薦で進学することを目指していたので積極的に、日々の勉強・資格の取得やボランティア活動を行ってきました。校内模試で高得点を得ることができるように苦手な教科や分野を繰り返し復習したり、長い問題を何度も解いたりすることを中心に勉強しました。定期考査の対策として、配布された対策プリントを解くだけでなく、もう一度教科書の間を解いたり、ワークを繰り返し解くことをしていました。日々の勉強では、毎日の予習・復習はもちろんですが、応用問題にも少しずつ取り組み、実力を上げることに努力しました。

■休校期間を勉強や息抜き等 工夫して活用しました

長期休暇期間には、普段あまりできないことをやっていました。例えば、模試の解き直しだったり、たくさん本を読んだり、時間を有効活用して過ごしていました。勉強だけでなく息抜きで友達と遊んだり、中学の同級生に久しぶりに会うなど、友達との時間も作るようにしていました。指定校推薦で受けたからといっても必ず合格するわけではないので、「合格する」という意志を持ち続け、気を抜かず勉強に取り組むことが大切だと思います。また、この学校に入学して勉強をするという思いを志望大学の先生方に伝えることも大切だと思います。部活動と勉強の両立を継続するのは大変だと思います。しかし、頑張ればその頑張った分が結果として表れてくると思います。なので、自分が目標としている学校に進学できるように、諦めずにやるのが大切だと思うので頑張ってください。

仙台青葉学院短期大学 観光ビジネス学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 技能開発コース卒
石巻山下中出身

やると決めたらやり通す意志の強さで 合格し夢への一步を踏み出しました

■シャトルバスを利用しバスの 運転手が目標になりました

私が仙台青葉学院短期大学観光ビジネス学科を目指した理由は、将来、観光バスの運転手になりたいと考えているため観光のことについて少しでも多く学びたいと考えたからです。そう考えたきっかけは、私は石巻に住んでいて毎日登下校はシャトルバスを利用しています。そこで毎日運転手さんが私たちを安全に送り届ける姿を見たり、乗る生徒たちを待っているときに何回も運転手さんたちとお話をしていく中で生徒たちを安全に送り届ける責任ややりがいなどの話を聞くうちに自分も将来観光バスの運転手になって、お客様を安全・安心に送り届けることをしたいと思うようになりました。その職業で必要なお客様とのコミュニケーションのための言語資格取得とグループワーク、フィールドにも積極的に取り組み、コミュニケーション能力を身に付けられると思ったからです。

私が指定校推薦を目指すために努力したことは、高校3年の時に室長をしていて、元々人のお世話をするのが好きなので、号令をかけることや、進んで環境美化に努めてきました。勉強面では好きな数学を中心にすべての教科において授業態度に気を付け、課題にもしっかり取り組みました。また、やると決めたことは最後までやり遂げる責任感を持っているので観光バスの運転手になってからでも、その性格を生かしていきたいと思います。

私にとって高校生活とは自分を変える場所であり、また、いろいろな人と出会える場所でした。

仙台赤門短期大学 看護学科に
指定校推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
利府西中出身

時間にゆとりのあるフレックスコースで 自分に合った受験対策ができました

■放課後を活用して

苦手克服に励みました

指定校推薦の受験資格を得るために、日々の授業態度やテストの点数は1年生のときから気を付けていました。授業態度は、授業中に眠くならないために一つ一つの授業に興味を持って受けていました。テストは対策プリントが出るので、それを何回も解きました。フレックスコースは、放課後の時間を使って授業を受けることができます。学校設定科目は種類がたくさんあるので、自分の興味を持った授業を受けることができます。また、フレックスコースは授業が早く終わるので、放課後の時間を有意義に使えます。私は、授業を受けたり、苦手科目の勉強をしていました。自分の空いている時間に勉強ができるので、いいと思います。少しずつ努力していくことで、テストの点数も上がるし、評価も上がるので努力することはいいことだと思います。

■受験小論文の受講により

しっかり対策できました

私が受験した大学の試験内容は、小論文と個別面接でした。小論文は学校の設定科目で受験小論文を受講しました。受験小論文では、自分の進む学科以外の題や、新聞記事を読んでから意見を書きます。いろんな場面から意見を考えることができるので、良い対策ができたなと思いました。面接は、担任の先生と何回かやってから改善点を見つけアドバイスをいただきました。そのアドバイスをもとにして、他の先生とも面接を繰り返しました。本番では少し緊張しましたが、伝えたいことは全て言えたので良かったです。

これから進学する人達は、今から自分のなりたい職業を確定していた方がいいと思います。そうすると大学を決めるのが少し楽になるのではないかなと思います。あと、大学の情報は多く調べておいた方がいいです。自分に合った大学を知るために必要になります。夢を叶えるために自分の努力を信じて頑張ってください！

2021 栄光への軌跡

2021年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



公募制推薦

岩手大学、宮城教育大学、会津大学、順天堂大学、
大東文化大学、東北学院大学、東北福祉大学、
東北医科薬科大学

岩手大学 農学部 食料生産環境学科農村地域デザイン学・食産業システム学コースに
公募制推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
三条中出身

1, 2 年次から勉強の習慣を確立すれば 周囲と差を付けることができます

■チャンスを広げるために 推薦入試に挑戦しました

私は周りの人たちの支えがあったからこそこの大学受験が達成できたと思っています。先生方には、小論文の添削や面接練習を自信が持てるまで何度も指導していただいたり、家族には進路決定に悩んでいるときに何度も相談に乗ってもらったりと周りの人たちには多くの場面で助けてもらいました。

当初、私は公募制推薦の対策と一般入試の対策を両立できる自信がなく、一般一本にしようと思っていました。しかし、そう決めてからも一つのチャンスを自ら逃してしまっていたのかとても悩み、自分が後悔しない選択をするべきだという担任の先生や家族のアドバイスも受け、推薦入試も受験することに決めました。受けると決めてからは、推薦入試と一般入試の対策がどちらも中途半端にならないよう、先生に小論文の添削をしていただいている間に一般入試の対策をしたり、一日あたりの推薦と一般への対策の時間配分を決め、対策のバランスが偏らないよう毎日スケジュールを組んで勉強していました。

■志の高い仲間と切磋琢磨し モチベーションを保ちました

また、宮城野校舎は自習室の設備が整っていて、オークルームのほかにもミーティングルームやGPホールなど自習できるスペースがたくさんあります。そのため、集中力が切れたら場所を移動して環境を変えながら勉強したり、放課後の勉強の休憩時間に友達と購買に行って息抜きをしていました。周りに志の高い仲間がたくさんいたことも勉強のモチベーション維持につながったと思っています。

特別進学コースの生徒は部活に入っていない人がほとんどなので、1, 2年生のうちから勉強の習慣を確立すれば他の学校の生徒とも大きく差を付けることができると思います。また、受験期は辛いこともたくさんあると思いますが、そのような時、先生や家族、友達存在はとても大きいです。一人でため込まず、周りの人たちの力も借りて目標に向かって頑張ってください。みなさんが志望大学に合格できることを心から願っています！

宮城教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程言語・社会系国語コースに
公募制推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
長町中出身

多くの人と触れ合って色々な考え方を知り 自分の考えをまとめていきましょう

■自分なりに授業の実践を 想像し専門書を読みました

私は1年生の頃から、宮城教育大学への進学を目標に勉強してきました。そして、達成するための通過点として定期考査に力を入れました。初めは、科目数の多さから費やす時間に隔たりができ、自分が思うような点数や順位を取ることができませんでした。そのため苦手な科目は毎日取り組んだり、朝や放課後にオークルームを利用するなどして自分の勉強方法を見つけ実践しました。3年生はコロナウイルスの影響で対面授業ができない期間がありましたが、オンライン授業で自宅でも流れを崩さず勉強を続けることができ良かったです。

公募制推薦での受験が決まってからは、教育に関する知識を習得するために学校の図書室で朝と放課後は毎日本を読みました。特に最近注目されているオンライン授業やアクティブラーニングの本を読み、自分ならどんな授業を行えるか考えるようにしました。また、インターネットには最新のニュースがたくさん載っています。通学や一般入試の勉強の合間に様々な記事を見て、それに対する自分なりの考えも一つ持つようにしました。

■高校生活は気づかぬうちに 自分を強くしてくれます

高校3年間は本当にあっという間です。全ての経験がすぐに力になるとは限りませんが、気付かないうちに自分を強くしています。私は、生徒会執行部での活動から、大勢を動かすための準備の大切さを知り、臨機応変な対応もできるようになりました。これらの体験は実際の試験でも役に立ち、教員になる上での自分の強みのアピールすることができました。

一般入試と並行しながらの推薦入試の勉強は大変でした。身の回りの人とたくさん触れ合い、色々な人の考えを知った上で自分の考えを持つことが大切だと思います。最後は根気も必要なので強い気持ちで頑張ってください。

会津大学 コンピュータ理工学部 コンピュータ理工学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
五橋中出身

仙台育英の勉強に集中できる環境や 先生方のサポートに感謝しています

■コースの強みを活かして 複数の資格を取得しました

私は、公募制推薦形式の入試で大学に合格しました。入試までの期間、特に3つの事柄に力を注いできました。

まず、1年次から意識し実践し続けた1つ目の努力は、定期テストで好成績を残すということです。私が進路を決定したタイミングは2年生の中頃でしたが、どの選択を選び、どの入試方法を使うにしても、普段の学校生活に付けられる評定が重要になるためです。

次に、できるだけ多様な資格を取得するということです。3年間で取得した資格は、コースで取得する情報処理検定や、入試の出願条件であるITパスポートに加え、自身の能力を高めるために数検、英検はともに2級まで取得しました。最後は、入試本番までのテストに向けての勉強です。試験では数学、英語に加え、小論文のテストを行うため、過去の試験問題を傾向を掴むために繰り返し解くなどの準備を重ねてきました。

これらの取り組みを続ける上で、この学校にとっても助けられてきました。放課後の勉強では、図書室など校舎内の勉強スペースを活用し、快適かつ集中して勉強に取り組むことができました。また、先生方の多くのサポートも受けることができ、英検取得に向けての勉強では個別での面接練習や、小論文の添削など、様々な方面で助けていただきました。

順天堂大学 医療看護学部 看護学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
志津川中出身

先生方は授業に臨む姿勢や努力を 大いに評価して下さいます

■担任の先生の一言で目が覚め 受験勉強に専念しました

私が学校生活で気をつけていたこと、感じたことを伝え、微力ながら後輩たちの役に立つ情報を与えることができれば幸いです。

私は高校受験で第一志望に合格できませんでした。その後仙台育英に入学しました。高校1年生の頃は合格できなかったことから何をしても無駄だと思い、全く勉強をしませんでした。中学校の頃の余力で何とか授業についていたという状況で2年生に上がる時に選抜クラスに残りたくて直前勉強し、3教科の全国偏差値60で多分ギリギリ選抜クラスにとどまることが出来たのだと思います。その後、2年生の夏の三者面談で模試成績を見ながら担任がこのままだと落ちるぞと喝を入れてくださったおかげで、軌道修正できたのだと思います。とはいっても、もう2年生の夏の終わりでしたから私は私立大学のみを志望し、教科数を3教科に絞り勉学に専念しました。生物などの暗記教科は1冊の問題集を5周はしたと思います。英語が私は特に苦手でした。そんな中、2年生の冬に英語検定2級を受けることとなり、試験前1週間放課後に学校から支給された文法書と単語帳を学習していました。短期集中型なのかそのおかげで2級に合格し、模試でも読むことの出来る単語が増え、必然的に成績が上がりました。

■推薦合格を目指すならば 出席日数に気をつけましょう

公募制推薦を受験したのは単純に合格のチャンスを増やしたかったからです。私は先程書いた通り高校2年生までは勉強を怠けてしていましたが、学校へは体調不良の5日以外登校していました。推薦には出席日数が受験条件の大学が多いので気をつけてください。また、仙台育英は授業を真面目に受け、提出物をきちんと出していれば、評定もそれほど悪くつけられることは少ないので、今自分が出来ることをしっかり行ってください。

大東文化大学 スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
利府中出身

早くから進路を考え準備もしっかり行い 夢への一步を踏み出すことができました

■プロバスケットボール選手を 目指し経験を積んでいきます

私は、将来 B.League で活躍したいとっていて、そのためには大学で経験を積む必要があるので大学進学をしました。また、プロ選手のための身体についてなどの勉強ができる環境もあるからです。大学合格に向けて心掛けてきたことは、小論文や面接の練習、3年生になる前から大学のパンフレットを取り寄せて調べていました。特に小論文の練習はしっかりやってきたので入試本番も上手く書くことができました。面接でも事前にどんな質問が言われても対応できるように準備してきたのでしっかりできました。

■バスケットボール部の躍進に 貢献できたと感じています

部活動では、入学してくる前に監督の山田先生に、一緒にベスト4を目指そうと言われ入学してきました。そして、だんだん成績も上がってきました。すぐにはベスト4という目標を達成することはできませんでしたが、仙台育英のバスケ部が県内でも認められはじめてきました。最後の大会では全国大会に行った高校に接戦の末負けてしまい、目標のベスト4は達成できませんでしたが、仙台育英のバスケ部が県内で有名になったので後悔はありません。

勉強面では、常に評定をすべてベスト5でキープし続け、定期考査でも8割以上を継続していたので、大学への進学もすることができました。

仙台育英での3年間はとても充実した高校生活になりました。

東北学院大学 文学部 英文学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
塩竈第一中出身

自分に足りないものや苦手なものを 克服することが自信につながります

■入学前は消極的でしたが 3年間で成長できました

私は3年間、勉強と部活動の文武両道に力を入れてきました。

勉強では、分からないところは授業終了後に聞くなどしていました。そうすることで、定期考査の際には、授業で学習した内容をしっかり覚えてその成果を十分に発揮できました。2年次には、留学へ行き将来の夢への視野を広げることが出来ました。この留学があったことで、将来は英語を使う仕事に就きたいと強く思いました。それだけでなく、大学へ進学し、異文化コミュニケーション学を学び、英語という幅広い分野を深く追求したいと考えるようになりました。

部活動では、チアリーディング部に所属し、初めて継続することの大切さを感じることができました。シーズンオフがないため、年中体を動かしているスポーツで、怪我が続いたりなどもしましたが、「誰かのために活躍したい」という気持ちが強く、チアリーディングをしている自分が一番自分らしいと思えます。この文武両道が、大学進学達成のきっかけとなりました。3年生の2学期までの成績は全て5を取り出願条件を満たすことができ、さらに、大学でもチアリーディングを続け、文化活動で活躍するための公募制推薦で受験することができました。これは、私が3年間一生懸命様々な事に取り組み、結果を出してこれたからだなと思います。今まで自分に自信が無く、成し遂げることや挑戦することが苦手でしたが、この3年間で大きく変わることが出来ました。

■大学は高校で伸ばした実力を 発揮する場所だと思います

さらに、活字で自分の意見を書くことが得意ではなかったのですが、小論文の練習を重ねるうちに物事を多くの側面から見るができるようになり、自分の意見を書くことに自信が持てるようになりました。このことから、3年間努力することももちろん基本ですが、自分自身に足りないものや苦手なものを克服することも受験に対する自信につながると実感しました。

最後に、私にとって高校とは自分の実力を最大限に伸ばせる場所です。そこで得た実力を生かす場所が大学だと思います。自分に合った環境で、自分の実力を照らし合わせて物事を深く追求することは今の学生には必要だと思います。だからこそ高校生活では、しっかり自分の将来についてよく考えることは大切であり、ある意味義務のようなものだと思います。

3年間、あっという間でしたが実力で合格することが出来た結果に誇りを持ち、大学ではさらに成長できるように知識を増やし様々なことを経験していきたいです。

東北学院大学 文学部 歴史学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
将監中出身

仙台育英では何事も真面目に取り組めば それだけ進路の幅が広がります

■広い視野で物事を考える力が 小論文講座で養われました

私は高校に入学するにあたって、高校3年間高い評定を継続し、大学に進学したいと考えていました。そのため、定期テストで高い点数を取ることと授業をしっかり受けることを意識して生活していました。

私はスポーツでの公募制推薦で合格したのですが、初めは指定校推薦で進学したいと考えていたので、校内模試の勉強をしていました。過去問を多く解いて、少しでも高い点数を目指しました。校内模試が終わり、枠が取れるか不安だったとき、部活の監督からスポーツの枠があるという話を頂き、大学でもサッカーがしたかったので、指定校ではなくスポーツでいこうと決めました。

スポーツでの推薦であろうと、面接や小論文はあるので、浮かれることなく、真面目に生活していました。もともと大学に進学したいと考えていたので、高校1年生の頃から学校設定科目で小論文講座を受けて3年間継続しました。小論文の言葉遣いや、様々な視点から物事を考える能力がついたと感じています。大学に進学したいと考えている人は小論文講座を受けた方がいいと思います。

■授業では先生の話に集中し きちんと理解しましょう

高校3年間で一番大事なことは真面目に生活することだと思います。仙台育英は他の高校と比べて進路を幅広く選べる環境があります。そのため、学習面でも部活動でも真面目に3年間やり続けることが自分の可能性を広げてくれます。真面目に生活すると周りからの信頼も増え自分に自信も付くと思います。その中でも私は、授業を正しい態度で受けることが大事だと感じました。当たり前のことですが、今先生は何を生徒に伝えたいかちゃんと理解する必要があります。人の話をちゃんと聞き理解して行動することができないと、大事なときにミスをしたり周りとの差が開いたりしてしまいます。しっかりと先生の話聞いて理解することで、高校生らしく少しは自立できると思います。

後輩の皆さんには、真面目に生活することが進路への一番の近道だということを理解して欲しいなと思います。

東北学院大学 経済学部 経済学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
高崎中出身

準備万端だと思っても油断することなく 面接練習等をしっかり行いましょう

■ 休校中に自分自身と向き合い 進路を真剣に考えました

大学進学は、元々決めていたものの、簡単にしか調べていませんでした。まだ時間があるから何とかなるだろうという気持ちで、部活や勉強などの日々を過ごしていましたが、昨年新型コロナウイルスによって自宅での自粛期間となり、進路に真剣に向き合う時間を多く取りました。そのため、自粛期間で自由な時間が増えることで、受験に向けて良い準備をすることができました。そういう自分に費やす時間がなかったら、ドタバタしていたり、東北学院大学に行くこともできなかったと思います。進路を決めるにあたり、期日もあるので早め早めの行動をするべきだなと感じました。

しかし、準備が完璧な状態で行ったから必ずしも成功するとは限りません。私は、受験にあたり万全な状態で行ったのですが緊張してしまい、今までできていたことができないで終わってしまいました。そのため、いくら完璧な状態でも油断せずに、いろいろな先生と面接練習であったり、社会経験を積んだ上で試験に臨むなどやることはたくさんあるので、やらないよりやった方がプラスになると思いました。

早め早めの行動であったり、いろいろな事に挑戦することで社会経験が積めるよう普段から心掛けてください。

東北学院大学 教養学部 人間科学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
矢本第二中出身

文武両道など何か極めたい目標を掲げ 妥協せずに努力を重ねましょう

■部活動のコーチの話を聞き 心理学に興味を持ちました

私がなぜ東北学院大学を選んだかということ、私が将来働きたいと考えている心理カウンセラーになるための基礎的な知識が学べ、中学2年生から続けてきたライフル射撃競技を続けることができると考えたからです。

私は3年生の夏までは、将来の目標がCGデザイナーになることでした。そのため、志望していた大学も違ったのですが、部活動のコーチから様々な大学の話を聞き、そこで東北学院大学について調べ、自分が興味を持てる学科を探しました。そこで人間科学科を見つけ、その学科について調べていくうちに、社会の変化に応じて人の心に寄り添える心理カウンセラーに憧れを抱くようになり、私はこの大学を受けようと決心しました。

私は3年間ライフル射撃部で活動し成績を残してきたため、3年間の努力を生かせる推薦入試で受験しました。試験内容は小論文と面接だったので、何度も過去問を解いて添削してもらったり、面接練習を繰り返したり、受験本番に向けてコツコツと練習を積み重ねました。その練習の成果もあり、当日は自信を持って試験を受けることができました。

■自分から積極的に行動し 視野を広げましょう

大学受験をするうえで大切なことは、1年生の時から進路や目標を定めることと、部活動に参加したり、勉強に取り組んだり、自分から積極的に行動することだと思います。私自身、1、2年生の時から進路について考えることもあったのですが、もっと視野を広く持ち、自分がやりたいことがどれだけできるか、自分が続けられそうな大学を探することで、有意義な学校生活が送れるのではないかと思います。そして何よりもそこは本当に自分が学びたいことが学べるのか、印象と違ったということがないように、時間がある1、2年生のうちからオープンキャンパスに参加すると実際の授業風景や質問など直接見聞きでき、大学の雰囲気を感じられると思います。

また、高校生活3年間で、部活動や実習を通して様々な人と交流を持っておくことで進路選択の幅が広がると思います。私もこの部活動に所属していなかったらコーチを通して大学の魅力に気付くこともありませんでした。

部活動や勉強で手を抜かず、文武両道、何か一つを極めるといった目標を立て、何事においても妥協しないことが大事です。3年間積み重ねてきた努力の結果が実を結ぶので、後悔しない高校生活にしましょう。

東北学院大学 教養学部 情報科学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
将監中出身

発想の転換や計画性など部活動で 今後に繋がることを学びました

■怪我から復帰し部活動の 楽しさを実感しました

私は仙台育英にスポーツするために入学しました。スポーツを続けると誰もが壁にぶつかる時があります。私にとっては2年の新人戦で鎖骨を骨折したことです。私の日常が大きく変化し、出来ることが殆どなくなる非日常を2ヶ月間過ごすことになりました。タイミングの悪さに周りから気を遣われ、私の居場所を埋められるのを痛いほど感じました。このようになってしまえば、辞めたくないと勝手にイメージしていたのですが、それ以上に解放された気分になったのを覚えています。周りに作られた自分ではなく、私自身でいることができ、部活動内が自由になりました。運動が出来ない間は顧問の先生の話聞いて、今までのことを考える時間。出来るようになれば考えたことを自分のペースで進められました。3年になり、周りの皆は焦っていたのかもしれないが、私は全く焦りを感じず、何より部活が楽しいと思いました。楽しいことが練習の質を上げる要因にもなりました。遅れた分も取り返すことができ、以前と変わらず大会に参加することが出来ました。

■高校でやってきたことは 正しかったと信じています

部活動で学んだことは強くなるだけでなく日常生活でも生かれます。自分の前に立ちはだかる壁に対する発想の転換であったり、自主的に計画を立てることで対処出来るのだと思います。私が成功したかどうかは別として、一つの手順として、何事にもモチベーションとなるような物があると良いのだと思っています。大学に進学し、練習をする際にも高校でやってきたことが正しいと私は信じているので迷わないと思います。今後も生かせる自主性を学んだ部活動で有意義な高校生活を過ごせたと考えています。

東北学院大学 経営学部 経営学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
八軒中出身

様々な事を乗り越えたことが自信になり 受験でも堂々と実力を発揮できました

■受験直前まで部活動があり 隙間時間で対策に励みました

私の将来の夢は JR 東日本で働くことです。JR 東日本で働くための力を養うために必要な経営学を始め、地域と連携した講義が展開されている東北学院大学の特徴的な学びに興味を持ちました。また、東北学院大学では部活動も盛んで、私が所属している陸上競技部の先輩も東北学院大学で活躍しており、私が高校で達成できなかった全国大会出場という目標を大学でも継続して目指せると考え、スポーツでの推薦で受験しました。受験内容は小論文と面接で総合型選抜や指定校推薦と同じ内容でした。私は受験の1か月前まで部活動に参加していたので他の人と比べると対策を始めた時期が遅く、放課後の他に休み時間など、さまざまな時間を受験対策にあてました。具体的には小論文は、東北学院大学の小論文の過去問を5年分を集めました。過去問を繰り返し解き、国語の先生に添削をお願いして見直しを繰り返しました。様々な問題を解くことで、どんな問題でも対応できる力が身に付きました。面接の対策では担当の先生だけでなく、部活動の先生などたくさんの方に練習していただきました。私は考えながら話すのが苦手なので、あらかじめ質問される内容を予想し、要点や単語をノートにまとめ、それをつなげて話すようにしていました。ノートにまとめる内容を文章にして暗記してしまうと不意の質問に対応できないので、要点をまとめるという方法で面接に対する苦手意識を克服していきました。

■何事からも逃げ出さずに 立ち向かい頑張りましょう！

私は高校3年間、文武両道を目指し学習と部活に偏りが出ないように意識して生活してきました。定期テストでは高い評定を目指すため80点以上を目安としてテストに取り組みました。定期テストだけでなく、情報処理検定やMOSなどの資格を取得したり、授業態度の向上、無遅刻無欠席を目指し高校生として当たり前のことを完璧にできるように心掛けて生活してきました。部活でも人間として成長することを大きな目標とし、意識することで生活習慣や部活に対する考えも変わり、東北大会で入賞するなど、様々な場面で活躍することができました。高校3年間はつらい事もたくさんありましたが、それを乗り越えたことで、受験でも自分の力を発揮する事が出来たと思います。これから受験生になるみなさんにはつらい事から逃げださずに立ち向かってほしいと思います。

東北学院大学 経営学部 経営学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
玉川中出身

早く志望大を決めることにより 必要な対策が分かり余裕が生まれます

■進路決定が遅かったことを 合格後も後悔しています

私はスポーツ推薦で合格しました。私は一つ後悔していることがあります。それは進路希望先の決定の遅さです。私は高2の後半まで進路が決まっていなく、将来何をしたいのか何になりたいのか曖昧でした。ですが今回はコロナウイルスの影響により考える時間が増え、入学の基準が下がり合格することができました。ですが、決めるのが遅いせいで大学に必要な資格や道具が揃っていない、大学の宿題や運転免許の取得など取り組むことが増え、重なってきます。出来れば高2の夏には自分のありかた決め、余裕を持てるようになればいいと思います。

逆に良かった事は2つあり、自分の学びたいことが学べることです。考える時間が増えたことにより、自分がやりたい事が分かりました。2つ目は部活に入った事により選択の幅が広がったことです。入ったことにより色々な人と仲良くなり情報を得たり、背中を押してくれたりしてもらい元気をもらいました。

早く大学を決めることにより、やるべき事が明白になるので早めに進路を決めて頑張りたいです。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
広瀬中出身

努力した過程は結果以上に重要なので 勉強や部活動などに励みましょう

■大学と専門学校のどちらで

服飾を学ぶか悩みました

進路を決める上で大切なことは、自分の夢を叶えられるかどうかだと思います。医師になりたいのであれば医学部、美容師になりたいければ専門学校のように高校のうちから、夢を見つけられればスムーズにいきます。そうでなければ、好きなこと興味のあることを中心に考えるのもいいかもしれません。私は洋服が好きだったので、服飾関係の仕事に就きたいと考えていました。アパレル企業の就職を考えて進路を進めていきました。

そうなれば専門学校でも大学でも、その夢は叶います。専門学校と大学での学び、学校生活、細かいところは就職をしてからのことも考えました。自分に相談しても中々答えが出ないときは、学校の先生、親、友達と何度も話し合いながら、大学に決めました。

■小論文は量をこなせば

段々慣れていきます

入試方法は、東北福祉大学の高大連携型推薦と公募制推薦の入試を受験しました。進路先の受験資格は、必ず載っているのももって調べておいて下さい。高大連携型推薦は少し特殊で、受験するには講義を聞いてレポートを作成しなければいけません。大学によって受験資格、方法が異なるので、大学をよく調べるのが大切です。また、提出される書類にも目を通しておくと、何が書いて何が書けないのかが分かり、やるべきことが分かります。しっかり余裕を持って準備することが重要だと感じました。

受験方法は小論文と面接でした。小論文はとにかく書いていけば慣れます。土日に必ず1枚ずつ書いて担当の先生に見てもらいました。面接は平日担当の先生や担任の先生と練習しました。慣れていけば、いろんな先生と面接するより近い練習になります。東北福祉大学は、小論文の書き方や面接の対策動画が公開されていたので、参考にしてみてください。

推薦入試で入るのであれば、高校での経験が必要だと思います。小論文でも面接でも必ず必要になってきます。高校生活を楽しむことも大切ですが、勉強や部活動、資格取得など頑張してほしいです。頑張った過程が結果よりも重要なので怠らずにしてほしいです。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 情報福祉マネジメント学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
多賀城第二中出身

東北有数の強豪で硬式野球を続け 高校で叶わなかった日本一を目指します

■将来は地方公務員として 地域に貢献したいです

この大学を志望したきっかけは2つあります。1つ目のきっかけは、私は将来地方公務員として地元に戻りたいと思ったからです。総合マネジメント学部情報福祉マネジメント学科では、マネジメントの専門的な知識はもちろん、パソコンを使用したプログラミング能力を養えるという面に魅力を感じ、志望しました。

2つ目は部活動です。東北福祉大学の野球部は、設備がとても充実しており、毎年全国大会に出場している強豪です。高校では成し遂げることができなかった日本一という夢を大学で達成するために、また、4年間日本一を目指したいと思い志望しました。

■多くの先生方と練習を重ね 本番の面接で成功しました

受験期に苦労したことは面接練習です。本番ではアドミッションポリシーや興味のあるカリキュラムを聞かれました。しかし、多くの先生方との面接練習や、毎日少しずつ知識をつけることで面接がうまくいきました。

試験当日は800字、50分間の小論文と、昼を挟んでからの15分間の面接となります。小論文は開始の時までお題は分からないので、過去問題をたくさん練習すると良いと思います。

昼食は、緊張であまり食べられないと思うので小さめのおにぎりや『inゼリー』などの消化の速いものをおすすめします。

面接は、小論文の教室とは違う教室で行います。順番待ちの廊下はとても寒いので、急な寒暖差によって体調が崩れないようにホッカイロなどを持参すると良いでしょう。

毎日コツコツ頑張って合格できるように頑張ってください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
加茂中出身

高校生活では勉強以外で得られたものも 受験で大いに生かすことができます

■休校中は受験への焦りや 不安を感じていました

私が志望大学を東北医科薬科大学に決めたのは、高校3年生の春頃でした。高校2年生まで Team 若獅子でよさこいをやっていたこともあり、なかなか勉強に本腰を入れることができずにいました。加えて、この頃から新型コロナウイルスが流行し、学校に行けない日が続く中で受験への焦りや不安、勉強への取り組みの甘さにいらだつことも少なくありませんでした。私の志望大学は指定校推薦での受験も可能だったので視野に入れていましたが、志願者が多く、指定を受けるために必要な校内模試の結果も良くなかったことから、指定を受けるという淡い期待はなくなり、公募制推薦での受験を目指すようになりました。

■英語の勉強に集中して励み 苦手意識を克服できました

それから、筆記試験の化学と英語の学習に徹底的に励み、オークルームに残って勉強することも増えました。特に苦手な英語に関しては、志望大学の過去問を参考にして、出題傾向に沿った学習を心掛けました。学習の成果は模試にも現れ始め、化学と英語の成績が徐々に上がって行きました。成績は上がれど、受験への不安は簡単に拭えないもので、受験期はただひたすらに勉強をしていた印象が強かったです。公募制推薦には、推薦書や調査書も必要になってきますが、1年生の時に参加したボランティア活動、よさこいの活動を行っていたため、滞りなく書類を揃えることができました。また、定期テストにおいても手を抜かず、一回一回に真摯に取り組んでいたため評定の心配もありませんでした。受験日が近づいてきた頃には、担当の先生に面接練習を付き合ってください、面接時の言葉遣いや作法、注意点などのご指導を受けました。

私が志望大学に合格できたのは、高校1,2年生時での自主的な校外での活動や部活動、毎学期行われる定期テストへの向き合い方、そして、先生方のサポートが大きく関わっていると考えます。もちろん、受験で合格するだけの勉強は必要になってきますが、高校生活において勉強以外で得られるものもあり、得たものが受験に生かせることも少なくありません。是非、この3年間で勉強だけでなく、人間として成長できるように頑張ってください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
名取第一中出身

受験は辛く苦しいときもありますが 努力した分は必ず力になります

■地域に貢献できる薬剤師を 大学でも目指していきます

私は幼い頃入院していた時、薬剤師の方に薬の説明を丁寧にしてもらい憧れを持ち、将来人に寄り添える薬剤師になりたいと考えました。薬剤師に進学するにあたって県内の東北医科薬科大学では学習に対するサポートが充実してて、また地域に密着した薬剤師になるために医学部の学生と他大学の看護学部の学生とチーム医療について学ぶ機会があることが自分の理想であり、オープンキャンパスに参加して充実した設備や実際の雰囲気に触れて学習したいと思い東北医科薬科大学薬学部薬学科に決めました。

■用語などは説明できるまで 理解を深めることが大事です

公募制推薦の試験科目は化学と英語、面接で、特に化学は200点満点なので力を入れ、セミナーのワークを4、5周して何回もしっかりと理解するまで繰り返し解いていました。英語はスクランブルに掲載されている文法やイディオムを中心として勉強を進め、空き時間などにも読んだりして少しずつ身に付けました。この受験で思ったことは、ただ問題を解くだけでなく、用語などを自分なりに説明ができるように勉強することが大事です。それでも難しい場合は自分の分からないことをすぐに先生に聞くことでより深く理解することが出来るので良いと思います。面接は担当の先生や担任の先生と何回か面接の練習を行って、その都度自分が気付かなかったことをアドバイスしていただきました。おかげで、実践形式でトレーニングを積むことが出来ました。

そして私は生徒会に所属しており、ボランティア活動や学校行事を積極的に参加するなど良い経験を積めました。オープンキャンパスに実際に参加して実際の雰囲気を体験したり、有益な情報を得たりなどは大切です。受験は辛いことや苦しいことが多いと思いますが、努力した分はしっかりと力になるので頑張ってください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
加茂中出身

3年間はあっという間に過ぎるので 後回しにせず努力を続けましょう

■ 3年間の積み重ねのお陰で 合格できたと実感しています

私が志望大学を決めたのは3年生の夏頃でした。将来の目標は決まっていたのですが、どの学部にするか選択肢が多く、志望大学を決めるのが遅かったので時間の余裕はありませんでした。しかし、そこで自分を助けてくれたのが今までの勉強や部活動の経験でした。

私は1年生の頃から定期考査や小テストは頑張って点数を取るようになっていました。また、遅刻は絶対しないこと、欠席もできる限りしないように心掛けていました。なるべく評定を5に近づけるために、提出物は板書だけでなく先生が言っていたことをメモするなど、加点を貰えるように努力していました。評定を高く取っていたからこそ、選べる大学の幅が広がったり、推薦入試を受けることができたりなど、合格に近づくことができました。また、私はインターアクト部に所属しており、推薦を受けるにあたってボランティア活動は印象が良く、面接でも話題にすることができるのでインターアクト部に所属し、活動も行って良かったと感じました。部活動だけでなく、東北復興マラソンのような部活動以外のボランティア活動も参加していたので、それも好印象だったと思います。3年生になったら頑張ろうではなく、このような積み重ねが追い込まれた自分を救い、合格に近づくことができました。

■ 簡単な質問も臆せず先生に 質問することが大切です

勉強面では、分からない問題が出てきた時や何をすればいいのか分からなくなった時に、すぐ質問に行ける先生や先輩を見つけておくことが大切だと思います。初めは簡単な問題と質問しに行くのは恥ずかしいと感じる時もありましたが、一つの質問から様々なことを教えて頂けることもあるので、すぐ質問することは大切だと感じました。

高校3年間はあっという間に過ぎてしまうので、自分のために後回しにせず継続することが大切だと思います。努力を続ければ必ず自分の力になります。周りの人も頑張っていることと思い出して頑張ってください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
高砂中出身

先生方の熱いご指導のおかげで 学力に自信がつき合格できました

■ 将来は病院薬剤師として
医療現場で活躍したいです

薬剤師になりたい、その事を考えた時に、6年制大学に確実に入りたいと思い、6年制の学科がある大学を志望しました。そして東北医科薬科大学薬学部薬学科はチーム医療に関するカリキュラムが整っており、病院薬剤師として医療現場で活躍したいと考えていた私にとって最適な大学であると思い、さらに充実した設備や雰囲気が良く、国家試験の合格率の高さなどから、この大学を第一志望にしました。

■ 1冊の問題集を繰り返し解き
基礎固めになりました

受験で大事なことは、「繰り返し」だと感じました。公募制推薦の受験科目は化学、英語、面接で、特に化学の配点が高かったため、化学を重点的に勉強しました。色々な問題集を何度も解くのではなく、1冊の問題集を何度も解き完璧にすることで、苦手な問題をなくしていったり、基礎の定着に繋がったのだと思います。そのおかげで「なんとなく分かっていたもの」が「確実に分かったもの」となり、脳に定着させることが出来ました。さらに先生が過去問を解いて間違えた所や分からなかった所を一つ一つ丁寧に教えてくださったり、色々なアドバイスをしてくださったりなど、熱いご指導をしていただいたおかげで、自信も付き、合格することが出来たと思います。

私の受験に関わった先生方にとっても感謝しています。今まで積み重ねてきた努力が最後は自分自身を支えるはずで、最後まで自分を信じて頑張ってください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
多賀城中出身

努力の成果が中々出なくても心折れずに 落ち込む時間を勉強に費やしましょう

■ 休校中は自分自身の甘さとの 向き合い方に苦労しました

コロナウイルスによって、従来の受験期とは少し異なり自宅での授業が多かったので、自分自身の甘さとの向き合い方が大変でした。学校での授業の場合は、クラスの同級生が受験に向けて勉強し始めることで受験勉強する雰囲気ができあがっていくのですが、自宅でのオンライン授業は、娯楽による誘惑が多い中で己に厳しくしないといけなかったのも、同級生との間に実力の差がつきやすかったと思います。私は公募制推薦だったので、受験時に2教科受ける必要があり、コロナで授業が出題範囲まで全然追いつけない状態からのスタートでした。先生方に個人的に尋ねて、おすすめの参考書を教えていただくなどして、授業以外の時間に一人で進めていきました。しかし、模試の判定はかなり低く受験前の最後の模試も最低評価のままでした。努力が少しでも結果として出てくれれば、モチベーションや自信につながるのですが、私はそれができないままでも、心折れずに勉強し続けました。気付けば、一日5時間くらいを休日問わずやってるほどになっていました。長時間勉強することや継続的に勉強できなかった私がいつの間にかできるようになっていました。その状態のまま受験当日になり、なんとか合格できました。

■ 自分を律することができれば 努力は必ず報われます

このことから、私は受験において重要なのはやる気だと思います。努力するにも、やる気がなければ長くは続かないと思います。進んでいる道の途中でいい成果がでなくても、それに落ち込む時間を勉強に費やすくらいであればどうかなと思います。受験は団体戦と言いますが、結局は一人の戦いです。どれだけ受験当日まで自分を律することができるのか、どれだけ志望大学に自分の持ち時間を削ることができるか。それらが多かかったり強かかったりするほど努力が報われるのだと思いますので、頑張ってください。

2021 栄光への軌跡

2021年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



スポーツ推薦

青山学院大学、立教大学、中央大学、東海大学、
拓殖大学、立正大学、神奈川大学、東京国際大学、
中央学院大学、白鷗大学、仙台大学

青山学院大学 経営学部 マーケティング学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
岩手 水沢南中出身

勉強と部活動に熱心に取り組むことで 自分に合う進路を見つけやすくなります

■スポーツ推薦のために 一生懸命練習しました

私は、スポーツ推薦の強化指定部制という枠で青山学院大学に合格することができました。大学合格するために頑張ったことがいくつかあります。

まずは、部活動に一生懸命に取り組んだことです。私は高校でラグビー部に所属していて、大学でもラグビーをやりたいと考えていました。私は勉強がそれほど得意ではなく、最初からスポーツ推薦で大学に行くことを考えていました。スポーツ推薦をとるためには、大会等、大学関係者が見るような試合で結果を残すこと、個人でいいパフォーマンスをすることが必要でした。そのため、普段の練習から一生懸命取り組み、来る大会に向けて日々練習をしてきました。残念なことに、ラストイヤーとなった3年次にはほとんどの大会がコロナウィルスの関係でなくなり、アピールの場を失ってしまいました。しかし、日々の積み重ねが実り、3年生の春の段階でいくつかの大学に声を掛けてもらうことができました。その中でも学力が非常に優れ、また一番気にかけてくださった青山学院大学に進路を決めることができました。部活動を一生懸命頑張った日々は無駄じゃなかったと実感しました。

■家庭学習に力を入れて 効率よく勉強しました

また、部活動と並行して、学習面もしっかり頑張れたと思います。私は特別選抜コースに属していて、他の学級より授業数が多かったので、部活動の両立に苦労することがありました。しかし、家庭学習にも取り組むことで、効率的に学習することができました。また、大学進学に向けた受験対策では、先生の力も借り、面接練習・小論文対策に一生懸命に取り組みました。面接は授業の合間や部活動終わりの放課後などに担任の先生に協力してもらい、何度も練習しました。小論文も何度も修正し、力を付けました。そのおかげで受験も不安なく取り組むことができました。

高校生活で一生懸命に勉強や部活動に取り組めば、進路の幅が広がり、大学を選ぶ際の選択肢を増やすことができます。その中で自分にあった進学先を見つけることができるでしょう。日々の生活や受験対策を充実させ、目標達成に向けて頑張ってください。

立教大学 コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
兵庫 松陽中出身

まだ目標が定まっていなかったのであれば 今できることを積み重ねていきましょう

■グラウンドで練習させて頂き 立教大学に魅力を感じました

私はアスリート選抜入試という形で立教大学への入学を志望しました。アスリート選抜入試は、硬式野球の実績はもちろんですが学業の成績も関係あります。そのため、スポーツで大学を受験しようと思っても学業を疎かにせず、具体的に計画を立て頑張りたいと思います。

立教大学を志望した理由は、明治神宮大会に出場した際に練習で立教大学新座キャンパスのグラウンドをお借りし、整備や環境に魅力を感じたからです。そこからは、立教大学についてたくさん調べました。その結果、部活だけではなく学業の成績や英語能力など野球以外のことも多く求められていました。

■チームのキャプテンとしての 取り組みが実績になりました

部活動では、約1年間キャプテンとしてチームをまとめてきました。技術はもちろんですが、チームが勝つために必要なことに取り組みその結果が自分自身の実績へとつながっていきました。

学業では、一日一日、一時間一時間の授業を大切に、その積み重ねが良い成績につながると考えます。興味がある大学や行きたい大学があるのであれば、早めに目標を立て早めに行動していくことが大切ではないでしょうか。

このように、目標を立てそれに向かって進んでいくことの大切さを理解し、もし、目標が決まっていなければ、今この瞬間を精一杯積み重ねるのが大切だと思います。

これから、更に大変になると思いますが、出来ることを見つけ、早め早めに行動へと移して欲しいなと思います。

中央大学 商学部 会計学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
秋田 男鹿東中出身

自分を甘やかさずに、 何より自分のために努力していきます

■今以上にハイレベルな環境で ラグビーを続けたいです

私が大学への進学を考えたきっかけは、小さい頃から続けているラグビーに大学というレベルの高い環境で取り組みたいと考え、また、ラグビーを続けながら高校では学べないような専門的な勉強をして、自分の可能性を広げ、将来の選択肢を増やしたいと考えたからです。

大学では全国からたくさんのレベルの高い選手が集まってきます。その中でプレーをすることで、自分よりも強い選手に出会い、たくさんのことを教えてもらい、いい刺激をうけ、成長することができます。また、大学で専門的なことを勉強することで、将来の夢が見つかったり、資格をとったりでき、様々な選択ができるようになります。

このように大学に行き、たくさんの経験を積むために、私が高校時代に努力してきたことは、自分を甘やかさずに毎日生活することです。特に部活動で努力することを心掛けました。

■AJクラスの授業と部活動を 両立するのが大変でした

私は英進の特別選抜（AJ）クラスに所属していて、他のクラスよりも授業の数が多く、放課後の練習に遅れて参加することがありました。そこで周りにおいていかれないように、朝、トレーニングをしたり、練習のあとに自分の足りないことを練習したりしていました。その努力のおかげで、監督やコーチに認められて、2年生のときにスタメンとしてプレーすることができるようになりました。そして、試合でのプレーを評価してもらい、大学にスポーツ推薦で合格することができました。しかしときどき自分のことを甘やかしてしまい、自主トレーニングをしなかったことがありました。そのときにまじめに取り組んでいたら、もっと成長できていたと思うので、大学では同じ思いをしないように、自分を甘やかさずに、自分のために努力していきたいと思います。

中央大学 文学部 人文社会学科東洋史学専攻に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
仙台第二中出身

時間は誰にでも与えられていますが いかに有効に使えるかはあなた次第です

■部活動では数々の好成績を 修めることができました

学校生活を送るうえで意識したことは、文武両道です。高校3年間、ラグビー部に所属しました。入部したときは、慣れないことが多く、受け身になっていましたが、自ら進んで練習に参加することを心掛けた結果、1年生時から全国大会のメンバーに入ることができました。またその後、2年生時からはレギュラーに定着し茨城国体7位入賞、東北新人大会優勝といった結果を残すことができました。最終学年である3年生時では、新型コロナウイルスの流行により、休校や大会の中止などうまく調整することのできない部分が多くありましたが、全国大会では14年振りのベスト16という結果を残すことができました。

■限られた時間で効率良く 勉強する工夫をしました

学業の面では、定期テストで高得点をとれるように、コツコツ勉強しました。テストの1週間前に、公式戦があったりするなどして、勉強時間を確保するのに苦労しましたが、少ない時間で効率良く勉強できるように工夫して取り組みました。

私が、文武両道を貫いて感じたことは、時間の重要性です。時間は、全員平等に与えられているものですが、それをどう使うかは自分次第です。特に、新型コロナウイルスの流行によって、休校や部活動の停止など、自分一人で過ごす時間が増えました。その時間を使って何ができるのか、何をすべきなのかを考えて、後悔しないよう行動してほしいと思います。

東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
神奈川 旭中出身

寮生活でも規則正しい生活を心掛け 体調管理にしっかり取り組みました

■仲間や先生方に恵まれ

楽しく有意義な3年間でした

私は東海大学に合格するために、勉強やラグビーだけでなく体作りにも力を入れてました。大学に入って部活動や勉強で遅れないように、日々の練習ではすべてを出しきるようにして、勉強では一番苦手な教科の復習をしていました。高校生活では毎日が楽しく、時には辛く厳しい場面もたくさんありました。そんな時チームメイトと協力して乗り越えてきました。勉強の面では、先生が分かるまで指導してくださるので、テスト勉強に困ることがなく有意義に過ごすことが出来ました。学校が終わった後も部活があり、個人目標を持って練習に取り組み、体を作り上げることが出来ました。寮生活でも規則正しい生活を心掛けて早寝早起きを習慣にして体調管理をしっかりして、毎日学校に元気に登校出来るようにしました。今年はコロナの影響もあり自宅にいる期間があったけど自分の為になるように行動することが出来ました。1, 2年生の時に勉強や部活を頑張ってくれたから今の自分がいると思います。

仙台育英に入学することが出来て良かったと思っています。

東海大学 国際文化学部 地域創造学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
蛇田中出身

甲子園交流試合出場を果たした 努力が認められ合格できました

■野球を続けながら学べる 環境に惹かれ志望しました

私はスポーツインストラクターを目指しています。それに加えて、高校の部活動でも行っていた、硬式野球部を継続したいという思いから、大学進学を希望しました。その中で東海大学国際文化学部地域創造学科が自分にとって最も良い環境、施設などが備わっていると感じ、受験しました。

受験方法は、総合型スポーツ優秀者型というものでした。高校3年間で積み重ねて来たものを評価していただき、このような受験となりました。

試験方法は、コロナウイルス流行の影響により、録画面接となりました。先に質問内容が表示され、自分でもそれについて解答している姿を録画するというやり方でした。質問は全部で2つだけでした。1つ目は、事前に出願書類と一緒に提出したレポートについて、どのように取り組んだか、取り組みにおいて努力、工夫した点などを5分程度で述べてください、2つ目は、本学あるいは学科を志望する動機や、入学後に取り組みたいことなどを5分程度で述べてくださいというものでした。

■自ら課題を明確にして練習し スタメン出場を果たしました

また、この受験方法では、高校での部活動の成績が少なからず関係してくるのですが、その背景として様々なことがありました。まず私は、自分達が最上級生となった新チームのときには、一度もベンチに入ることができませんでした。結果が出ず、基礎的能力も足りず、怪我也多くありました。そこで冬の練習では、自分の課題を明確にし、そのために必要な練習を計画的に意図を持って取り組みました。そこから春のセンバツに向けて徐々に結果を残すことができ、中止になってしまいましたが、センバツで初めて背番号を貰うことができました、夏の県大会でも2試合スタメンで出させていただき、甲子園交流試合で幼い頃からの夢であった甲子園出場を叶えることができました。3年間本当に頑張ってきて良かったと思うし、大学受験でもそこを評価していただき、無事に合格することができたので、大学でも文武両道を目指し、精進していきたいと思います。

拓殖大学 国際学部 国際学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
富谷第二中出身

部活動で目標達成に励むことが 将来に繋がると確信しました

■部活動の主将を務めた年に 成長できたと感じています

私は陸上競技部長距離に所属しており、高校卒業後も陸上競技を続けたいと思ったのでスポーツ推薦で駅伝の強い学校から選びました。高校2年生の冬から高校3年生の春にかけて大学の部活見学に行き、何校か見た中で決めました。拓殖大学は学校の敷地内にトラックや寮があり、環境の良さに惹かれました。

高校3年間は部活動を中心に過ごしていきました。寮に入り、チームの仲間と共に寮生活を過ごしました。陸上競技は他の部活動と違って、練習時間が少ない方です。1日3-4時間という練習時間をどのくらい集中して大切にしていけるかを意識していました。高校3年生では主将を務めることになりました。主将として競技面でも引っ張っていかなければいけないという気持ちや、チームをまとめるという意識から、3年目は競技面でも人間性でも一番成長することが出来たと感じています。春の時は夏にある高校総体を目指して練習に取り組み、夏以降は駅伝を目指して練習に取り組んでいました。どの時期でも先にある大会に向けて目標を立てることを大切にしていました。

■常に大会や記録会には 目標を掲げ臨みました

スポーツ推薦で進路を希望する場合、特に2年生時の部活動の成績が大きく影響します。陸上競技の場合、県大会以上の大会で走ることや記録会でタイムを出すことが大切です。私は、1, 2年生の時は高校卒業後のことはあまり考えておらず、目の前の大会や記録会で目標を持って取り組んでいました。1つひとつ目標を達成していき、その結果スポーツ推薦を貰うことが出来ました。自分の部活動を真面目に一生懸命に取り組むことが出来れば、その後の自分の将来にも大きく繋がると感じました。

立正大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
秋田 男鹿東中出身

いくら苦手でも当たり前ことは 向上心を持って取り組みましょう

■チームメイトに刺激を受け 練習の仕方を見直しました

私はラグビー部に所属しています。私が、立正大学を志望した一番の理由は、ラグビーを大学に入ってからでも全力でプレーをしたいと考えたからです。

私は、あたりまえの事をあたりまえにやる意識で部活動を行っていました。私のチームメイトで毎日朝練を継続して行っている人がいました。私は、早起きが苦手なため始めの頃は朝練をするということが多くはありませんでした。しかし、チームメイトの一人は毎日朝練をしてどんどん成長していきました。それを見て私は焦りを感じていました。それからは、苦手な早起きもして朝練を行うように意識しました。すると、スキルアップや、体の成長を感じ、モチベーションアップにも繋がりました。始めの頃は辛かったのですが、継続していくとそれもあたりまえになっていきました。こうして私は、自主練習やチーム練習をあたりまえに行うように頑張りました。

■当然すべき事をきちんと行い 実績を残すことが大切です

私はこの体験で、上手にプレーしたい、他の人に良い評価をしてもらいたいと思うならまず、自分の苦手な事や、辛いこと、向上心を持つことなどを、あたりまえのように行う意識が必要だと感じました。このような体験をしたという事が大学合格に繋がったと思います。しかし、スポーツ推薦はアピールも大切だと思うのでアピールも頑張りながら、強くなりたいのならまず、あたりまえをあたりまえに行うという意識で頑張ってみてはどうでしょうか。私も、あたりまえを頑張って大学生活を楽しみたいと思います。

神奈川大学 人間科学部 人間科学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
岩手 遠野中出身

「誰にも負けたくない」という気持ちで 仲間と切磋琢磨し部活動に励みました

■大学卒業後にスポーツ関係の 仕事に就きたいです

私がこの学校に進学すると決めた理由は、まずは高校で頑張ってきた陸上を大学でも続けたいと思い、その中で自分は中学生の頃から神奈川大学に入りたいと思っていて、駅伝部自体は毎年箱根駅伝に出場している常連校で実績があり、陸上を続けるにはここがいいと思い選びました。そして、学部についても将来的にはスポーツ関係の仕事をしたいと思っており、その中で特化している学部がこの学部だったのでこの人間科学部人間科学科を選びました。ただ走っているだけでは強くないと思っていて、走る中でも精神面や理論などをしっかり押さえながら走り、両立をしていきたいと思ったからです。

スポーツ推薦で入るにあたり努力したことは、誰にも負けたくないと思いながら練習を行い、普段の練習から競争意識をチーム内で持ちながら毎日規則正しい生活を送り、毎日仲間と共に切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいました。

■部活動ができなかった中で 課題が明確になりました

3年次は長距離男子の副キャプテンになり、先生方や仲間たちに助けられながら年間勤め、今年はコロナがあり、思うように練習ができずチームをまとめるのに苦戦した時期もありましたが、逆に普段足りていなかったものが明確になり、チームで直しながら目標に向かって頑張りました。ただ走っているだけではなく、競技をできることに感謝の気持ちを持ち、感性をしっかり持ちながら毎日生活していました。部活動だけではなく勉強との両立も大事にして部活と勉強に取り組んでいました。最後まで諦めずに続けることによっていい結果を掴むことができると思うので、何があっても粘り強く頑張っていきたいです。

東京国際大学 人間社会学部 スポーツ科学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
新潟 津南中出身

「誰にも負けたくない」という気持ちで 仲間と切磋琢磨し部活動に励みました

■大学卒業後にスポーツ関係の 仕事に就きたいです

自分がこの学校に進学すると決めた理由は、まずは高校で頑張ってきた陸上を大学でも続けたいと思い、その中で自分の中で東京国際大学が今波に乗っていると感じ、駅伝部自体はまだ若いチームなのに箱根駅伝に出場していてその中で実績を残しているため、陸上を続けるにはここがいいと思い選びました。そして、学部についても将来的にはスポーツ関係の仕事をしたと思っていて、その中で特化している学部がこの学部だったのでこの人間社会学部スポーツ学科を選び、ただ走っているだけでは強くないと思っていて走る中でも精神面や理論などをしっかり押さえながら走り、両立をしたいと思ったからです。

スポーツ推薦で入り、努力したことは、誰にも負けたくないと思いながら練習を行い、普段の練習から競争意識をチーム内で持ちながら毎日規則正しい生活を送り、毎日仲間と共に切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいました。

■部活動ができなかった中で 課題が明確になりました

3年次は長距離男子のキャプテンを務めさせてもらい先生方や仲間たちに助けられながら一年間勤め、今年はコロナがあり、チームをまとめるのに苦戦した時期もありましたが、逆に普段足りていなかったものがわかりチームで直しながら目標に向かって頑張りました。ただ走っているだけではなく、走ることができることへの感謝の気持ちを持ち、感性をしっかり持ちながら毎日生活していました。部活だけではなく勉強との両立も大事にしながら考えながら部活と勉強に取り組んでいました。最後までなんでも諦めずに続けることによっていい結果が待っていると思うので今苦しくても最後まで頑張らしましょう。

東京国際大学 人間社会学部 スポーツ科学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
南光台東中出身

自己推薦文は想像以上に大変なので できるだけ早めに取り掛かりましょう

■面接練習や書類の添削を

先生に自ら頼みに行きました

私が受験に成功した一番の要因は積極的に行動したことだと思います。私はいつも積極的に行動せず、言われるのを待ってしまうタイプでした。ですが、さすがに将来が掛かっているため積極的に行動しようと考えました。面接の練習や自己推薦文の練習は入試の2か月前から始めました。面接の練習は部活がないときは担任の先生に自分からお願いしたり、自己推薦文も書き終わったら先生に見せに行き、間違いを指摘してもらったりしてもらいました。しかし、早めに始めたはずの自己推薦文は思っていた以上に時間がかかってしまいギリギリでの提出になってしまいました。文を書くのが苦手な人は早めに始めた方が良いでしょう。早く始めて、少し余裕を作るのが大切だと私は今回の受験で感じました。面接は早く練習を始めたおかげで何を聞かれても答えられるようになりました。面接よりも自己推薦文を早めに作り、そこから面接の練習をする方が良いでしょう。スポーツ推薦は結構部活について聞かれることが多いです。

皆さん、来年がんばってください。

中央学院大学 商学部 商学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
神奈川 萩園中出身

合格そのものがゴールではなく 入学後を考えて進路を選択しましょう

■中央学院大学のゼミの体制に 大きな魅力を感じました

私が、中央学院大学を志望したきっかけは部活動のレベルと大学の中で学びたいと思っていたことが私自身に合っていると思ったからです。具体的に1年次から始まる少人数ゼミ、2年次からの7つのコース選択というものに興味を持ちました。少数ゼミでは、少人数によりコミュニケーション能力を高めることができ、深く学べるためしっかりと知識を身に付けることができたことに、とても魅力を感じました。1年次で学んだことをもとにコースを選択でき、その分野の深い専門的な知識を得ることが出来ると思ったことが、中央学院大学商学部商学科を選んだ決め手です。さらに、学生に対するサポート体制が整っており、大学生活も充実したものにできると思えたのも一つのきっかけです。

■大学では社会人として 成長していきたい

部活動のレベルでは、技術があるのを前提に、野球以外に社会に出て通用する人間づくりや地域コミュニケーションを大切にしている硬式野球部の方針に魅力を感じました。私は硬式野球部では、選手ではなくチームを支えるマネージャーという道を選びました。理由は、社会に出るための準備として大人との関わり方、敬語など様々なメリットがあると思います。学生の時代にたくさんの経験をするのができ大きく成長できる4年間になると思います。

大学選びでは、本当にやりたいこと学びたいことを真剣に考える必要があると実感しました。合格することがゴールではなく、合格してからのことを考えながら決めていくことが必要だと思いました。今自分に必要なことを見極めて過ごしていくことが大切だと思います。

中央学院大学 商学部 商学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
千葉 銚子第三中出身

勉強を部活動と両立できたことにより 自分自身が成長できたと実感しています

■周りの役に立つ行動を 常に心がけてきました

私が大学を選ぶときに一番最初に考えたことは野球でした。どの場所でどの大学で野球をやりたいのかだけを考えていました。ですが、それだけではダメだと思い、私が大学で何を学びたいのかをしっかりと考えて、私が学びたい分野や目指したいと思うことがあったので、中央学院大学商学部商学科を志望しました。私はスポーツ推薦という形で大学に合格したのですが、私の所属していた硬式野球部では100人を超える部員で一つの目標に向かって3年間取り組んできました。私は他者を思いやって他者の役に立つ行動をすることを心がけてきました。自分のことを優先するのではなく他者に目を向けて行動することができたと思います。他にも先生から多くミーティングをしていただいたり、学年でも多くミーティングをして社会に必要な知識を学べたりコミュニケーション能力を高めることができました。コロナ禍で、休校期間中にZoomを使ってミーティングをし、より深く、いろんな角度から物事を捉えることができ、3年間振り返ると人間として大きく成長することができました。硬式野球部で身に付けた力や学んだことを、大学生活にも生かしていき4年間過ごしていきたいと思います。

■高校生活は私にとって かけがえのないものです

学校生活では良い仲間に出会うことができ、3年間毎日楽しく学校生活を送ることができました。私にとってかけがえのないものになり、仲間の大切さを学ぶことができました。勉強面では中学の頃は部活と勉強の両立をすることができなくて勉強は苦手でした。ですが高校ではテストのことを先生に聞いたり、自習の時間を有効に使ってテスト前はテスト勉強に取り組むことができました。結果3年間点数のバラつきはあったものの部活と勉強の両立をすることができました。一番苦手なことだったのですが、高校で一番成長できたことかもしれないので良かったと思います。部活や勉強、学校生活で学んだこと、努力してきたことがあったからこそ大学に合格することができ、それが要因だと思います。大学選びは早い方が良いと思います。将来何がしたくて何を学びたいのかを深く考えて、後悔のない選択をするべきだと思います。準備としてまずは部活、勉強、学校生活から社会に必要な知識を身に付け、人間として成長することが大切だと思います。また、小論や面接は多く練習した方が良いと思います。練習をしないと本番は絶対にできません。努力した分、結果はついてくると思うので、自分がやれることを全力で取り組むことが合格に近づいてくると思います。

白鷗大学 経営学部 経営学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
秀光中等教育学校出身

スポーツ推薦での受験を考えていても 基礎学力をきちんと付けておきましょう

■進学後に必要な勉強にも 真面目に取り組みました

私はスポーツ推薦で白鷗大学経営学部経営学科を受験しました。
私が白鷗大学を志望した理由は、自分の夢に近づけると判断したからです。私は高校3年間で特に力を入れてきたことは部活と勉強です。大学に進学する際に学力は求められると思い、部活だけでなく取り組んできました。白鷗大学ではスポーツ推薦でも面接だけではなく、英語の試験があるのでスポーツ推薦で進学を考えている人も、基礎学力を身に付ける必要があると思います。また、スポーツ推薦なのでスポーツの実力も問われるので、練習会は自分をアピールしていく必要があると思います。

私がスポーツ推薦で行くにあたり、高校で力を入れたのは野球です。野球で良い成績を残すためにはどうすればいいのかや、技術だけではなく人間性の向上にも努めました。

■目標達成に必要なことを 考えて行動しましょう

私は志望大学を選ぶ上で重要視したことは、野球をやる環境が整っていることと、勉強の両立ができることです。私は早い段階から色々な学校を調べて、どのような大学がいいかを探して白鷗大学が自分の夢に近づけると思い選びました。何事にも早い段階から調べ始めたり、自分の目標を立てることが大切だと思います。

このように、目標を立てることや、自分には今何が必要かなどを考えて、実際に行動することが大切です。最後に、これから大変になると思いますが、やることを明確にして、目標に進んでいってほしいです。

仙台大学 体育学部 体育学科に
スポーツ推薦で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
鳴瀬未来中出身

スポーツに打ち込む人に囲まれた環境で 大いに刺激を受け成長できました

■部活動ではどんなときも 仲間と支え合いました

私はバレーボール部に入学し、3年間活動してきました。高校生活での部活動は、ものすごく自分のためになったと思っています。夏休みは、暑い中、外での走り込みや長期の遠征など身体的にきついのはもちろんですが、精神的にもつらかったです。ですが、3年間部活動の仲間達と協力しあい助け合いながら切磋琢磨してきました。そこで自分が大きく得たことは、仲間を思いやることの大切さを部活動だけでなく普段の生活でも実感することができ、大きく成長できたと考えています。学校生活でも、同じスポーツに取り組んでいる人達が多く在籍しており、とても刺激を得ることが出来ました。とても充実した3年間を過ごすことができ良かったです。

2021 栄光への軌跡

2021年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



総合型選抜

The University Of New South Wales、横浜市立大学、
国際教養大学、慶應義塾大学、神田外語大学、
東北学院大学、東北福祉大学、東北工業大学、
東北文化学園大学、尚絅学院大学…

The University Of New South Wales Business/ Commerce に
特別選抜で合格

令和3年3月 秀光コース卒
成田中出身

《立教大学 経営学部 国際経営学科にも総合型選抜で合格。下記は立教大学に合格した2020年12月時点で記入された合格体験記です。その後特別選抜で、The University Of New South Wales に合格・進学が決定しました》

普段の課題や授業で吸収したことが 驚くほど受験に役立ちました

■担任の先生のアドバイスで 直前に進路を変更しました

立教大学を志望大学にしたのは高校3年の夏のことでした。元々私は海外大学に進学するためにIB教育を受けてきました。ですから、国内大学受験は全く頭に無かったのです。しかし、コロナ禍の中で不安だった私の気持ちを汲み取ってか担任の先生が「国内で一つ決めておいた方が安心よ」というアドバイスをくださいました。そのことをきっかけに担任の先生に相談を繰り返し、私が仮に国内の大学に進学することになっても私の学びたいことを学べる立教大学に決めました。しかし、私が国内大学に出願するという事は、IBの2年間の中で最も忙しい時期に同時進行で国内の大学の出願に向けて準備していくことを意味します。親からは反対されました。私は違いましたが、大学受験により詳しい先生の助言に従うことにしました。

■IBで努力したからこそ 合格できたと確信しています

受験は一次に書類審査、二次に面接と小論文がありました。書類には私の将来の目標や高校生活での活動を中心に書き、先生に何度も推敲していただきました。そのような書類を書く際の適切な言葉遣いや文脈、文の構成など様々な点において指導していただいたので、先生の助けがなければ一次通過は難しかったかもしれません。また、私の受けた立教大学は、自分が高校生活でやり遂げた活動を時系列で書くようになっており、様々な活動をしてきた方がより書いていく素材に困らないのだなという印象を受けました。私はIBをやっていたので、CASという活動を通じ様々なことに挑戦していたことが有利に働いたように感じます。そして面接でもIBで培ったコミュニケーション力が発揮されました。予想していた質問とは異なったもので、かつ、それらを急に英語で答えなければならない状況になってしまったのですが、詰まることなくスムーズに会話できたことを覚えています。さらに小論文に関してもIBに入ってから文を書くという作業、例えばエッセイやレポートなどをこなしてきたことが反映されて、直前に焦って対策をせずとも少し余裕を持って挑むことができました。

ここまで読んでくださった方はお気づきかもしれませんが、私はIBを2年間やってきたからこそ合格することができました。普段の課題や授業の中で吸収していったことがこのようにところで役立つことがあるのかと自分自身驚いています。しかし、努力の積み重ねはいい結果に繋がることを改めて感じる事ができた大学受験でした。これから受験を控えている皆さんもぜひ、日々のちょっとした努力を意識してみてください。応援しています。

横浜市立大学 国際商学部 国際商学科に
特別推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
宮城教育大学附属中出身

面接練習は高校生活を振り返ると共に 将来を深く考える機会になりました

■過去問を解き複数の先生方に 添削していただきました

私はIB入試を通して大学を受験し、横浜市立大学国際商学部国際商学科に合格することができました。この試験はIBDPプログラムを受け、予測スコアを提出することができる生徒が対象でした。また、当日の試験では学部に関連した筆記試験と面接が行われました。大学のホームページから筆記試験の過去問を見ることができたため、学部編成後の過去5年ほどの問題に取り組み、異なるコースや経済や商学に詳しい先生に添削をしていただきました。筆記試験に関しては、自分的にもかなり時間をかけることができたと感じているのですが、その反面、面接練習にあまり時間をかけることができませんでした。面接内容として、受験する大学に関する知識は勿論、IB受講生徒を対象としている受験方法であったため、自身が受けてきたIB生活2年間を振り返り、面接用に作成したノートにまとめました。面接練習は必然的に自分の高校生活の振り返りとなり面接だけのためのものではなく、一度立ち止まって将来のことについて考える良い機会ともなりました。

■過去問とは異なる出題も IBの授業で対応できました

受験当日、筆記問題を解いてみると、過去問とはかなり傾向が変わった数学重視の問題でした。幸いにも、自分はIBの数学において統計分野を扱った論文を作成しており、そこで得た知識をもとに問題を解くことができました。面接では、教授の方々が固すぎずに和やかな雰囲気で行ってくださったおかげで、自分自身が言いたいことをきちんと自信を持って話すことができました。一問一答という形ではなく、教授の方々が私の答えに関してより深掘りしていくという形だったので、個々人をきちんと見られていることに緊張感を感じつつも、自分らしさを発揮することができました。内容としては、自身と高校生活のことを重点的に聞かれ、将来のことや大学の知識に関することはあまり聞かれませんでした。しかし、練習の中で、自分自身で将来について考えることができる機会を設けることができ、改めて自分がこの大学、学部を受けたいという強い自覚と意識が芽生えました。

今回の受験は、受験のこと以外の移動や滞在にも気を張るようなものでしたが、今までの受験対策を頑張った自分を信じ、前日もいつもどおりの生活をするので少しでも気を落ち着かせ、本当の自分に向き合えたのではないかと思います。

国際教養大学 国際教養学部 に
特別推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
山形 三川中出身

狭き門だった推薦入試を強い精神力と 入学への熱意で突破できました

■家族からの自立やIBDPで 精神力が鍛えられました

私は、国際教養大学（AIU）のグローバル・ワークショップ（GW）入試を受験し、10月に合格が決まりました。定員が5名と少なかったこと、書類選考、その後の審査も含め、正直な所「自分には無理そうだな」という印象が強かったことから、元々GW入試を受けるつもりはありませんでした。しかし、書類だけでも出す価値は十分にあると感じ、先生方に何度も添削して頂いて、自己アピール書を完成させ応募に至りました。既述の通り、元々この入試を受けるつもりで対策をしてきた訳ではないので至らない点は多々あると思いますが、私なりにGW入試に必要なと思うことを2つ述べていきたいと思います。

1つ目は、「強い精神力」です。GW入試は長い自己アピール書の作成から始まり、地道な情報収集、事前課題（小論文）の作成、講義やディベートなどを行うワークショップを経て、日本語と英語の面接で終わる、まるでトライアスロンのような入試です。特にディベートは、周りに圧倒されてしまい評価も悪かったので、かなり悔しかったですし、精神的にも厳しいものがありました。それらを乗り越えることができたのは、ずっと親元を離れて生活してきたことや、IBDPを受講してきたことで培われた精神力のおかげであったと今は思います。長期間にわたる入試ですが、最後までモチベーションを保ち、地道に1つひとつをこなしていくことが重要であると考えます。

■小学生の時に知ってから AIUに憧れていました

2つ目は、「絶対にAIUに入りたいという熱意」です。これは、AIUのどの入試においても、一番大切なことだと思います。私がAIUを初めて知ったのは小学生の時で、それ以降も「いつかはAIUに行く」という思いで県外進学を選択し、資格取得やIBDPの受講、課外活動などに取り組んできました。ですから、入試の際も、「入りたい熱意だけは他の誰にも負けていない」という自信を持つことができました。

これら2つの要素に、先生方や友人、家族の心強いサポートが加わり、私は最後まで走り抜くことができました。これを読んでいる後輩の皆さんにも、辛い時期であっても周りの人達を大切に、時にはその力を借りることを是非忘れないでほしいと思います。皆さんの進路が実現することを心から願っています。

慶應義塾大学 文学部 人文社会学科心理学科に
特別推薦で合格

令和3年3月 外国語コース卒
中国出身

「無理だと諦めずに挑戦してみてもは」 という先生の言葉が励みになりました

■高校で日本の生活に慣れ 慶大で学ぼうと考えました

私は日本に来る前から慶應義塾大学を志望していました。子供の頃から日本のマンガや文学が好きで、日本に留学に行きたいと家族に言い出したら、父に「福沢諭吉が創立した慶應義塾大学に行くといい」とアドバイスをもらいました。父は福沢先生の本が好きで、私もその影響で本を読んで、彼が創立した慶應義塾大学に憧れていました。そして、慶應義塾大学に入ることを目標にして日本留学を決め、大学に行く前に日本の環境に慣れようと考え、仙台育英で高校留学することを決めました。

日本に来たばかりの頃は、様々な不安がありました。異国での生活に慣れることができるか、友達を作れるかどうか、色々なことを心配しました。しかし仙台育英の先生たちはとても親切で、生活で困った時はたくさん助けてくれました。おかげで私は来日してからすぐ、日本の生活に慣れることができ、受験準備に集中することができました。

■漠然としていた目標を先生が 引き出して下さいました

慶應義塾大学の自己推薦入試は留学生の私にとってはとても難しい試験だと分かっていましたが、実際に過去問を見た後は、一度自信を失って諦めようと思ったことがあります。その時、担任の先生から「やる前に諦めるより、やった後に本当にだめだと分かってから諦めた方がよい」とアドバイスをいただき、私の励みになりました。夢を諦めずに、自分にチャレンジしてみようと思えました。

それから私は試験内容を調べ、学習計画を立てました。まずは自己アピールのために、自分の得意科目である英語の資格を取ろうと考え、IELTSの試験を受けました。それと同時に、筆記試験に向けて準備し始めました。慶應義塾大学文学部の自己推薦入試は、現代文の読解と小論文で選考されるので、私は主に二つの対策をしました。まずは、過去問を解くことで、自分を「日本語の文章を読む」ということに慣れさせました。そして、哲学に関わる出題が多い小論文に対し、哲学入門の本を何冊も読みました。受験前の2カ月は、毎日寮に帰ったら本を読みつつメモを取り、通学の電車でも哲学の用語集を読んでいました。

とは言っても、一人の外国人が数カ月頑張って書いた小論文は、到底日本人が書いたものには勝てないと思います。私が合格した一番の要因は、自己推薦書がよく書けたおかげだと思います。最初に作文を書いてから大学に提出するまで、先生に何度も直してもらいました。私のもやもやとした「やりたいこと」をはっきりとした「目標」として引き出してくれただけでなく、私の長所を最大限に表現できる綺麗な日本語を教えてくださいました。本当に感謝しています。

日本の大学入試は筆記テストだけではなく、総合的な評価による選考が多いので、普段からしっかり勉強すれば、難関大学に合格することも可能です。大事なことは、夢を諦めずに、常に自分にチャレンジすることだと思います。

武蔵大学 経済学部 経済学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
山形第九中出身

受験のために何かをするのではなく 充実した毎日を送ることが大切です

■志望大に詳しくなるほど

モチベーションが上がります

3年生の6月に武蔵大学の総合型選抜を受験することを決めました。受験内容は国語と数学の基礎テスト、小論文、面接だったので、始めにどの日に何をするか計画を立てて毎日勉強するようにしました。私が受験をするうえで一番大切だと感じたことは、大学のことを隅々まで調べることです。志望する大学は、どのようなカリキュラムがあり、どのような考えを大切にしているのか、他の大学と比べて何が優れているのかを調べることで、その大学に行きたいというモチベーションを保ちながら学習をすることができました。加えて、面接の時になぜこの大学を志望したのかをはっきりと話すことができました。小論文では、回数を重ねるごとに文章の書き方や、自分の考えを文章にすることができたので、繰り返し練習をすることが必要だと思いました。また、世の中では何が起きているのかということや、身近な地域の生活の変化を知るために、新聞を毎日読むことも必要だと思います。

■授業で分からないことは

すぐに解決しました

私が日頃の学校生活で大切だと思うことは、勉強と部活動を両立させることです。どんなに部活動が忙しくても、自宅で勉強する時間を作り、授業の復習をしてきました。大変ではありましたが、次の授業にスムーズに入ることができるので取り組んでいて良かったと感じました。また、私は授業の中で覚えることを意識して授業を受けてきました。特に分からないことがあるまま授業を終えずに、先生や友達に聞きに行くようにしました。分からないことをそのままにしておかないことで、テストや試験への不安が無くなるので積極的に質問することは大切であると思います。

大学受験は本当に合格することができるのかといった不安や、このままで大丈夫なのかという焦りが付きものであると思います。ですが、特別に何かをすることが大切なのではなく、普段の生活をどのように充実したものにしていけるかが大切です。そのため、毎日の積み重ねを意識して生活していくことが必要だと思います。

帝京大学 経済学部 経営学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
横浜 南が丘中出身

明確な目標を持つことにより 面接で一貫性のある返答ができます

■文章を書く力に自信があり
入試に有利だと考えました

私は帝京大学経済学部経営学科に総合型選抜で受験し、合格しました。受験内容は小論文と面接でした。多くの科目がある中で、小論文を選んだことが合格することができた大きな要因だと思っています。もともと勉強は苦手で学力も高いわけではありませんでした。

しかし、文章を書く力は小学校の時から自信がありました。自分の考えを言葉で表現することは得意だと自分でも感じていました。文章を書くことが得意だったので、読む力にも自信がありました。そういった自分の長所を見極めて、得意な分野で勝負することができるかどうかで結果は大きく変わると思います。

面接に関しては将来の目標を持つことができている、そこに向けてどうしていくのかということが自分の中で明確になっていたことも大きな理由だと思っています。目標があるだけで、自分の中での一貫性というのは明確なものになり、それは面接の時に大きく差が出ます。質問に対して返す言葉に一貫性があるだけで、試験官に与える印象は変わると思います。

自分の得意なことでも勝負すること、自分の中で明確な将来の目標をもつこと、これらのことが私が受験を通して感じたことです。

桜美林大学 芸術文化学群 音楽専修に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
仙台第一中出身

面接で明確に意思表示すること 早めの準備が推薦入試突破の鍵です

■将来は芸術文化活動を通し 地域活性化に携わりたいです

高校1年生の頃からオープンキャンパスや大学の合同説明会、さらに大学が主催する模擬授業等に積極的に参加していました。当初は、自分の学びたいことがはっきりと決まっていませんでしたが、一つの学部にとどまらず、様々な大学の学部に通いながら下調べを進めていったため、興味のある学部が増え、大学で詳しく勉強したいという思いがより強くなり、大学進学を考えるようになりました。

私が桜美林大学芸術文化学群を志願した理由は2つあります。1つ目は、芸術分野の専門知識を身に付けられるほか、芸術が現代の社会や地域をどのように結びつけているのかを、学びの中で研究していきたいと思ったからです。さらに芸術文化学群では語学にも力を入れているため、自分の演奏技術を磨く事は勿論、桜美林大学では国籍を越えた人々の交流が盛んに行われているため、そういった方々とコミュニケーションをとる力も身に付けたいと思い、桜美林大学を志望しました。

これまでに私はピアノや合唱、音楽イベントのボランティア活動を通し、音楽に携わる活動をしてきました。最も印象に残っているものは音楽イベントのボランティア活動です。高校1年生と2年生の2年間に渡って参加したこのボランティアでは、自分の周りが30代以上で最初は緊張しましたが、挨拶やお客様への接し方を練習していくうちに、チームワークを高めていくことが出来ました。イベント当日は笑顔でハキハキと仕事をした結果、演奏終了後は多くのお客様に励みになる言葉を掛けていただき、ボランティア同士でも喜びを分かち合うことができました。この経験を生かし、大学生になっても積極的にボランティア活動に参加し、芸術を利用した地域活性化に携わりたいと思います。

■面接では志望動機を明確に 伝えることを心がけました

桜美林大学の受験を考えている皆さんに2つのアドバイスをしたいと思います。1つ目は桜美林大学のオープンキャンパスや受験対策講座に積極的に参加することです。3年生のときは新型コロナウイルスの影響で全てのプログラムがオンライン開催になりましたが、学生の皆さんや先生方とオンライン上で直接話したり聞いたりすることが出来たので、大学の雰囲気や学生の様子を掴むことが出来ました。来年はどのような形で開催されるか分かりませんが、こういったプログラムに参加することで、自分の学びたい事が明確に分かると思うので、是非お勧めします。

2つ目は、受験に必要な出願書類諸々の添削、面接練習等は早いうちから行っておくことです。私は高校3年生の4月に桜美林大学を受験することを決め、そこから一次審査に必要な出願書類の作成に取りかかりました。担任の先生をはじめ3人の先生に添削をしていただいたため、クオリティの高いものになり、一次審査を通過することが出来ました。一次審査通過後は、本格的に面接対策に励みました。はじめに言葉遣いやマナーを教わり、それが出来るようになってから面接ノートの作成に取りかかりました。出願書類をもとにあらかじめ質問と答えを書き出し、自分で練習した上で、3人の先生に模擬面接をしていただきました。面接練習をする上で大切にしてきたことは、自分がこの大学で何が学びたいのかを明確に伝えること、絶対桜美林大学に入るぞという気持ちを持つこと、この2つを大切にしてきました。当日は面接官の前で自分の思いを堂々と伝えることができ、無事に桜美林大学に合格することができました。

受験の準備は早めに行う、面接では自分の思いを面接官にぶつけること、この2つが合格の鍵になると思います。これらのアドバイスが何かのきっかけになれば幸いです。頑張ってください。

桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 アビエーションマネジメント学類に
総合型選抜で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
金津中出身

できることには早いうちから取り組み 効率よく受験準備をしましょう

■卒業後の就職まで考えて 進路を決定しました

コロナウイルスの流行で「夢の職業に就くのが難しいかもしれない」と考えるようになり、特定の分野だけではなく隣接した分野も学べる学群制の桜美林大学を志望大学としました。

桜美林大学の総合型選抜入試は、一次が書類審査で二次は課題図書の内容を含めた面接でした。自宅で簡単に参加できるオンラインでのイベントに何度も参加したり、オープンキャンパスや説明会以外に総合型選抜入試準備セミナーなど入試に生かせるイベントにできるだけ参加するようになりました。そのおかげで、大学側が求めている人材にあった自分の魅力は何か、入学後自分が何をしたいのかが徐々に分かるようになり、それを踏まえた上で、先生方に何度も添削してもらいながら必須書類を作成しました。

私は高齢者施設や児童館、募金などのボランティア活動を積極的に行っていたので、面接の質問がボランティア活動と高校入学時から読み続けた新聞で得た知識を自己アピールや頑張ったことだけでなく、好きな教科や頑張りたいこと、多数の質問につなげることができたと思います。

■1年の時から色々な大学の 情報を集め準備していました

受験をするに当たって、入念な準備が必要だと感じました。桜美林大学を第一志望に決定したのは3年の初めでした。決定には遅い方でしたが、1年生の時からいろいろな大学の資料請求をして、オープンキャンパスに行き、入試内容も気に掛けながら大学選びを行っていたので、一から調べる手間が省け受験の準備にすぐ取り掛かることができました。受験準備では、イベントで見えてきた自分の魅力を生かせるように学校で面接練習をして、臨機応変に答えられるように練習しました。

事前にできることを一つ一つ長い時間をかけてでも準備していくことで効率良く受験までの時間を過ごせると思います。

国際ファッション専門職大学 国際ファッション学部 ファッションクリエイション学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 外国語コース卒
岩切中出身

多くの人と接して様々なものを吸収し 将来像を確立して受験に臨みましょう

■「国際」という言葉について

IBDP で理解が深まりました

私は、総合型選抜を利用して志望の大学に合格することができました。もともとファッションという分野に興味を持っていたため、ファッションに関わることを学べる進学先を志望とし、高校生活を送ってきました。2年次からは約2年間の国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）を受講し、多くのスキルや知識を学びました。そして私が“国際”という言葉に関連したファッションを学べる学校を選んだのには、このIBDPの中で培った、国際的な視野の広がりに関連しています。高校に入学した当初も、国際的な場で働きたいという意思はありましたが、果たしてファッションの業界と具体的にどのように関連し繋がるのか、よく考えていました。具体的にIBDPを受講して何が変わったかという点、“国際”という言葉が多様的に見るということに置き換えて考えるようになったことです。今までの考えでは、“国際”という言葉は色んな国と関わることでありしか考えていませんでした。しかしIBDPの中で、様々な人や国の文化、言語、考えなどを理解し、何より自分とは異なる環境で育った人々と接することで、より多様的に“国際”という分野を理解し、興味を持つようになりました。

■自分の考えを話すことに

慣れていて良かったです

そして総合型選抜の受験時期は、11月にあるIBDPの最終試験に向けてより本格的に準備し始めている時期と重なり、少し忙しさを感じていました。さらに私の志望した大学は、他の大学の総合型選抜よりやや早く、夏休みが明けてからの出願、受験日までの間隔がとても短かったため、面接の練習などができないまま本番を迎えました。そんな状況でも、総合型選抜の面接で大学やファッションに対する自身の意思をしっかりと示すことができた理由は、常に自身の考えを持ち、それを話すことに慣れていたのでです。その場で考えようとせず、自分が考えていることをそのまま話したことで合格することができました。余計な言い回しは要らず、素直に思ったことを話せばいいと思います。

最後に上から目線で申し訳ないですが、後輩である皆さんには、多くの人と接してそこから考え方などの様々なものを吸収して、自身のやりたいことや目指す自分を確立して受験に向かってほしいなと思います。真っ直ぐに勉強せずに遠回りでも、しっかり自己を持って頑張ってください。応援しています。

桐蔭横浜大学 法学部 法律学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
青森 佃中出身

何事も計画を持って行動することの 大切さを受験を通して痛感しました

■自己推薦文の作成に かなり苦労しました

私は桐蔭横浜大学に総合型選抜で受験し合格しました。まず最初に、調査書を発行してもらうために必要な、自己推薦文を書きました。私の中では余裕を持って1ヵ月前から書き始めましたが、なかなかうまくいかず、何回も書き直したため時間がかかってしまいました。調査書を発行するのに約1週間の時間が必要なので出願日の1週間前から準備する必要があります。ですが、私の場合は、自己推薦文の作成に時間を使ってしまい、出願日締め切り2日前に出願しました。自己推薦文の作成は思った以上に難しく、時間がかかってしまうため、なるべく早めに作り始めた方が良いと思います。

■小論文は先生に繰り返し 添削をお願いしました

出願から受験まで1ヵ月以上時間がありました。桐蔭横浜大学の試験内容は、3教科学力テストと小論文と面接がありました。その中で主に小論文と面接に力を入れて対策をしました。私は面接の練習に苦戦しました。練習を始めた最初の頃は、何を言えば良いのか全く分からず、黙りこんでしまうことが何回もあったため、不安になっていきました。小論文は、参考書の問題を解き、先生に見てもらって作業を繰り返し行っていく、回数を重ねるごとに良くなっていったと思います。

受験当日、私は前日泊まっていた場所から電車で移動しました。小論文の問題は「甲子園を開催すべきだったか、中止はやむを得なかったのか」だったので書きやすかったです。面接では約20分ほど行いました。今回の受験でわかったことは、計画を持って行動する、ということです。

城西国際大学 国際人文学部 国際交流学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 外国語コース卒
歌津中出身

入試準備はできる限り早くから始め 万全の状態でご本番に臨みましょう

■ 仙台育英で過ごした3年間で 小論文にとっても役立ちました

私は、総合型選抜で志望大学を受験しました。最初は志望大がなかなか定まらずたくさん悩みましたが、様々な大学のオープンキャンパスや説明会に足を運んでみたり、自分の将来の夢を実現するために何が必要なのか、どんなことを学ぶ必要があるのかなどを調べたり実際に現役の方にお話を聞いたりしながら志望大を絞り込むことができました。試験は小論文と面接にて行われました。小論文は大学側が提示したいくつかのテーマのうち一つを選択し、自分の意見を自身の経験などを交えながら論じるもので、私が選択したテーマでは、自身の考える「コミュニケーション能力」とは何かについて論じる必要がありました。小論文を書くうえで、仙台育英で過ごした3年間の中で得ることが出来た知識や経験がととても役立ったと考えます。高校2年時に海外留学をした際に感じたことや友達と過ごした学校生活の中で感じたことを自身の経験として用いながら小論文を書き上げることができました。面接ではどのような質問にもしっかりと答えることができるよう何度も練習を重ねました。

■ オープンキャンパスは進路に 悩む人を後押ししてくれます

オープンキャンパスなどでは、入試方法の説明の他に過去に面接でどのような質問が出されたのかを教えてくださいました大学もあったので志望大を絞ることができず悩んでいる人は後々受験対策の際に役立つためにも様々な大学のオープンキャンパスなどに参加することが大切なのではないかと考えます。また、自己推薦書の作成などは早め早め書き上げ、先生方にチェックしていただく時間を充分に取ることも大切だと考えます。受験勉強と並行して様々なものを準備したり、資格などを獲得しなければならない必要もあるためなかなか余裕がなくなってしまうかもしれませんが、早め早めの行動を心掛けることで余裕が生まれ万全の状態でご本番に臨むことができると考えます。頑張ってください。

神田外語大学 グローバル・リベラルアーツ学部 グローバル・リベラルアーツ学科に
自己推薦で合格

令和3年3月 秀光コース卒
秀光中等教育学校出身

IB で培ったスキルを本番で発揮でき 試験官の先生に褒めていただきました

■セミナー参加を機に世界の 貧困支援に関心を持ちました

私は将来、貧困に苦しむ子供たちが充実した衣食住や教育を得るための支援をしたいと考えています。そのきっかけは、高校1年生のときに参加した「ふくしまグローバルセミナー」で、NPO 法人の方からルワンダの大虐殺についてお話を聞いたことです。それから、貧困問題と国際支援に興味を持つようになり、それらを深く学ぶことができる大学を選ぼうと思いました。

高校生活では、国際バカロレアプログラムに力を入れました。一般授業は、先生の話聞いてたくさんの知識を身に付けるということに重点を置いていますが、IB の授業は創造力やプレゼンテーション能力、自主性などを身に付けることに重点を置いています。IB の授業が始まったばかりの頃は、授業形態の違いになかなかついていけず、自分の出来なさに落ち込むことが多かったです。それでも、今になって IB で学んだ2年間がとても生きてるなと感じています。

■ IB では正解の無い問題への 向き合い方を考えました

私は大学の一般試験を受験するには、知識の詰め込みにあまりにも多くの時間を要するので、IB を生かすことのできる総合型選抜試験を受験することに決めました。私が受験した大学の試験は、書類審査と面接、プレゼンテーションがありました。プレゼンテーションのお題は「なぜ生涯にわたって幅広い教養を学び続けることが重要であるか」というような抽象的なものでした。ですが、特にプレゼンを作るのに時間もかからず、本番では試験官の先生に褒めていただきました。やはりそれは IB で培った創造性や批判的思考力、プレゼン作りができたからだと思います。IB は答えがない問題に対してどう向き合っていくかという所を強めることができます。ですから、大学で答えのないグローバルな事象を学びたい私にとって IB はぴったりでした。

夢を現実のものにすることは、とても難しいことだと思います。ですが、自分がなぜ大学に入りたいのか、なぜその大学じゃなきゃいけないのかということをも問自答し、一つ一つの物事に意義を見出せば、夢を実現することが出来ると思います。また、何かを達成する時は一人では出来ないですし、どんなきっかけで目標が生まれるかは分からないので人の縁は大切にしながら努力をし続けてほしいです。

清和大学 法学部 法律学科スポーツ法コースに
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
宮城教育大学附属中出身

普段から課題や提出物を完璧に仕上げ 早く提出する習慣をつけておきましょう

■部活動の合間を縫って勉強と 入試対策に励みました

私は大学受験に向けて、日々の時間の使い方について意識しました。私はラグビー部に所属していたため、家に帰る時間が遅く勉強する時間があまりなかったです。さらに私は、総合型選抜で大学受験を受けたので対策する事がたくさんありました。私の場合、面接と小論文と3教科の筆記試験という内容だったので先生に面接練習をしてもらったり毎日、勉強をしたりなど自分で時間の調節をして取り組みました。特に意識した事は面接でよく聞かれる質問をインターネットで調べて、それに対しての自分なりの答えを考えて紙に書き1日1回寝る前に読むことを行っていました。

大学受験を終えて学んだことは、大切な書類は早めに書き終えて提出することの大切さです。日々から、少しずつ課題などといった大事な提出物を完璧に仕上げていると時間にも余裕を持てるようになります。

1, 2年生の時の勉強のおかげで今の自分があると思います。仙台育英を選んで本当に良かったと思っています。

帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 リハビリテーション学科理学療法コースに
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
塩竈第一中出身

一つの経験からできるだけ多くを学び 得たものを様々なことに生かしましょう

■部活動で専門職の方々と 接し知識を増やしました

私の目標は「理学療法士として幅広い年代に寄り添う」ことです。そのため、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができる大学を探しました。なぜ専門学校ではなく大学を志望したのかというと、大学の方が専門学校に比べて様々な学部があり、専門分野以外の知識を知ることができると思ったからです。

私が大学進学を目指したのは、小・中学校の時に受けたリハビリテーションで憧れを持った理学療法士の理想像により近づくことができるカリキュラムが組まれている帝京平成大学を見つけたからです。

大学合格に向けて日頃の部活動や学校生活で心がけたことは、たくさんの人と話す機会を自分で見つけて話すことです。特に私の所属していた硬式野球部では、毎月アスレティックトレーナーや理学療法士、時には管理栄養士といった体や栄養の分野で専門職に就いている方達と話をすることがありました。その時に自分から質問をしていくことで少しずつ知識を得ることができたことが、面接試験の時にニュースの質問などに答える時の材料調べにとっても役に立ったと感じています。また質問や話し合いを積極的に行うことによって様々な人に対するコミュニケーション能力を高めることができました。

■オンラインミーティングは 貴重な経験になりました

この3年間を通して、新型コロナウイルスによって最後のセンバツ大会や最後の選手権大会が中止になり、いつもどおりの体験ができなくなったことが心残りですが、それ以上にオンラインでのミーティングを通してたくさんのお話を話し合い、いつもどおりではなかったからこそその経験をすることができました。そのことから何を学ぶかが一番大切だと思っているので、一つのことからたくさんのことを得て、試験や様々なことに活かして下さい。

名古屋学院大学 外国語学部 英米語学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
タイ出身

語学力とコミュニケーション能力を 大学で磨き国際社会で活躍したいです

■サッカー部と勉強の両立は
大変でしたがやり遂げました

大学進学をめざした理由は、英語を勉強するだけでなく、英語コミュニケーションや英語ビジネスに学習でき、少人数制による英語教育を行い、自分の考えを的確に表現できる高度な英語コミュニケーション能力を向上する機会があり、学部生の半数以上が留学を経験し、実践的な英語力と異文化への理解力を身に付けることができるという点に魅力を感じたことです。外国で働くためにはいろいろな言葉や文化を持つ人たちと協力したり、また競い合ったりしなくてはなりません。英語を学ぶだけでなく、人間関係を大切に、国際社会で活躍できる人になりたいと考えています。

高校で頑張ったこと、私はサッカーについて学びたいと考えていたのでサッカー部に入部し、毎日トレーニングに励みました。英検2級も取ることができました。部活動と勉強の両立はとても大変でしたが、文武両道に取り組んだことが役に立ちました。

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 スポーツ学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
利府中出身

志望理由書を具体的に書いたことが 面接練習でも役立ちました

■スポーツに関する資格を
大学で多く取得したいです

私はスポーツトレーナーになることが夢だったのでスポーツのことを学べる大学を探していました。しかし大学生生活の4年間を過ごすうちに、自分の将来の夢が変わる可能性もあるのではないかと考えました。そこで、幅広くスポーツを学べることができ、様々な資格を取ることができる大学を探していました。その時、見つけた大学がびわこ成蹊スポーツ大学です。

私が大学を受ける際の入試方法は、総合型選抜です。私の試験方法はA日程とB日程を受けて、A日程では伝えられた課題のプレゼンテーションと面接、B日程では小論文と面接でした。どれも初めての経験でしたが、友達や先生などに助けをもらいながら試験に臨む事ができました。中でも志望理由書に力を入れたことは後になってからとても生きてきました。志望理由書で意識したことは「具体的に書くこと」です。この「具体的に書くこと」を意識したおかげで面接練習がスムーズに進みました。それは事前練習があったからです。内容は志望理由書を元に面接で聞かれそうな質問と、その答えを考えて面接練習をしていたからです。

大谷大学 文学部 真宗学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
東華中出身

総合型選抜で求められるのは 具体的な将来像を描いていることです

■ 仏教と児童教育の両方を 学べる大学を探しました

私は実家が寺院の家系であったため、大谷大学の真宗学科に進学しました。私の場合は家柄のこともあり、ある程度大学が絞られました。ですが、私自身は児童関係の仕事をやりたいという思いもありました。それで絞られた大学の中で家のためにやっておくべき勉強と、自分が将来やりたい事の為の勉強をどちらもできることを重視して選びました。

私は総合型選抜で受験をしました。まずは総合型選抜で何が求められるのかを理解することが大切だと思います。私の考えでは総合型選抜で重視していることはその人が大学の理念に適した人間であり、大学での勉強や取得した資格を使って将来の自分がどのような仕事してどのようになっていきたいのかを現時点でどれくらい見据えられているのかだと思います。より細かく考えていけば有力なものになっていくと思います。なので、それを意識して準備を進めましょう。

■ 常にアンテナを張り自分が今 やるべきことを考えましょう

総合型選抜では上記のことが重視されると言いましたが、受験資格を得るためには大学が設定した基準以上の評定が必要になります。そのため日々の授業態度や提出物、定期テストが重要です。意識して取り組むべきでしょう。総合型選抜の受験内容は大体小論文と面接です。どちらも事前にどれだけ対策を行ってきたかが重要になってきます。小論文はまず志望する大学の過去の課題文を取り組み、出題傾向を把握しつつ自分の文章と模範解答を比べて点数を高くできる書き方にしていきましょう。先生方に添削してもらうのも上達への近道です。面接はあらゆる質問パターンを予想しておきましょう。質問の数よりも、自分が答えた内容から深く掘り下げられることが多いので、対応できるように事前準備が大切です。それでも予想外の質問が来る場合があります。決めておいた返答に頼りすぎると返って柔軟性を失ってしまいます。難しいですが、その場で考えて話す練習も重要になってきます。

コロナの影響でどうなるかわからない状況が続きます。世の中状態にアンテナを向け、今やるべきことを考え少しでも自分が納得できるものにしていってください。

東北芸術工科大学 デザイン工学部 企画構想学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
五橋中出身

受験を支えてくださる先生方を頼り 充実した学校施設を活用しましょう

■皆で一つのものを作ることが 幼い頃から好きでした

私が進学する東北芸術工科大学は、世に言う「美大」で少し特殊な大学です。さらにはなぜ「企画構想」という学科を選んだかという、過去にイベントを通して精神が救われた体験や、商品開発やイベント企画立案の職に就かなかったなど理由はありますが、一番は幼い頃から人と接して物事を作っていくことが好きだったからです。カリキュラムや教授の方々も魅力的で「どうしてもこの大学へいきたい」と高校1年生の夏に思い立ち、それから受験がスタートしました。

入試で最も重要なことは、「自分をよく知ること」だと思います。一見簡単そうに聞こえますが、実は難しいです。自分は今まで何を学んだのか、どんな特性を持っているのか、そしてこれからどんな人間になりたいか。自己分析をして自分の言葉で具体的に相手へ伝える、そこが出来ると自ずと道筋が見えてきます。また、総合型・学校推薦型・一般に関係なく高校生うちにたくさんの経験をしてほしいです。勉強はもちろんですが部活動や課外活動、趣味が進路に繋がったり、志願書のヒントになったりします。私自身、所属していた演劇部や生徒会での経験がエントリーシートに繋がる部分が多く、とても役立ちました。

■面接などでは熱くなりすぎず 大学への思いを伝えましょう

試験内容はエントリーシートなどの提出物だけでなく、面接やディスカッションも大切です。しかし今年はコロナ禍で迎えた入試だったため、オンライン面接のみでした。面接では提出物の記述と口述に齟齬が生まれないこと、話す速度やトーンに重点を置いて対策しました。対面は紙面よりも自分の情熱をより伝えるチャンスです。熱くなりすぎず、自分の大学への思いを伝えましょう。

学校の先生方には大変お世話になりました。提出物も面接も前日まで一緒に考え、アドバイスをいただいたおかげでよく練られたものになったと思います。助けを求める生徒に惜しみなく協力してくれる先生や施設がこの学校にはたくさんあります。目一杯それを活用してください。そして進路や目標に向かって突き進んでください。皆さんの望む道に行けるように応援しています。

東北芸術工科大学 芸術学部 歴史遺産学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 通信制課程卒
高崎中出身

どうすればよいか悩んだときは 迷わず誰かに相談しましょう

■面接練習は必ず誰かと行い アドバイスをもらいました

私は、東北芸術工科大学を総合型選抜〔専願型〕で受験しました。試験の内容としては、指示されたテーマについてのポートフォリオの発表と面接です。ポートフォリオは、色々な方にたくさんお話を聞きました。そうすることで、様々な意見を知り、それを踏まえた上で自分の意見や考えを見出しました。自分が感じたことをそのまま書くのが大事だと私は思います。発表の際意識したことは、相手に分かりやすく伝えることです。相手に興味を持ってもらえるように、大事だと思ったことは強調したり、聞こえやすいようにするなどの工夫をしました。面接は、とにかく誰かと練習することが大切だと思いました。一人で練習することはもちろん大切ですが、相手に話をする練習はもっと大事でした。問いかけられたことに対して返答する、そしてその返答はどうしたら良くなるかアドバイスをもらう、というのを繰り返していました。試験日が近づいたら、先生に面接練習を毎日お願いするべきだと私は感じました。一日でも練習をサボってしまうと、上手くつかんだはずの面接の感覚を忘れてしまうからです。ポートフォリオの発表も同じく、毎日行っていました。

■面接中は表情だけではなく 心の中でも笑顔でいましょう

総合型選抜を受けるにあたって、全体的に大切だと感じたことは、色々な人に協力してもらうことです。学校の先生や両親など、出来る限り多くの人に手を貸していただいたおかげで、私は合格できたと思っています。あとは、行動するなら早めに越したことはないということです。どうすれば良いか一人で悩んでいても、どうしようもないので、そんな時は誰かに相談しました。ポートフォリオに中々手がつけられないでいるより、早く進めた方が手も打てるかと思っています。最後に、面接はとにかく笑顔でいるということです。無表情でいるよりも、試験官の方に好印象を持ってもらえるのはもちろんですが、自分の精神面でも笑っていることは大事かと思っています。

東北芸術工科大学 芸術学部 美術科洋画コースに
総合型選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
蒲町中出身

先を見据えて時間を大切にし 今できることに取り組みましょう

■ 油画を本格的に学ぶため 美大進学を決意しました

私は1年生の秋に美大へ進学しようと決意しました。それ以前は将来の夢のこともあり法学部への受験を考えていましたが、本当に学びたいことを大学で学ばなければ後悔すると思い、幼少期から興味があった美術、特に油画を専攻できる大学を探し始めました。

油画科では実技が重要なことが多く学科が少ない受験方法もありますが、もちろん並行して勉強はすべきです。私が受験した洋画コースの総合型選抜はコロナの影響で変更しましたが、油彩制作・面接・作品、ポートフォリオの提出でした。しかし中学校からずっと陸上部だったため、高校や中学で美大受験のつてがありませんでした。そういった場合は早めに行動した方が良いでしょう。私は2年生の春休みに美術予備校の春期講習に申し込み、4月から通い始めました。それと同時に大学を調べたり資料請求、オープンキャンパスや卒展へ行くなどして東北芸術工科大学への受験を決めました。

■ 陸上部と絵画を描くことを 両立でき自信になりました

デッサンや油画の知識は0からのスタートでしたが時間を無駄にせずコツコツと描いていれば必ず上達します。制作意図、こだわりなどを持って描けるようにするとポートフォリオも本番もうまくいくはずですよ。東北芸術工科大学は受験生の内面を重視するので、しっかり自己アピールすることが大事です。私は陸上部に所属していたので、そこで得たことや、日々の練習と絵を描くことを両立させたタフさ、大学入学後と将来の目標をアピールしました。自分の考えを持ち、具体的なビジョンを描けていればきちんと評価してもらえます。実際に面接を受けて感じたことは、自分が何をしたいのかどうなりたいのか、自分の強みは何なのかを理解し述べられるようにした方が良いということです。

最後に、高校生活をなんとなくで過ごさず先を見据えてその時にできることをしていきましょう。今回の新型コロナウイルス流行でたくさんの制限がかかり、早めに対策していた人とそうでない人の差が如実に出ていたように感じます。感染症に限らず、先のことは誰にも分からないので時間を大切に生活した方が後悔は少ないです。その時間が自信にも繋がると思います。ひたすらデッサンと油画を重ね自分を信じて受験に臨みましょう。

東日本国際大学 経済経営学部 経済情報学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
将監中出身

早い段階から将来の夢を深く考えて 受験について理解を深めておきましょう

■スポーツチームの運営を学び

球団職員になりたいです

私が東日本国際大学を志望した理由は将来の夢に近付けると考えたからです。私はプロ野球の球団職員になりたいという目標があり、経済経営学部経済情報学科スポーツマネジメントコースでは、スポーツ経営学や地域スポーツ経営論などスポーツチームの運営について深く学ぶことができます。また、就職のサポートが充実しています。就職活動が本格化する前に短期間企業で仕事を体験し、業界や業種に具体的なイメージを持つことができるインターシップでは、地元クラブのいわきFCの運営を体験することができます。これらの夢に近付ける環境が整っていることが東日本国際大学の魅力だと思いました。

■顧問の先生にも進路を相談し

自ら情報収集をしましょう

東日本国際大学経済経営学部経済情報学科の総合型選抜の受験内容は面接と小論文でした。小論文は東日本国際大学のホームページに擬似問題が記載されているので、それで小論文の練習をしていればできると思います。

私は9月に硬式野球部の練習に参加しました。守備やバッティングをした後に監督と面談をしました。練習の感想や将来の夢について話しました。将来の夢については詳しく聞かれたので深く考えておくべきだと思いました。また、東日本国際大学の総合型選抜の出願は9月上旬に必着でかなり早いので、自己推薦文を早く進めておきましょう。

東日本国際大学を受験するにあたって大切だと思ったことは早く準備をしておくことです。部活動の顧問の先生と話し合ったり大学のホームページやパンフレットに目を通して早い段階で理解を深めておいたほうが良いと思います。

東日本国際大学 経済経営学部 経済経営学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
八軒中出身

野球を通して地域社会との触れ合いや 社会人としての準備をしていきたいです

■先生から野球をすることの
意義を教えてくださいました

私が3年間努力したことは、硬式野球部の活動です。甲子園で優勝したいという夢を持って入部しました。

1年生の時に須江先生から高校野球をやる意味や、誰の為にやるのかなど野球の技術以外の事を教えていただき、野球を通して地域の皆さまと感動を分かち合うことの大切や、社会に出る準備をしている場ということを知ることができました。

3年生では、コロナウイルスの影響でセンバツ中止、夏の甲子園の中止などがありました。宮城県独自の大会を開いていただきました。特別ルールにより毎試合メンバーの入れ替えができ、3年生全員がベンチに入り、試合に出場することができ3年生全員で思い出を作ることができました。

大学に進学後も野球を続けたいと思っています。野球だけではなく、高校野球で学んだ、地域の皆さまと感動を分かち合うことや、社会に出る準備というものを忘れずに充実した大学生活を送れるようにしていきたいと思っています。

東北学院大学 経済学部 経済学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
古川西中出身

受験対策で培った様々なスキルを 大学生活でも活かしていきたいです

■長い通学時間を活用して 単語や公式を覚えました

1年生の頃から総合型選抜での受験を目指していたので、評定を上げるため3年間で通学時間を有効活用すること心がけました。長距離通学だったので、家での勉強時間を十分に取れない分、通学時間で単語を覚えたり公式を覚えたりしていました。

私は将来、経済的に苦しんでいる子どもを助ける仕事に就きたいと考えているので、経済について様々な視点から学べる経済学科を志望しました。受験ではグループディスカッションと面接、小論文があったので、対策として受験の半年前からニュースや新聞をよく読み、現在の社会問題や経済について理解を深めました。

■入試対策を通して経済の 知識が豊富になりました

エントリーシートには志望動機の他に、探究学習がありました。調べる内容は自由でした。私は歴史にも興味があったので、日本の経済の歴史の中で一番興味を持った「昭和恐慌」について調べました。図書館に行って経済史の本を借りたり、インターネットを使って調べました。初めて経済について深く探っていったので様々な経済用語が身に付き、歴史上の経済に関わった人物を覚えることができました。

面接練習は複数の先生方に付き合ってくださいました。回数を重ねることによって緊張することも無くなり本番でも落ち着いて面接をすることができました。

グループディスカッションは難しい題材が出たので緊張してしまいましたが、自分の身に付けた知識を生かし意見を積極的に発言できたと思います。

小論文では試験の1ヶ月前から過去の題材で練習を重ねました。元々、文を書くのが苦手だったので始めは時間がかかり、まとまりの無い文でしたが何度も練習してるうちに時間内に書けるようになり、思考力が高まっていくのを感じました。

このように受験に向けて様々なことに取り組み知識を得て、力を付けたことが合格に繋がったのだと思います。受験対策で培ったスキルをこれからも活かして行きたいです。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
東豊中出身

総合型選抜では自分をアピールできるので 本番では自信を持ち堂々と話しましょう

■幅広い関連知識を習得し

建築士の夢を叶えたいです

私が東北学院大学工学部環境建設工学科を目指したのは、小学生から持ち続けていた建築士の夢を叶えたいと思ったからです。ある番組で相手の要望に応じて、住みやすい家に改築していくのを見て、自分も同じような建築をしたかったことがきっかけでした。東北学院大学工学部環境建設工学科で土木、環境、建築の3つの分野を学ぶことと専門的な知識を深く学ぶことに魅力を感じたので東北学院大学を目指しました。1年生から大学に進学することを決めていたので高成績の維持に努めてきました。毎日の授業や家庭学習を続けてきたことが合格につながったと思います。

■探究活動の題材を前もって

調べておくとよいです

総合型選抜は、1次試験に面接があり、2次試験に小論文がありました。今回はコロナウィルスの関係で2次試験の面接が1次試験でA・B判定の人は省略されました。今後、どうなるのかは分かりませんが、1次試験でA判定を取ればとても有利です。

私が総合型選抜に向けて取り組んできたことは、担任の先生との面接練習と小論文のネタになりそうなニュースを調べること、読書です。1次試験の面接は30分です。数字を見てみると長いですが、本番はあっという間に終わりました。面接練習は、担任の先生が過去問を用意したのでそれを基に対策を練りました。今年度から探究活動というものが加えられたので、しっかり発表できるように先生からアドバイスをもらいました。自分の興味のある分野も題材にできるので、深く調べておくといいと思います。口頭試問は基礎的な問題のはずだと思しますので、落ち着いて解いて下さい。年によっては物理学者などが聞かれるのでマークしておくといいと思います。面接は自分の思っていることをストレートに話すといいと思います。小論文はたくさん練習して、慣れるように過去問を解きました。総合型選抜は自分をアピールする場所なので堂々と話し、自信を持って受けてください。

東北学院大学 教養学部 人間科学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 秀光コース卒
秀光中等教育学校出身

発表したりエッセイを書くなどの DPの授業が受験に活きました

■ DPを最後まで頑張れたのは 先生方に相談したからです

私は将来、公認心理師の資格を取得し病院などで働きたいという目標があります。日本は、カウンセリングにマイナスのイメージを持っている人が多く、なかなか普及していないのが現状です。そのような状況を変えていく必要があると考えるようになったのは、DPの授業を受けるようになってからでした。高校2年生から始まったDPの授業は充実していましたが、想像していたよりも大変で精神的に辛くなることもありました。そんな時に、各教科の先生がお話を聞いてくださることがあったおかげで、約2年間のDPを最後まで頑張ることができました。このような経験もあり、どんなに些細なことでも誰かに話すことで気持ちが楽になることがあると実感しました。これが、心理職に就きたいと改めて考えた出来事です。

また、オープンキャンパスは将来について考えるためにも参加して損はありません。高校2年生の夏のオープンキャンパスに参加した際、心理学とIB特有の科目であるTOK（知の理論）はとても関連性があることに気付きました。この気付きは、DPでの授業が将来につながると思えたのと同時に、大学へ進学し心理学について学びたいと、自分自身のやりたいことを考える機会になりました。

■ 自己アピールは志望動機との 関連性を盛り込みましょう

志望大学を決定してからは、夏休み頃からエントリーシートの作成に取りかかりました。東北学院大学のエントリーシートは表と裏で、とても項目が多い印象がありました。しかし、先生方に添削して頂きながら、完成させることができました。面接練習では、約1カ月前から練習を始めました。先生方のサポートや、DPでの人前で話すという経験もあり、当日はあまり緊張せずに試験を受けることが出来ました。小論文は、普段DPで書いていたエッセイとは少し焦点を変えなければいけないところが難しかったですが、ひたすら書いて、添削して頂き、本番は余裕を持って挑むことが出来ました。

総合型選抜での入試は、自己アピールできるところと、そのアピールポイントが、受験する大学とどのように関連しているのかを伝えるということが大切だと思いました。目標を達成できるように頑張らつつ、時には息抜きも大切ですよ！

東北学院大学 教養学部 言語文化学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 外国語コース卒
多賀城第二中出身

先生方に自分から助けを求めたことが 総合型選抜で合格できた秘訣です

■コミュニケーション能力が 仙台育英で向上しました

私は大学を決める際に全く悩みませんでした。行く大学を悩んで選ぶというよりは、もう私にはここしかないだろうという直感みたいなもので決めました。私自身が将来持つておくべき能力は何かと考えたとき、英語や第二外国語を使ったコミュニケーション能力だと思いました。私は総合型選抜で受験したので小論文と面接がありました。推薦入試である上に私が選んだ学科は募集人数がとて少なく、厳しい状態でした。しかし、私がこの形態を選択できたのは仙台育英で自信をつかめたからだと思います。私は総合型選抜に向けて自分をアピールできるように努力しました。自分を売り込みながらも、ただの自慢には聞こえないよう慎重に方法を模索しながら、面接対策を行いました。練習では顔見知りの先生以外にもお願いしました。時間を見つけて面接練習をお願いしたり、平日だけではなく休日も学校に行って面接ノートを作ったりしました。

また、小論文の過去問題に取り組むために、外国語コースだけではなく、英進進学コースの先生にアドバイスを頂いたり、先生方には凄く力を貸してもらいました。私が受験勉強の時学んだことは、人との関わりの大切さです。総合型選抜は一般選抜と違って一人で出来ることがあまりありません。総合型選抜で私が合格することができたのは、自分から助けを求めることが出来たからです。沢山のひとと仙台育英で会い、関わっていく中で我が儘になれました。自分の意思を強く持った上で相手の意見も受け入れることで、何が自分のアピールできることなのか、他者と上手く関わることで得られる力などを見つけられました。このようなコミュニケーション能力の向上が合格できた要因だと思っています。

■外国語コースでの経験が 今の私を作ってくれました

総合型選抜では資格がなければいけない、受験には絶対に必要だ、というわけではないと思います。担任の先生や多くの先生はあると良いと言いますが、私は英検などの資格を持たずに受験を受けました。資格は確かに能力を証明するためになくてはならないものかもしれませんが、しかし、大学合格に必要なことは総合型選抜では、自分自身を魅力的に見せる文章と話術だと私は思います。だからこそ、仙台育英での生活の中でコミュニケーションの奥深さを知ってください。自分自身の得意なところをもっと得意にしてください。自分のコースだけに閉じこもらないで、他のコースの人とも関わってみてください。仙台育英でオンリーワンになったら新しい世界に出会えると思います。私が総合型選抜を受けようと思ったのは、外国語コースでの生活や3ヶ月の留学で見つけた、もっと学びたいと思えたこと、吹奏楽で得た音楽を使ったコミュニケーションの方法を知ることができたからです。一つひとつのパーツが今の私を作りました。学んだことや得たものを一つひとつ振り返ってみると、中心には言語とコミュニケーションがありました。私が仙台育英で過ごした3年間で、人と違うね、と言われることが嬉しく感じるようになりました。「人と違うこと」を見つけるために沢山学んでください。これから何をやりたいかきっと見えてくると思います。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
大衡中出身

自分が納得できる進路に進むためには 日々の積み重ねが最も大切です

■医療ソーシャルワーカーを 目指せる大学を選びました

私は将来医療ソーシャルワーカーになりたいという目標を持っており、福祉について深く学びたいと考えていたため、東北福祉大学に進学することを決意しました。

高校時代、私は吹奏楽部の部長として一生懸命活動してきました。活動する中で、意見の衝突や部内での問題がたくさんあってとても大変でしたが、一人一人の意見を尊重し、部長として部内の課題発見・解決に向けて頑張りました。私が大変お世話になった仙台育英吹奏楽部顧問の先生と東北福祉大学の吹奏楽部顧問の先生との縁もあり、推薦をいただいたので総合型選抜スポーツ文化という入試方法で受験をすることになりました。

■小論文は特定の先生に絞り ご指導いただきました

この入試では面接・小論文・実技試験が行われます。面接対策は担任の先生だけでなく多くの先生方に見てもらい、何度も練習することが一番良いやり方だと思います。特に普段関わりのない先生との練習は、本番さながらの緊張感で行うことができ、とても良い練習になります。小論文対策は面接対策と反対に、自分が見ていただきたい先生を一人に絞り、その先生だけに教えていただくというやり方を行っていました。そして実技試験は基礎からしっかりとやり直し、毎日練習をして少しずつ積み上げていくことが重要です。これらのやり方に限らず、自分に合った方法を見つけ、対策をしていくことが一番ベストであると思います。

ただ、受験勉強中や面接練習中などの期間のみを頑張っても、自分が納得する結果は出ないのではないかと思います。最も大切なのは、3年間の日々の積み重ねです。これから一日一日を大切に、日々努力して頑張ってください。そしてどんなことがあっても、仲間を大切に生活してってください。応援しています。

東北福祉大学 総合福祉学部 福祉行政学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
高砂中出身

仙台育英は行動し知識を深めるための ノウハウを得られる環境が整っています

■大学合格に対して一一倍 強い思いがありました

私は高校受験の時、公立高校の受験に落ち、特別進学コースの試験にも落ち、スライドで英進進学コースに入学しました。入学当初から敗北感や劣等感を引き摺っていたので、人並み以上に大学合格を求めていたと思います。

ある意味「執念」とも言えた大学合格という目標。これが実現できたのは、2つの行動があったからだとは思っています。

一つは、仙台育英獅子太鼓部での活動に、目的意識を持って精力的に参加したことです。皆さんは日々の勉強や部活、些細な仕事に対して目的意識をもっていますか？ 総合型選抜で自己アピールすることは言わずもがなですが、そのアピールの中で、「どんな目的を持っていたか」「その目的を達成するために何をしたか／したいか」そして「目的を達成した後どうするのか」の3つを含めて、これまでの実績をアピールできるかが求められます。

私はこの3つを獅子太鼓部の諸先輩達から学びました。人数や物品・時間等に制限がある中で、質の高い舞台を演出すること、それを実現するために繰り返し練習すること、練習過程で培った技術や意志を次の世代へ継承させていくこと、というように、「起承転結」を彷彿とさせる行動を起こし、妥協なく取り組んでいくことが、自分自身を高めることに繋がります。

■最後まで努力を続けた人は 成長できると信じています

もう一つは、知識を成熟させることです。今年は大学入試制度改革と相まって、特にこれが不可欠だったように思えます。東北福祉大学の総合型選抜には、学部学科毎の学力試験が導入されました。私が合格した学科は政治経済と英語の試験があり、加えて学部毎の課題と面接がありました。試験は高1～3年までの内容が問われ、各学部毎の課題、面接は個人が持つ知識を最大限に活用しなければ乗り越えるのは難しいものでした。入試以前の私は、学力も含めて中途半端な知識しか持っていませんでした。しかしながら、部活で出会った先輩方や同期のメンバー、クラスメイトや中学までの友人達、仙台育英の先生から、入試のデータや福祉に関する知識、学習面での課題や予備知識を学んだことによって、中途半端に留まっていた知識が深められ、面接や学部毎の課題を乗り越えることができました。

一つの分野に対して知識を深めること、自分を見つめ直し、どんな特徴があるか、を明確化することというのは、受験期で誰もが相対する壁です。その壁を乗り越えたとき、やがて糧となり、自信が付いていきます。

目的意識を持って行動を起こすこと、知識を深めること、一見すれば誰もができるようなことですが、それを現実にするには人並み以上の時間が必要です。仙台育英には、そのノウハウを得られる環境がたくさんあります。

そして最後の最後まで泥臭く堅実に努力を続けて来た人たちが、誰よりも成長できると私は信じています。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 情報福祉マネジメント学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
岩切中出身

高校では目標が定まらなかった ので 大学でスキルを磨き将来に備えたいです

■将来必要になる IT 分野を 大学で深く学びたいです

私は東北福祉大学を総合型選抜で受験し、無事合格することができました。私は、総合型選抜を受けるために、テストで赤点を取らず 60 点以上を目指し勉強していました。

高校入学時は進路の事など考えてもいませんでした。しかし、時間が過ぎていくにつれて、進路の事について考えていくようになりました。最初は、専門学校に進学しようと思っていましたが、特にやりたいこともなかったので、今やりたい事ではなく、将来必要になることを学べる大学へ行こうと考えました。そこで2年生の時に東北福祉大学へオープンキャンパスへ行き、今後必要になる PC スキルを学べると知りこの大学へ進学しようと決めました。

■放課後に図書館で プレゼン資料を作成しました

試験は2回ありました。1回目は筆記と面接、2回目は、プレゼンテーションと面接でした。面接はどちらも15分程度でした。筆記は、国語、英語でした。国語は主に要約でしたが、英語は選択でした。プレゼンテーションは受験日の1か月前くらいから取り組み、4人の生徒と二人の面接官の前で発表しました。放課後は図書室に行き毎日プレゼン用の資料を作成していましたが、そのおかげで少し PC を使えるようになりました。

これからも気を抜かず頑張っていきたいと思います。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 情報福祉マネジメント学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
中野中出身

入学時から熱心に授業に取り組めば 進路を変えても十分対応できます

■授業で基礎から学べたので しっかり学習できました

私は高校入学時、仙台大学の現代武道学科を受験し、消防士になろうと考えていました。けれども、コロナウイルスの騒動で、公務員や消防士になる人が増えると考え、高校3年の5月頃に志望大学を変更し、就職時に役に立つパソコンスキルを身に付けるため、東北福祉大学の総合マネジメント学部情報福祉マネジメント学科に総合型選抜のI期を受験しました。

受験内容は、1次試験が英語・国語の筆記試験と面接20分、2次試験がプレゼンテーション発表15分、質疑応答5分と面接15分程度でした。中学生の時は勉強が苦手でしたが、フレックスコースは基礎的なところから授業が始まるので、授業に付いていくことができ、3年間しっかり勉強していた事で、1次試験を合格することができました。2次試験のプレゼンテーションでは、プレゼンの資料を作成するのは初めてでしたが、わからない事はインターネットや本で調べて、何回も練習したため、試験の時にはうまく発表することが出来ました。

■急遽筆記試験を受けましたが 焦ることはありませんでした

私が受験に成功した一番の勝因は、高校に入学してから3年間しっかり勉強していたからだと考えています。高校の3年間で、将来なりたい職業が変わり、志望大学も変わる可能性があります。実際にコロナウイルスの感染拡大があり、志望大学を急に変更し、筆記試験がある試験を受験しました。

このような事から、高校生活の3年間は何か起こるかかわからないので、フレックスコースに入学する予定の人は、最初の授業からしっかり勉強しておけば、志望大学の急な変更があったとしても対応できると考えます。

東北福祉大学 教育学部 教育学科初等教育専攻に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
志波姫中出身

高校生活で自分の意見を周りに伝える コミュニケーション能力を養いましょう

■教諭が働く現場を見学し 理想像がはっきりしました

私は総合型選抜で東北福祉大学を受験しました。選抜方法は一次試験が国語、英語の筆記試験と面接、2次試験がプレゼンテーション、グループディスカッション、レポート提出、面接でした。

総合型選抜では自分が考えていることを相手に伝えるコミュニケーション能力、どれくらい深い問題について考え、自分の意見をまとめてくるかが重要だと感じました。面接やプレゼンテーションでは専門的な問題について問われ、自分の意見を伝えます。その場しのぎはできませんから、あらかじめ自分の意見を持つ必要があります。私は実際に教育現場へ見学に行き、教諭とはどのようなものかを肌で感じ体験してきました。見学をしてみると自分で考えていた教諭の一日と違う部分もあり、自分の理想の教諭像を見つけることができました。見学へ行き感じたことをまとめ、レポートを作成しプレゼンテーションを行いました。

■本番では大学の印象を 先にまとめておきましょう

面接は量も質も大切です。面接時間が20分間あり、たくさんの質問を深く聞かれます。面接で問われるコミュニケーション能力はすぐに得られないので高校の3年間で自分の意見を友達や先生にしっかり伝えることをおすすめします。伝えたいことを丸暗記ではなくポイントを抑えておいたので、当日緊張してもスムーズに伝えることができました。大学について調べ、大学の特徴や大学に実際訪問してみても感想も考えておくといいと思います。また、自己アピールのため自分の強みを理解しておくとおアピールしやすくなります。私はダンスやピアノを習っていたため、運動や音楽を使って子供たちの個性を伸ばしてあげられるのではないかと、実際に教育現場に足を運んだ行動力を強みとして面接へ挑みました。

総合型選抜を受ける方は筆記試験以上に、普段の生活に関わることが大切であるということを忘れずに頑張ってください。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 特別進学コース卒
長町中出身

思い切って挑戦したことが高校生活にも 受験にもプラスになりました

■友人の誘いで始めた部活動が 一番の思い出になりました

私は大学進学の方法として総合型選抜を選択しました。自分が周りの人に比べて高校3年間で頑張ったと思える事を考えた時に、よさこいや生徒会、それを通してのボランティア活動などが浮かび、それらの経験を最大限活かそうと思いました。

まずは自己アピールを考えるとところから始まりました。生徒会役員やよさこいチームに所属していたので、幸いアピール材料には困らずに順調に進んでいきました。この時に私が思ったのは、「これまでチャレンジし、努力してきた事は無意味じゃなかった」ということです。私は生徒会もよさこいも一人の友達に誘われて始めました。活動が楽しくなり、いつの間にか自ら努力して活動の幅を広げていきました。些細なきっかけで始めた事がどんどん楽しくなり、気付けば高校生活で一番の思い出になっています。そして、それを大学進学に役立てることができました。少しの勇気は様々な経験を私にもたらしてくれました。

■自信がありました合格して やはり凄く嬉しかったです！

続いて始まった小論文練習。大学から貰った過去の小論文問題を解き、先生に添削してもらう日々、答えが分からない小論文に苦戦しながらも、なんとかやり切りました。これを経て書いているこの「合格体験記」は、昔の自分と比べて文章力が上がっているのではないかと感じています。

そして迎えた当日。練習の甲斐あって、小論文を無事に書き終え、残すは面接のみとなりました。先生との練習を思い出し、聞かれた事にしっかりと答えるということだけを考えて臨みました。出せるものはすべて出し切れたので、後は結果を待ち、喜ぶだけ。そのような気持ちでいました。発表の日、大学のホームページには私の受験番号が。「そりゃ合格だろう」という気持ちと「合格してよかったな」という安堵の気持ちが入り混じった変な感情でした。自分のやってきた事が評価された気がして、凄く嬉しかったです。

東北工業大学 ライフデザイン学部 産業デザイン学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
涌谷中出身

面接や小論文は先生方にどんどん相談し アドバイスをいただきましょう

■指定校推薦枠を逃してしまい とても後悔しました

私はもともとは総合型選抜で大学に進学しようとは考えておらず、指定校推薦で東北工業大学へ進学しようと考えていました。

ですが、どちらの進学方法でも必要となっていたのは資格でした（持っているとう利になるという話なので、持っていなくても頑張ればなんとかなります）。私は色彩検定を受けて資格を取ろうと1月から4月ぐらいまでは、ずっと検定用の勉強を続けていましたが、その時期は新型コロナウイルスが広まり始めた頃で多くの検定試験が中止になってしまいました。私の受けようとした検定試験も中止になってしまい、計画が変わってしまったため私はひたすら学力を上げることにしました。そうすれば指定校推薦の推薦枠をめざすことができると思ったからです。

東北工業大学ライフデザイン学部に入るためぎりぎりまで勉強をした私でしたが、あと一歩及ばず指定校推薦の枠を逃がしてしまい指定校推薦は諦めざるを得ませんでした。皆さんも日々の勉強を怠らないように注意してください。総合型選抜でよく必要となるものは上手に小論文を書く力です。小論文なんてやったことがないと思う人もいるかもしれませんが、小論文は総合型選抜の定番と言っていいほどです。東北工業大学ライフデザイン学部生活デザイン学科では面接と小論文が総合型選抜の内容でした。私も小論文は初心者だったのでとても苦労しました。小論文は作文とは全くの別物で、同じようなものだと甘く考えると痛い目を見ることになってしまうので、なるべく早い段階から対策をすることが合格への近道になると思います。

■先生方のおかげで苦労した 小論文試験を乗り切りました

総合型選抜に切り替えた私は小論文に苦労しつつも、国語の先生や小論文の先生の協力もあって、なんとか軌道を修正して、東北工業大学ライフデザイン学部生活デザイン学科に進学することができました。私の体験から言えることは、下準備をしっかりとすることと、自分一人で解決しようとせず、様々な先生方などの力を最大限に活用することです。この2つの事さえ順調にできれば皆さんもきっと志望した大学に受かることができるはずです。面接や小論文はどうしても一人では練習できないものなので先生方と今のうちから親しくなって、話をしたり分からない事を聞いてみたりと何かしら接点があると良いと思います。

どうか皆さんは私のような失敗や苦労はしないで志望した大学に受かれるよう応援しています。

東北工業大学 ライフデザイン学部 生活デザイン学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
埼玉 松山中出身

学べる学問や取得できる資格、就職まで 深く掘り下げて調べ進路を選びましょう

■建築士に必要な知識を

幅広く学んでいきたいです

東北工業大学を志望した理由は、将来の夢を叶えることができる環境だと判断したからです。将来、私は建築士になりたいという目標があり、建築の分野を学べると同時に福祉、防災など幅広い分野を学ぶことができる環境です。また、就職支援が充実しており建築系の職種への就職率の高さも魅力だと考えています。

■志望動機を自分の言葉で

話せるようになりましょう

私は志望大学を選択する上で重要なことは、どの分野を詳しく学ぶことができ、どんな資格を取ることができるのかだと思います。将来の目標が具体的に決まっている人はその分野を学べる大学を選択し、その中で資格の取得を支援してくれる環境がある大学や様々な資格を取得できる大学を志望すると良いと思います。また、オープンキャンパスなどに参加しないと分からないこともあると思うので、積極的に参加していく必要があると思います。

受験の準備で必要なのは、志望大学の魅力や志望動機を自分の言葉で話せることだと思います。そのために、まずは志望大学について調べる事。表面的な部分ではなく、深い部分まで調べる事ができると小論文や面接で役立つと思います。

最後に、3年生から頑張るのではなく早め早めに準備をしていくことが大切だと思います。

東北工業大学 ライフデザイン学部 生活デザイン学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
山形 戸沢中出身

後回しにすると受験勉強に響くので 出願書類は早くから準備を始めましょう

■住まいや暮らしについて

詳しく学びたいと思いました

この大学を志望した理由として、「大学野球を続けたい」というのがありましたが、志望を決めた一番の理由としては、「住まいや暮らしについて詳しく学びたい」と思ったのがきっかけです。東北工業大学では、それぞれの学部、学科の専門的な知識や技術を学べることができ、なお且つ基礎的な学力も身に付けることができるのが一番の強みだと思います。

東北工業大学を受験するにあたって、頑張ってきたことや大切にすることは、何事も早め早めに行動することです。どこの大学に行くにしろ、受験する前は色々な書類などを書かなくてはなりません。例えば、調査書を発行してもらうための自己推薦文や、出願するために必要な志望理由書などです。これらを後回しにしてしまうと、後々余裕がなくなり、受験勉強に響いてしまいます。そのため、書類関係は早め早めに書いておいたほうが良いと思います。

■小論文は先生に何度も

添削していただきましょう

総合型選抜（AO入試）では小論文と面接と書類審査がありました。小論文の対策としては、まず小論文を作る上での文の構成を理解し、小論文の問題をたくさん解くことが大切だと思います。そして、その解いた問題を先生にチェックしてもらい、どこがダメだったのか、どういうところが足りないのかを理解して繰り返すのがおすすめです。

面接では、あらかじめ答える内容を紙などにメモして、それを覚えるのではなく、これを聞かれた時にはこう答えるんだとふんわり覚えることが大事になってくると思います。また本番では、遠回りに聞いてくる試験官もいると思うので、常に平常心を保ち、臨機応変に対応していくのが大切だと思います。

東北工業大学 ライフデザイン学部 生活デザイン学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
広瀬中出身

目標を達成するには計画を立てて 期限を設定して行動することが大切です

■面接・小論文対策として 新聞をしっかり読みました

私は、3年生の6月に東北工業大学ライフデザイン学部生活デザイン学科に総合型選抜で受験することを決めました。受験内容は、小論文と面接の2つでした。小論文は、200文字の要旨と600文字で自分の意見をまとめるという内容でした。テーマは「感染対策はできていますか？」についてです。政府から、新しい生活様式が発表され、その感染対策を国民が日常生活において意識出来ているかを国民にアンケートを取り、意見が述べられている記事でした。小論文を書くには、知識がないと書けません。したがって、私は新聞を読むことやネット記事を見ることから始めました。自分自身の趣味や興味のある分野だけではなく、普段あまり触れない記事などに目を通す事も絶対に必要になってきます。面接では、大学のことや話題になっているニュースなどを調べて面接練習をしました。実際には、この学科を選んだ理由とこれまでの人生で工夫されている建物は何かかの2つを聞かれました。専門的な知識はないので具体的なことは答えることが出来ませんでした。海外と日本の建物の特徴や違いを知っておくべきだと感じました。

高校3年間を通して学んだことは、改めて何事も目標を達成するには、計画を立てる大切さです。目標達成まで期限を決めて取り組むことが効率良く目標達成が出来ると思うので、後輩の皆さんには、先のことも考えてやってほしいと思います。

東北工業大学 ライフデザイン学部 生活デザイン学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
七ヶ浜中出身

面接練習は質問に柔軟に対応するため 数をこなし本番で成果を発揮できました

■先生から叱咤激励を受け 面接対策に懸命に励みました

私の将来の夢は福祉環境コーディネーターになることです。東北工業大学は全国トップクラスの就職率を誇り、資格取得に向けてのカリキュラムやインターンシップが組み込まれており、私の将来の夢に近づけると考え志望しました。

総合型選抜での受験だったので、試験内容は小論文と面接によるものでした。3年生に上がる時に、私は受験小論文の学校設定科目を選択しました。最初の方は、ただ漠然と授業を受けていました。ですが部活の引退後にこのままではいけないとスイッチが入りました。最初からしっかりと授業の話を聞いていれば、後々苦労することはなかっただろうなと思っています。面接は、1ヶ月前くらいから担任の先生や国語の先生に練習をしていただきました。初めて一対一で面接練習をした時は、自分が聞かれると思っていた質問が来なかったり、全然答えられずに終わった質問が多くありました。担任の先生から今のままでは合格できないと言って頂いて、そこから図書館やインターネットで自分のやりたい職業の事を深く調べたり、自分の長所や短所を周りの友達に聞きながらやっていました。やがて面接の練習に何度も取り組んだことで、自分の主張や、難しい質問にも柔軟に対応していけるようになりました。本番では、小論文が上手く書けたとは思いませんでしたが、今まで書いてきた小論文の書き方を出せたのかなと思っています。面接では、今まで練習してきた成果や部活動でのミーティングで自分の意見を発言してきたことが、本番でも生かされたので良かったと思っています。それぞれの大学によって入試方法は違うと思いますが、早めに準備すること、大学の学科学部の情報を深く調べ、余裕を持って勉強や大学の事について調べていくことが重要だと感じました。

東北工業大学 ライフデザイン学部 生活デザイン学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 通信制課程卒
大河原中出身

取り組んだ結果が思ったとおりではなくとも 努力そのものが貴重な経験になります

■夢のマイホームの実現に 携わる仕事に憧れています

私が東北工業大学ライフデザイン学部生活デザイン学科に入りたいと思った理由は、将来注文住宅の仕事に携わるために暮らしの中のデザインについて深く学びたいと思ったからです。

私が幼い頃、我が家は注文住宅で家を建てました。その時打ち合わせで外観や内装が、絵や模型、CGなどを使い再現されその家ができる所を目の当たりにし、私達家族のために全身全霊で家造りに取り組む姿にとっても感動しました。予め決められた外観や間取りの中から選ぶのではなく、お客さん一人一人の暮らしに合った家をお客さんと共に作る仕事に関わる事が私の目標となりました。

そのために住まいのデザインを深く学ぶ事ができ、宅建士やインテリアコーディネーターなどの資格を取得するサポートをしてもらえる生活デザイン学科を希望しました。

■準備をし過ぎるということはないと 入試を経て実感しました

大学進学のために一番最初に受けるAOVA選抜の準備を始めました。まず最初に志望理由書を書き始めました。一番志望理由として重要な事は「この大学に入る明確な理由」「大学に入学して目標のために何をするか」「大学卒業後の進路」について具体的に書くことだと思い、何十回も書き直しました。

そして次に小論文と面接の準備を始めました。小論文は様々な内容の新聞記事で何回も練習し文章の理解力を高め、面接は何を質問されても自分の中で明確に思っている事を伝えられるように努力しました。

この経験の中で思ったことは、何でも準備し過ぎるということはないという事です。どんな事にも真面目に取り組み、たとえその結果が失敗だったとしても自分が一番頑張れたという経験を持つことが何より重要だと感じました。

大学に入学し、これからどんな大学生活を送るのか、今からとても楽しみです。

東北文化学園大学 現代社会学部 現代社会学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
佐沼中出身

入試スケジュールの急な変更があっても 対応できるよう早めに準備しましょう

■オープンキャンパス参加が 合格できた要因の一つです

仙台育英を入学してからの1年は高校に慣れる時間がとても長く悩んだ日々でした。特に悩んだのが部活と勉強の両立であり、最初の1年はラグビー部に入部しました。入部した理由は、とてもシンプルでありラグビーを3年間努力し、頑張れば大学から推薦が来るのです。私として努力をしたのですが、小中の頃は結果を残す事が出来ましたが、高校になると私のレベルではついていけないのか結果や試合で残せず、良くてBチームでギリギリでした。しかし、これ以外にも部員の関係が大事でもありました。その結果ストレスが積もり勉強も集中できなくなり部活を辞めました。これで思った事としては3年間部活を続けられて、勉強も出来る自分に合った部活をよく選んだ方が良いです。

2年生になってからは小中から結果を残せた陸上競技部に入りました。すると、勉強も進み部活のモチベーションも上がって、自分に適した部活で良かったと思います。この時から入試の準備をしており、先輩からは2年生から大学のオープンキャンパスに行った方が良いと言われて行きました。後々思うと受験に成功した一つかもしれません。家に帰ってからの勉強は部活の疲れもあるため殆どが30分、長くて50分です。定期考査はまず嫌いな教科を勉強してから好きな教科に取り掛かっています。とにかく覚えが大事なので頑張りましょう。

■面接はマスク装着だったので 明瞭な返答を心掛けました

3年生になってから大事なことは、まずは入試の準備、毎日登校、テストです。特に大事なものは入試の準備です。今年はコロナウイルスの影響もあり、2021年は入試が変わっていくと思います。そのため、準備は早めにした方がお勧めです。そうしなければ後々大変な事になります。私は総合型選抜だったのですが、試験の4週間前には自己アピールの練習をしていました。なるべく早めにすれば気持ちも楽になれますし、アドリブもしやすくなり、対応しやすくなれます。自己アピールの心がけはマスクを付けていてもハキハキと声を出せるようにしました。その次に入室から退出までのマナーです。マナーは中学で教えられてきたと思うのですが、もしかしたら違う場合があるかもしれないので、先生に一度聞いて確認したほうが良いと思います。もし自己アピールで失敗してもマナーを最後まですれば受かる可能性があるため、最後まで諦めずにやりきりましょう。私が実際にした面接ではマナー以外でも、マスクを付けて自己アピールするように言われたため、自分が思った声の音量よりもう少し上げられる練習をしましょう。

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
増田中出身

総合型選抜では礼儀や言葉使い、 聞き手に配慮した話し方が大切です

■人との接し方への気配りを アピールしました

総合型選抜を受けて合格しました。自己アピールで気をつけたのは、他の人と内容がかぶらないようにすることです。私は小学生～中学生にかけてチアリーダーをしていたので、その時先生に言われて心に残った言葉や、目上の人への礼儀など多くのことを学びました。その経験を元に自分の人の見方や接し方を、気を付けるようになったのです。そこで自分の独自の考えなどをアピールしました。また、入室や退室の時は言葉の後に礼をしたりと、基本的なことにも気をつけました。質問に答える前に一言「はい」と言ったり、質問された事はすぐに答えるように、細部に気を遣うことを心がけました。

資格などは英検を取得しておく自分の強みになっていいかもしれません。あと、N検（ニュース時事能力検定）はあるとおそらく持っている人が少ないので差別化をはかれるとともに、ニュースへの関心をアピールできていいのではと思います。

■プレゼンは質問を想定し 作成するのが大変でした

2次試験の時はプレゼンテーションだったので、聞かれるだろう事を事前に予想しながら作るのが大変でした。新商品のプレゼンをしたのですが、値段設定や商品の個数、ターゲットなど色々まとめる事が多く苦労しました。

質疑応答では、プレゼンのパワーポイント作りでがんばった事などを聞かれ、自分の事をたくさんアピールしました。また、考えていなかった難しい質問にも笑顔で明るい声で答えることができました。質問にあった指摘などは「大学へ入学した時に改善できるようにがんばります」など一言そえることで、自分のやる気と、今後より成長していく気持ちをアピールし、これから大学へ入学しても真面目に取り組む姿勢を理解していただけるように心掛けました。

総合型選抜などの人柄を見る受験では、人としての礼儀や、言葉遣いがとても大切だとあらためて実感しました。また親しみやすい人柄など、試験監督の人の印象に残るようにハキハキ話したり、聞き手が聞きやすい声とペースも大事です。

仙台白百合女子大学 人間学部 グローバル・スタディーズ学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
将監中出身

親身になって相談にのって下さった 先生のおかげで進路が決まりました

■幼少から培ってきた英語力を 生かしたいと考えました

私は志望大学選びから難航しました。最初は自宅から通うことができる経済学・経営を専攻している大学を探していました。転機となったのは2年生の三者面談です。映画「ダヴィンチ・コード」を観ていたとき、私も宗教について詳しくなりたいと強く思いました。三者面談で先生に打ち明けたところ親身になって考えてくださり、ようやく志望大学の目星がつかしました。志望大学の選択肢を絞るにあたり必要なことが学科選びです。単位に宗教学が組み込まれていて、かつ、他の単位取得に得意な講義があるところで絞りました。幸いなことに私は、独自の英語プログラムのある幼稚園に通園し英会話スクールに通っていたので、英語力を生かした学科のあるところとして無事志望大学を決めることができました。

私が選択した総合型選抜〔I期〕の選考項目は、面接と小論文、プレゼンテーションです。私の場合、面接は会話、小論文は対策不要と思っていたのでプレゼンテーションの資料作成に力を入れました。

無事合格することができたのは、高校生活で得たたくさんの機会とやりたいことを自由にさせてくれた両親のおかげだと思っています。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に
総合型選抜で合格

令和3年3月 通信制課程卒
槻木中出身

勉強が嫌になった時はやった分だけ 自信になることを忘れないで下さい

■将来は地方公務員として

地域に貢献していきたいです

私は将来地域の発展に貢献できるような地方公務員になりたいと考えています。尚絅学院大学人文社会学群人文社会学類には5つの領域があり、私はその中でも現代社会領域に入り他領域の学びも合わせて履修することで多様な力を身に付けることが出来ると考えています。また、アドバイザー制があるため基礎力を身に付けることが出来るほか、少人数演習授業では教授と生徒の距離が近い事で深く学問を学べると思ったからです。また数多くあるカリキュラムを履修し他領域の学びを合わせて学ぶことで社会や地域、海外に強い視点で考えられる人材になれると思いました。社会調査実習で社会的な課題について実習を通して学びながらボランティアチーム「TASKI」に参加し地域住民と関わる機会を増やすことでコミュニケーション力などが身に付けさまざまな学問を学んで能力を積み上げた上で公務員採用試験に取り組みると思いました。それが私が尚絅学院大学人文社会学群人文社会学類を選んだ理由です。そして将来地域の発展に貢献できるような地方公務員になりたいと考えています。

■応援して下さいった先生方に

本当に感謝しています

私は総合型選抜で合格するために面接練習を行いました。最初は大学のパンフレットやwebサイトなどをよく見てその中で分からないところがあった時は調べてメモを取り知識を深めました。20個程度の面接内容を頭の中に叩き込み、本番でさらに深く内容を聞かれた時には20個の中から引き抜きながらパンフレットなどで知識を入れたものも自分の言葉で言えるように何度も何度も練習してきました。時には嫌になってしまうこともありましたが、大学に合格したいと気持ちを忘れず行ってきました。受験当日の面接では準備してきたものを発揮することができましたが、時には悩んでしまうこともありましたが、知識を多く入れたことで上手く言えることができました。特に面接の中で試験官が自分の事で詳しく聞いてくるところで、自分のペースに持ち込むことができた事で私に興味を持って貰い、合格することができたのではないかと思います。そして私が総合型選抜を受けるにあたり書類などを準備してくれたり、応援して下さった学校の先生方には感謝しています。

来年度に受験する皆さんは合格したいという気持ちを毎日忘れずに受験勉強をしてください。ときに勉強は嫌になるかもしれませんが、やった分だけ自分に自信が付くと思います。受かった時の気持ちはすごく嬉しいものなので頑張ってください。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に
総合型選抜で合格

令和3年3月 通信制課程卒
高崎中出身

毎日少しずつでも続けて勉強し 何回も復習して成績がアップしました

■将来の目標を大学生活で 見出していきたいです

大学への進学を目指した理由、きっかけは、自分の将来の目標を見つけるために、進学をしたいと思ったからです。大学合格のために努力したことは、毎日少しずつ、3時間ずつでも継続して勉強し、何回も繰り返し復習することです。少しずつ頭に入り、勉強する力が身についたと思います。それに、友達に分からないところを教えると自然に自分も分かるようになり、しっかり理解できるようになると思います。

普段は、評定を上げるために、日々勉強を頑張り、レポートをためず、提出期限をできるだけ守り、テストに向けて、勉強を頑張り少しでも評定を上げるように頑張りました。

大学に行くために、毎日コツコツと勉強をしていれば受かると思います。

通信制課程に来て、いろいろな人と出会い、たくさんのお会いがありました。それによって、とても成長できました。充実した高校生活でした。これからも頑張ります。

尚絅学院大学 心理・教育学群 学校教育学類に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
高砂中出身

さまざまな受験方法を想定して 推薦入試対策を進めましょう

■まず過去問に取り組みば

弱点が見えてくるはずですよ

私は高校1年生の頃から大学進学を考えていました。そのため、毎日授業で習った所を復習して分からない所があれば、その日のうちに自分なりに理解できるようにしてきました。また、休日では自分の苦手な教科や不安定な所を中心に平日よりも長く時間をとって勉強するようにしました。部活で帰りが遅くなったり疲れたりしても、2時間は勉強するようにしていました。続けていくうちに成績は上がっていき、3年間良い成績を得ることができました。最初のうちからコツコツと続けていけば他の人に置いていかれることはなく、リードすることができると思います。

また、他に力を入れたことは、過去問を解いたことです。勉強で何から手をつければいいのか分からない人は、まず過去問を解くことをおすすめします。過去問を解くことで、その大学の問題傾向や自分に足りないか、苦手な分野が見えてくるはずですよ。自分の弱点を知ることで、対策ができます。これをやるだけでも合格に大きく近づけると思います。

■受験の準備は大変ですが

続ければ自信になります

本校は指定校推薦がとても充実しており、指定校推薦の制度を活用しようと思っている人は多いと思います。指定校推薦の活用は良いと思いますが、もし、とれなかった時のことも考えておいた方が良いと思います。私も初めは指定校推薦が目標でした。しかし指定校推薦は取ることができず、総合型選抜を受けることになりました。私の場合は、指定校推薦では基礎学力、総合型選抜では授業体験型審査で試験の内容が違うのでどちらを受けてもいのように受験勉強に取り組みました。友達や先生と一緒に面接練習をして、どうすれば良くなるか友達と話し合ったり、先生からアドバイスをいただいたりしました。他にも、基礎学力を上げるために過去問を解いたり、授業で習った所を自分なりにまとめたりしてきました。指定校推薦を考えている人は、万が一とれなかった時のことも頭に入れながら受験勉強に取り組むと良いと思います。

私は、この経験から受験に向けて前もって入念に準備をしていれば合格へ繋がると思います。早いうちから受験に向けてコツコツと勉強し準備するのは大変かと思いますが、それでも続けていけば確実に自分の力になり、自信にもなると思います。みなさんも頑張ってください。

尚絅学院大学 心理・教育学群 学校教育学類に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
東華中出身

受験は誰でも緊張するものなので 友達同士で励まし合い乗り切りましょう

■小学校時代の担任の先生に 憧れ教員を目指しています

私が大学進学を目指した理由は、小学校6年生の時の担任の先生に憧れたからです。その先生の授業はとても面白く、勉強が苦手な私でも理解しやすい授業でした。休み時間には一緒に外に出て楽しく遊んでいる姿を見て私もこのようになりたいと思い、教員免許を取得できる大学に進学しようと考えました。

私が受験をする上で心掛けたことがいくつかあります。まず、1年生の頃から高い評定を取っておくことです。受験には3年間の平均評定が入試を受けるのに必要な基準を満たしていないと受けることができません。3年生になってから評定を上げようとしても、1年生の時の内容に比べてとても難しく、テストで高得点を取ることが大変になります。なので、少しでも内容が簡単な1年生の時にしっかりと勉強することが大事だと思います。

■バドミントン部の活動で 人見知りをしなくなりました

次に、部活動に所属している場合は継続することが大切です。私はバドミントン部に入部し、2年生の時に先輩とペアを組むことになりました。人見知りだった私はあまり先輩と話しかけることができませんでしたが、とても優しく接してくれたので自然と話せるようになりました。先輩方が引退してからは私がキャプテンとして部全体をまとめていました。自分がノロノロしていると雰囲気が悪くなってしまうと思い、練習中は声掛けを忘れずに積極的に後輩に話しかけ、指示を出しました。部活動のおかげで短所であった人見知りが少し改善されたり、苦しい練習にも取り組んだことによって忍耐力も身に付いたと感じます。部活動を通して成長できた部分がたくさんあったので諦めずに続けて良かったと思います。

今年度はコロナウイルスが流行し、学校に行けずにオンラインで授業でなかなか友達に会えなかったりと辛いこともありました。しかし、高校3年間で学んだことは大学に繋がることが多いので一日一日を大切に生活することが大事です。受験は誰でも緊張するものですが、必ず友達が応援してくれるので自信を持って臨みましょう。

石巻専修大学 経営学部 情報マネジメント学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 情報科学コース卒
向洋中出身

総合型選抜ではやりたい事とすべき事、 アピールポイントを重点に考えましょう

■自分で積極的に調べて

複数の大学を比較しました

最初は他の大学を目指していましたが、その大学の相談会に参加した時に物理を受けていないと厳しいと言われ、進路を変更しました。なるべく早く進路を決めて、その大学をできるだけはやく、できるだけ詳しく調べることが大切だと感じました。高校に入って最初のテストからなるべく高い点数を維持するようにしました。最低でも評定を4以上はとるように努力しました。資格取得はものすごく力を入れたわけではないですが、必要な分は取得しました。大学に入学してから、取得を勧められる資格がほとんどなので積極的に受けた方がいいと思いました。気になる大学を複数決めて、自分で調べ実際にオープンキャンパスや事前受験相談会に参加して比較することがものすごく重要です。そうすることで、それぞれの大学のいい所悪い所が明確になり、自分にあったイメージでやりたい事が分かってきます。見つけることができれば、それに必要な事も分かり、やるべき事が分かり進む事ができます。

■ボランティア活動の実績を

入試でアピールしました

私は総合型選抜で受験しました。この入試形態で一番重要なことは、自分のアピールポイントがどれだけあるかという点だと思います。私の場合、中学1年生の頃から高校3年生まで、6年間ボランティア活動を続けてきました。東北ブロックで賞を受賞したり、様々なアピールポイントができたりしたことが自分の強みだと感じています。まずは自分のアピールポイントを見つけることが大事です。ボランティアはもちろん、スポーツでも自分が自信を持っているものであればなんでもいいと思います。今たとえなにもないとしても、仙台育英にはインターアクトなどのボランティア活動をする部活動があり、他の部活とも併用して所属できるので、何にもしないのではなく何かアピールできるものを作ることが大事だと思います。やりたい事、やるべき事、アピールポイント、この3つを大事にしていけばきっと上手くいくと思います。

仙台大学 体育学部 体育学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 フレックスコース卒
村田第二中出身

将来はスポーツやボランティア活動で 地域を盛り上げる仕事に就きたいです

■東北唯一の体育大学なので
第一志望に決めました

私は仙台大学体育学部体育学科を受験しました。私が仙台大学を受験しようと思ったきっかけは、東北で唯一の体育大学であり、スポーツに力を入れているということと、ボランティアなど地域に貢献する活動を積極的に行っており、私の将来の目標であるスポーツによって地域を盛り上げていくことを達成できると考えたからです。

受験方法としては、私はスポーツ総合型選抜のⅡ期で受験しました。内容は、60分間の小論文、20分程度の集団面接、各部活動毎に実施試験を行うといった内容です。気を付けておくこととしては、小論文では自分の意見を求められるため様々なニュースに目を通し、一つ一つに対して自分はこう思うといったような自分の意見を持つということ、集団面接では高校の部活での活動について深く聞かれるので自分がやってきたことなどを答えられるようにすること、実施試験については最大限、力を発揮できるようにトレーニングを重ねて準備しておくことが大切だと感じます。

仙台大学 体育学部 体育学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 技能開発コース卒
高砂中出身

積極的に受講していた学校設定科目が 受験対策に大いに役立ちました

■部活動の先輩に勧められた 仙台大学を目指しました

私は仙台大学体育学部体育学科に総合型選抜で合格しました。入試内容は、面接のグループディスカッションとグループディスカッションの良い点と悪い点をまとめる作文の3つです。

特に、面接では試験官1人に対して15分程度の面接を3回しました。聞かれた内容は練習していたものとはほぼ同じでしたが、大学の基本理念を踏まえての質問は、難しく感じました。

入試前の1週間は、多くの先生方に面接練習をしていただきました。学年の先生だけでなく、関わりが少ない先生ともしていただきました。その結果、無事合格することができました。

仙台大学を目指したきっかけとしては、部活動の先輩方から、とても良い専門的な大学と教えていただいたことです。パンフレットも請求し、体育学部に入りたいと思ったため、カリキュラムや講義内容を細かく調べたりもしました。

実際は、仙台大学が第一志望ではありませんでした。しかし、今いるコースでしていない教科などがあるため、もしその大学に入学していたら4年間充実に過ごすことは難しいと思いました。原点に戻って考え直すことも必要だと思いました。

今後、後輩の皆さんも進学や就職をしたいと思います。自分自身に合っているのか、就職して一生続けて行くことが可能なのか不可能なのか将来をイメージしていくといいと思います。成績を理由に諦めてほしくありません。好きな事や物に熱中するのと一緒に、この先続けられることを選択してほしいと思うからです。

■技能開発コースでは1年から 進路について色々学べます

1年生の頃から、学校設定科目を積極的に受講することによって2年生や3年生になった時に小論文や面接対策で役に立つことがあります。私は3年間で、小論文講座と面接対策講座を受講しました。その結果、進学にとっても役立ちました。

部活動に入部していたため、平日の放課後や土日は進路について作業する時間があまりありませんでした。授業で進学や就職に専門的な先生がいるので悩んでることなどがあつたら聞いてみるのもいいと思います。

仙台育英は進学にはとても良い私立高校だと思います。技能開発コースに入学しましたが、学校設定科目を自分に合った選択ができるため1年次から将来について多くのことを学ぶことができました。

後輩の皆さんも夢に向かっていくことでしょう。夢を実現してってください。充実した高校生活を楽しんでほしいです。大学に入学しても仙台育英を応援しています。

国際短期大学 国際コミュニケーション学科国際観光コースに
特別推薦で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
岩沼西中出身

すぐに結果に表れることはなくても 勉強し続けることが必ず力になります

■英語力の向上を目標に掲げ

工夫して勉強しました

私は、3年間部活動をしていました。家から学校までの距離が遠く、朝は早く、夜は遅かったため、現役のときは家で予習や復習といった勉強時間を作ることは困難でした。そこで、私は「隙間時間の有効活用」と「短時間で質の良い勉強法」を考えました。

私の場合、往復3時間ある通学時間を勉強時間として活用しました。そして、質の良い勉強をするために、具体的に「英語力を高める」という大きな目標を立て、そのために何をすれば良いのか、自分なりに情報収集して決めました。まず最初に取り組んだことは、英単語です。リスニングや長文読解にしても単語を知らないと思えないと思ったからです。1日100個覚えることを目標にし、ある程度覚えてきたら、熟語も覚え始めました。

■英語の歌詞や台詞が分かり

勉強が楽しくなりました

2年生の後半から新型コロナウイルスの影響で自粛要請が出たため、家での時間が増えました。その時間を活用し、単語や熟語だけでなく、長文読解やリスニング力を高めるための勉強を行いました。リスニング力を高めるために、洋画を観たり、洋楽を聴く習慣をつけました。知っている単語が出てきて、聴きとれたときはとても嬉しかったです。勉強した成果が発揮できたとき、勉強が楽しくなりました。

将来どんな職業に就くとしても、グローバル化が進む社会の中で、英語力はとても大切になってきます。勉強した成果が発揮されるタイミングは人それぞれですが、すぐに結果が出なくても、継続することで必ず力になると思います。夢を叶えるためにも、自分なりの勉強法を見つけ、有意義な高校生活を過ごしてください。

聖和学園短期大学 保育学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
鶴が丘中出身

3年間で積み重ねてきた努力は 今後の人生の大きな糧になるはずです

■書道部でパフォーマンスや 出展を通し実力を磨きました

1年生の頃は基礎がなってなかったので、まずは基礎を徹底して勉強しました。テストで成績が伸びなかった際は、予習、復習を心がけました。そうすることで自分の苦手な所を見つけられ、再び似たような問題が出ても解けるようになります。勉強はテスト前日にやるのではなく、一日少しでも時間を割いて取り組むことが大切だと思います。

コロナ期間では手洗い、うがいを徹底して、適正な睡眠時間をとり規則正しい生活を心がけて健康管理に気を付けました。

私は書道部に所属していました。部員の仲間と一丸となって書道パフォーマンスをし、色んな人に元気を与えられるパフォーマンスができたと思います。他には様々な書道の大会に作品を出品し自分自身の実力を向上させることができたと思います。

■大学生活で成長しながら 日々前進していきたいです

面接の練習をする際は、自分から色んな先生にお願いをして練習に付き合ってくださいました。1人で練習する際は、イメージ、ノートに書く、声に出してみる、などをしていました。自分のアピールできるポイントはできる限りまとめて伝えることが大切です。

エントリーシートでは、いかに自分について説明できるかが重要だと思います。また聞かれている質問に正しく答えることが大切だと思います。

受験当日はプレッシャーや緊張でいつも通りの行動ができないかもしれません。直前になって焦らないように、到着する時間や面接の内容などを抑えておく必要があります。

面接の日程が後ろにずれこみ、周りで進路が決まりはじめる人がいたので、自分も早く受験を終えたいという気持ちになりましたが、面接の練習時間が増えて余裕ができたと思うようにしました。

そのような環境の中で、様々な人に助けられた結果、総合型選抜で第一志望の大学に合格する事ができました。高校3年間の努力は、今後の人生において大きな糧となると思います。これから始まる新たなステージで更なる成長を目指して日々前進していきたいです。

聖和学園短期大学 保育学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
古川中出身

進路の選択肢を広げるためにも 1年生から高い評定を維持しましょう

■子供たちに伝統文化を 伝えていきたいです

私の将来の夢は、幼児教育に携わることです。中学生の時に職場体験で幼稚園にいった時、子どもの成長を目の当たりにして、もっと子どもの成長に関わりたい、深めたいと感じましたので、保育科のある大学を選びました。

私は、部活動で学んだことを生かして、子ども達には伝統文化を伝えたいと思いました。書道は、年齢問わず色々な方々に楽しんでもらえる伝統文化です。それに、子ども達の秘めている才能を伸ばすためにどうすれば良いかを考えた時に、3年間学んだ書道を生かせば良いと考えました。書道を使って子ども達同士の関係を深めたり、伝統文化の楽しさを知ってもらったり、色々なことを体験させてあげたいと思いました。

普段から幼児に関わるニュースを聞いたり、記事を見たりして身近に感じられるように心がけていました。そのおかげで、面接の時に役に立ちました。他にも、子どもの様子を知っておくと面接の時に答えやすいと感じました。

■合格後も日々の勉強に 引き続き励んでいます

将来の夢が決まっていなくても、自分がこれに興味があるなど、様々なことに興味を持ち、挑戦してみることが大切だと思います。定期テストではある程度の成績を取っておくことで、将来の夢が決まっていなくても、自分がこの分野に興味があって、ここに行きたいと思った時に、挑戦することができると思っています。いざその時になって、自分の成績が悪いためにその選択肢の幅を縮めることになってしまうのは良くないと思うので、日々の勉強を大切に、定期テストで良い成績を取るのが今後の自分に大きく影響すると感じました。それに、部活をやっている人ならそれを生かして視野を広げられるので、部活も一生懸命やってよかったと思いました。文武両道の大切さを改めて実感しました。

自分の将来の夢に向かって努力することが大切です。合格してからも、大学から課題などが沢山くるので、気を抜かず日々の勉強に励んでいきたいです。

仙台赤門短期大学 看護学科に
総合型選抜で合格

令和3年3月 英進進学コース卒
亘理中出身

物事を「できない」と決めてしまわずに 挑戦することの大切さに気づきました

■部活動のキャプテンとして 皆との会話を大事にしました

小学生の時から続けてきたバスケットボール。中学生の頃から将来の夢が決まっていたので高校生活は勉強に専念しようと考えていました。兄が仙台育英に通っていて、両立できるコースがあると教えてくれて勉強と部活の両立ができる英進進学コースに進学しました。

部活では、1年生から試合に出させてもらいましたが、中学バスケットと高校バスケットは全然違うスポーツのように思えました。高校3年生になりキャプテンになって初めて部全体をまとめる責任の重さを実感しました。バスケットボールはチームプレーなのでコミュニケーションが大切だと考え、一人一人とできるだけ多く会話しようと心がけてきました。私たちのチームは強いとは言えず、練習ではみんながだらけてしまうことやコーチに怒られることがたくさんありました。しかし、部員で話し合い、しっかり目標を立てそれに向かって練習を日々頑張りました。今年は高総体がなくなり、モチベーションも上がらず悔しい思いをしましたが、最後の大会を開催して下さり後悔せず引退できました。

■東洋医学を学べる第一志望に 合格できて嬉しかったです！

勉強は得意ではありませんが、看護師は理系に進んだ方がいいと言われ、理系で頑張りました。学校の授業だけでは理解することができないところは、友達に聞くこともありました。

仙台赤門短期大学を志望したのは、この大学にしかない東洋医学を学べるというところです。受験内容は小論文と面接でした。小論文は過去問題を買って、原稿用紙に書き、先生に採点していただきました。面接では何度も先生と練習しているうちに自信が持てるようになりました。受験当日はとても緊張しました。面接では予想もしなかったことを聞かれ戸惑いましたが、この大学で学びたいということを強く伝えることができました。第一志望の仙台赤門短期大学以外、他の大学を考えていなかったのが合格できて嬉しかったです。努力は報われます。できないと自分で決めるのではなく挑戦することが大切だと私は思います。一日一日大切にして高校生活思いっきり楽しんでください。